



This is our Communication on Progress
in implementing the principles of the
United Nations Global Compact.

We welcome feedback on its contents.



株式会社ノーリツ

Communication on Progress

2014 年度

* 対象期間:2013 年 1 月～2013 年 12 月まで

連絡先

会社名 : 株式会社ノーリツ

部署 : CSR・環境推進室

役職 : リーダー

担当者氏名 : 森川 聡

Email : s-morikawa@noritz.co.jp

電話 : 078-941-3205

Fax : 078-941-4542

新しい幸せを、わかすこと。



文字サイズ

小

中

大

サイト内検索

検索



よくあるご質問



お問い合わせ窓口一覧



サイトマップ

企業情報

株主・投資家向け情報

CSRの取り組み

採用情報

製品に関する大切なお知らせ

企業情報トップ ▶ CSRの取り組み

CSRの取り組み

社会とともに成長する企業を目指して



CSRトピックス

- ▶ 中期経営計画にCSRの視点を反映
- ▶ ノーリツグループ行動基準改定
- ▶ 品質向上への取り組み
- ▶ ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定
- ▶ 社会貢献「みちのく未来基金」を支援

ガバナンス	品質	環境	社会
<ul style="list-style-type: none"> ▶ コーポレート・ガバナンス ▶ コンプライアンス ▶ リスクマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 品質方針 ▶ 豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する ▶ 品質への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境経営 ▶ 製品を通じた環境負荷低減 ▶ 事業活動を通じた環境負荷低減 ▶ 生物多様性保全 ▶ 環境保全活動データ ▶ 環境コミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 従業員とともに ▶ お客さまとともに ▶ 取引先さまとともに ▶ 株主さまとともに ▶ 社会とともに



- ▶ 国際的イニシアティブとの整合
- ▶ 報告書一覧
- ▶ 編集方針

第三者意見

企業情報

- ▶ トップメッセージ
- ▶ 企業理念・ビジョン
- ▶ 企業データ
- ▶ 沿革
- ▶ 企業姿勢・規範
- ▶ ノーリツグループ行動基準
- ▶ コーポレートガバナンス
- ▶ 調達活動
- ▶ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- ▶ IRニュース
- ▶ トップメッセージ
- ▶ 個人投資家、株主の皆様へ
- ▶ 経営方針
- ▶ 業績・財務データ
- ▶ IRライブラリー
- ▶ 株主情報
- ▶ IRイベント
- ▶ 電子公告
- ▶ よくあるご質問
- ▶ 免責事項

CSRの取り組み

- ▶ トップメッセージ
- ▶ ノーリツグループのCSR
- ▶ 国連グローバルコンパクト
- ▶ エコ・ファーストの約束
- ▶ 3つの笑顔プロジェクト
- ▶ CSRトピックス
- ▶ ガバナンス
- ▶ 品質
- ▶ 環境
- ▶ 社会
- ▶ 第三者意見
- ▶ 国際的イニシアティブとの整合
- ▶ 報告書一覧
- ▶ 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ▶ 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- ▶ 長期使用製品安全点検制度について
- ▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- ▶ その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

新しい幸せを、わかすこと。


 文字サイズ 小 中 大
 サイト内検索
 検索

よくあるご質問
 お問い合わせ窓口一覧
 サイトマップ

企業情報
 株主・投資家向け情報
 CSRの取り組み
 採用情報
 製品に関する大切なお知らせ

企業情報トップ ▶ CSRの取り組み ▶ トップメッセージ

CSRの取り組み

CSRの取り組み

トップメッセージ

ノリツグループのCSR

国連グローバル・コンパクト

エコ・ファーストの約束

3つの笑顔プロジェクト

CSRTピックス

ガバナンス

品質

環境

社会

第三者意見

国際的イニシアティブとの整合

報告書一覧

編集方針

トップメッセージ



人と地球の笑顔に向けて暮らしの感動を追求
社会と企業がともに
持続可能な成長を実現するために

株式会社ノリツ 代表取締役社長

国井 終一郎

創業の原点、お風呂は人を幸せにする

当社は戦後の復興期である1951年、「お風呂は人を幸せにする」との信念のもと、創業者の太田敏郎が家庭用風呂の普及を目指して神戸で設立しました。創業時から、お客さまの声を商品開発に生かし、時代の変化に対応したさまざまな新商品を生み出し「お湯のある豊かな暮らし」の実現に努めてまいりました。

そして国内で培った技術力を基に、1993年には中国上海で現地企業と合弁会社を設立し、ガス給湯器の生産を開始しました。中国に進出した多くの企業が中国で生産した製品を自国に輸出していた時代に、中国の方にお湯のある豊かな暮らしを提供するため、当社は中国で生産し中国で販売するため資本と技術を提供しました。また、環境やエネルギーの問題が顕在化していたアメリカでは、コンパクトで格段に省エネ性に優れたガス給湯器の販売を2002年から開始しました。身体を清潔にし、健康や癒しの効果が期待できるお風呂が生活者を幸せにする。まさに、創業の原点を基にグローバルな事業展開をしています。

新しい幸せを、わかすこと。

2011年、当社グループは6か年の新中期経営計画「Vプラン16」を開始し、「新しい幸せを、わかすこと。」をグループビジョンに掲げました。基本方針に「経営基盤の安定と持続的成長を実現する」「従業員が自信と誇りをもってノリツグループにする」掲げ、国内事業は太陽光発電システムの参入やブランド投資など、現状の延長線上で連続的な変革に取り組んでまいりました。また海外事業は、2013年に中国の給湯器メーカー「櫻花中国※」をM&Aでグループの一員としました。

世界規模での環境・省エネニーズの拡大など、社会からの要請と期待に対応すべく、「お湯を超えていくノリツグループ」として歩みを進めております。2014年から後半の3年間を開始しますが、「新たな視点で徹底的に考え、行動する」をスローガンに経営基盤の安定と持続的成長のための課題に取り組んでまいります。

※櫻花衛厨(中国)股份有限公司

人と地球の笑顔に向けて暮らしの感動を追求する

当社グループは、人と地球の笑顔に向けて暮らしの感動を追求することを目指して事業を推進しています。その柱は、お客さまの毎日の生活に欠かせないお湯を、より環境に優しく快適に提供するための温水空調分野の取り組みです。高効率ガス給湯器「エコジョーズ」をはじめ、ガスのエネルギーと空気中の熱エネルギーを組み合わせお湯をつくるハイブリッド給湯・暖房システム、ガス発電・給湯暖房システム エコウィルといった商品を提供しています。このような商品づくりには、全社員の日々の努力が欠かせません。社会に貢献できる商品を提供

する活動を通して、全社員が自信と誇りを持って働ける環境づくりも進めています。

安全・安心を世界に

当社グループは「品質向上とCS向上」を最優先課題として取り組み、お客さまの声を経営に活かす仕組みづくりに努めております。ものづくり段階では設計、調達、生産プロセスにおける品質向上を、施工段階では施工品質向上に努めます。さらに、お客さまがご使用される段階ではコンタクトセンターなどでのCS対応の品質向上に努め、各プロセスにおける品質を向上する取り組みに力を入れてまいります。また、グローバル展開が進む現在、安全基準の強化にも注力しています。

2012年12月には、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」の10原則に署名いたしました。

・ [国連グローバル・コンパクトへの取り組みはこちら](#)

[個人情報保護方針](#) [サイトのご利用について](#) [ページのTOPへ](#)

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRTボックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み

トップメッセージ

ノーリツグループのCSR

国連グローバル・コンパクト

エコ・ファーストの約束

3つの笑顔プロジェクト

CSRトピックス

ガバナンス

品質

環境

社会

第三者意見

国際的イニシアティブとの整合

報告書一覧

編集方針

ノーリツグループのCSR

① 私たちのCSRの取り組み

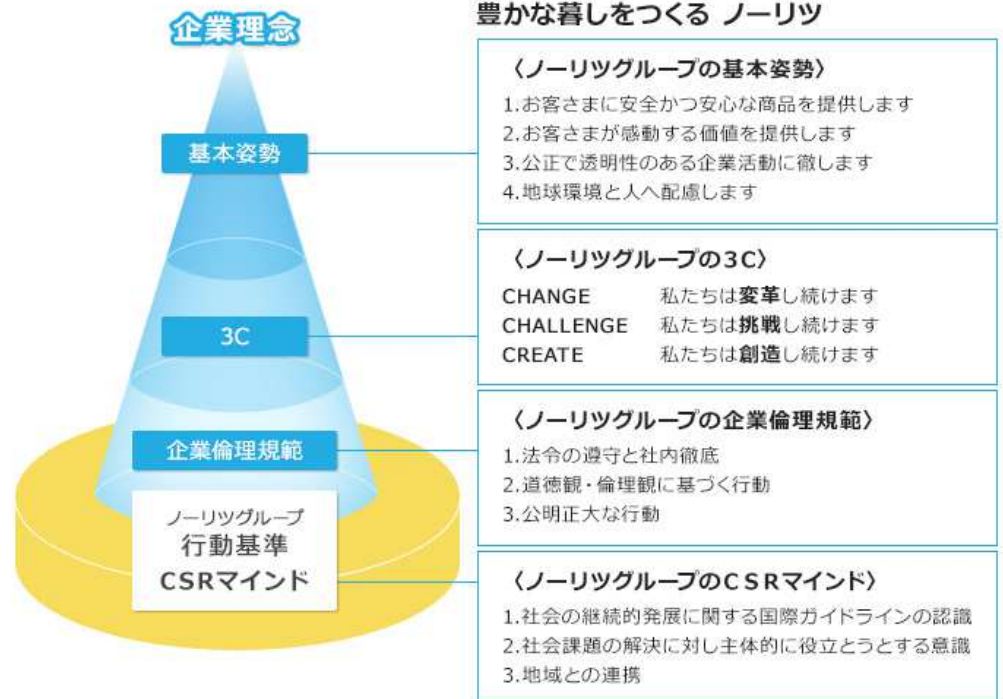
② ノーリツグループのCSR方針

③ CSRマネジメント体制

④ 2013年度の主な活動

私たちのCSRの取り組み

お湯と健康 愛とやすらぎ
豊かな暮らしをつくる ノーリツ



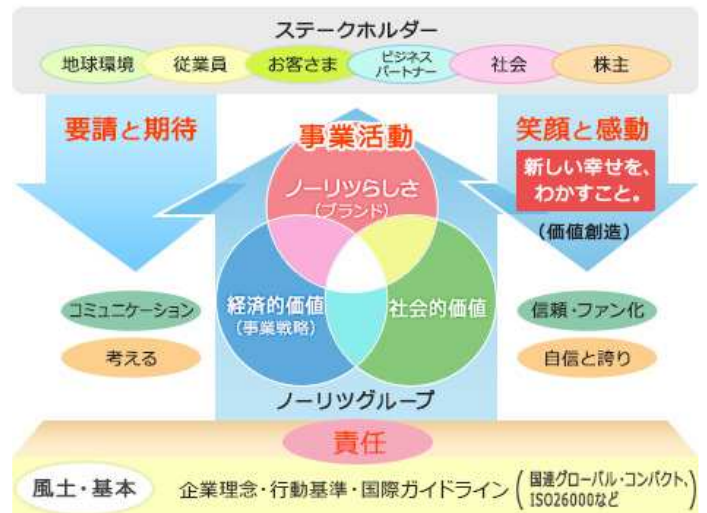
ノーリツグループは、企業理念の基、事業を通じて社会の課題解決に貢献することで社会と企業の持続的な成長をめざします。活動の基本となるには、従業員一人ひとりがCSRマインドを身に付け、ノーリツグループの基本姿勢を行動に移すことです。

ノーリツグループのCSR方針

ノーリツグループは、ステークホルダーの皆さまとの双方向コミュニケーションを通して社会の要請と期待を感じ取り、「事業戦略に沿った経済的価値の追求」「社会の課題解決に貢献する社会的価値の

向上」「ブランド戦略と呼应したノーリツらしさの追求」の3つを深く融合した事業活動を進めています。この取り組みを通して、社会的責任を自主的に果たすことにより、すべてのステークホルダーの皆さまの笑顔と感動、すなわち「新しい幸せ」をわかしていくことをCSR方針としています。

CSRの取り組み



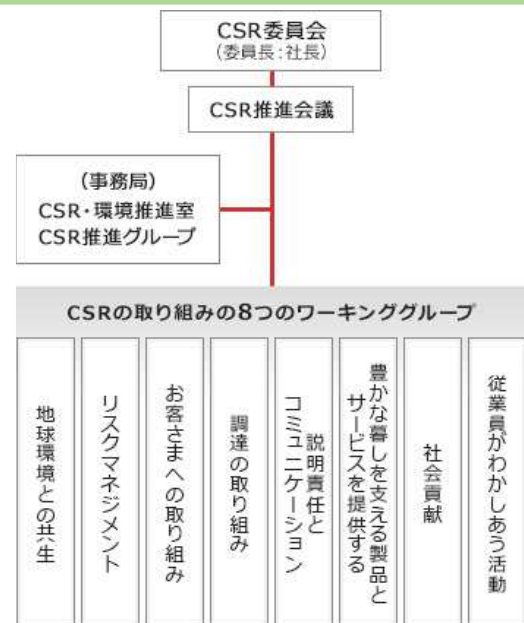
[ページのTOPへ](#)

CSRマネジメント体制

CSR活動を効果的に推進するため、ノーリツではCSRの取り組みについて8つのカテゴリーワーキングに分け、部門横断的にさまざまな課題について検討しています。46名(2014年4月現在)の全ワーキングメンバーを対象とした全体会議、ワーキングの責任者のみで開催する責任者会議を定期的に開催し、CSR活動の現状報告や、理解・浸透を図る研修などをおこなないました。

さらに、CSR担当役員を議長とし、主に部門長を構成員とするCSR推進会議を年4回開催し、CSR推進施策について議論しました。

これとは別に、CSR活動を統括・マネジメントする組織としてCSR委員会を設置しています。社長が委員長を務め、取締役、執行役員、監査役で構成されるCSR委員会は年2回開催され、CSRの課題について審議・決定します。この決定内容に基づいてP・D・C・Aマネジメントを推進しています。



[ページのTOPへ](#)

2013年度の主な活動

ノーリツグループは社会的責任の遂行と社会的価値の向上をめざし、CSR活動を積極的に推進しています。この推進を実りあるものにするため、2013年度は、各カテゴリーでの取り組み方針や課題を検討しました。全ミーティングは141回におよび、この場で焦点となった取り組み課題をCSR委員会に報告しています。

2013年度は外部講師によるCSR研修会を2月、7月、10月と3回開催し、部門長を中心に延べ89人が参加しました。10月に開催された社長とのダイアログでは、CSRを経営の中にどのように取り込んでいくかを話し合いました。

また、中期経営計画にもCSRの推進プランを組み入れており、2014年度はノーリツ従業員に対して、CSRに取り組む意義についての理解・浸透を図り、CSRマインドの醸成に努めます。具体的には、従業員へのCSR研修やノーリツグループ行動基準の改定、ノーリツグループCSR調達ガイドラインの改定などの実施を計画しました。

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRTピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み
▶ トップメッセージ
▶ ノーリツグループのCSR
▶ 国連グローバル・コンパクト
▶ エコ・ファーストの約束
▶ 3つの笑顔プロジェクト
CSRトピックス
▶ 中期経営計画にCSRの視点を反映
▶ ノーリツグループ行動基準改定
▶ 品質向上への取り組み
▶ ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定
▶ 社会貢献「みちのく未来基金」を支援
▶ ガバナンス
▶ 品質
▶ 環境
▶ 社会
▶ 第三者意見
▶ 国際的イニシアティブとの整合
▶ 報告書一覧
▶ 編集方針

CSRトピックス

1 中期経営計画にCSRの視点を反映

2014年～2016年までの中期経営計画の中に、CSRの取り組みに関する計画を反映しました。

2 ノーリツグループ行動基準改定

グループ全体のコンプライアンス風土の定着を図るため、これまでの行動基準を大幅に改定しました。

3 品質向上への取り組み

部門間コミュニケーションから生まれる気づきを、さらなる品質向上につなげる取り組みをおこなっています。

4 ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定

CSR視点での調達活動を推進するため「ノーリツグループ CSR調達ガイドライン」を制定しました。

5 社会貢献「みちのく未来基金」を支援

東日本大震災で親を亡くした子どもたちを支援する公益法人「みちのく未来基金」を支援しています。

企業情報	株主・投資家向け情報	CSRの取り組み	採用情報	製品に関する大切なお知らせ
<div>▶ トップメッセージ</div> <div>▶ 企業理念・ビジョン</div> <div>▶ 企業データ</div> <div>▶ 沿革</div> <div>▶ 企業姿勢・規範</div> <div>▶ ノーリツグループ行動基準</div> <div>▶ コーポレートガバナンス</div> <div>▶ 調達活動</div> <div>▶ 企業スポーツ活動</div> <div>ノーリツチャンネル</div>	<div>▶ IRニュース</div> <div>▶ トップメッセージ</div> <div>▶ 個人投資家、株主の皆様へ</div> <div>▶ 経営方針</div> <div>▶ 業績・財務データ</div> <div>▶ IRライブラリー</div> <div>▶ 株主情報</div> <div>▶ IRイベント</div> <div>▶ 電子公告</div> <div>▶ よくあるご質問</div> <div>▶ 免責事項</div>	<div>▶ トップメッセージ</div> <div>▶ ノーリツグループのCSR</div> <div>▶ 国連グローバルコンパクト</div> <div>▶ エコ・ファーストの約束</div> <div>▶ 3つの笑顔プロジェクト</div> <div>▶ CSRトピックス</div> <div>▶ ガバナンス</div> <div>▶ 品質</div> <div>▶ 環境</div> <div>▶ 社会</div> <div>▶ 第三者意見</div> <div>▶ 国際的イニシアティブとの整合</div>	<div>お問い合わせ窓口一覧</div>	<div>製品を安全に、正しくお使いいただくために</div> <div>▶ 長期使用製品安全点検制度について</div> <div>▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意</div> <div>▶ その他、製品に関するご連絡、ご注意</div>

- 合
- 報告書一覧
- 編集方針

サイト内検索

検索

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

 お問い合わせ窓口一覧はこちら

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ 中期経営計画にCSRの視点を反映

▶ ノーリツグループ行動基準改定

▶ 品質向上への取り組み

▶ ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定

▶ 社会貢献「みちのく未来基金」を支援

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

中期経営計画にCSRの視点を反映

ノーリツグループは、CSRの取り組みが経営の礎になることを認識し、社会的課題の解決と自社の持続的成長をめざして、2014年～2016年までの中期経営計画にCSRの視点を反映しています。従業員一人ひとりがCSRの視点を身につけ、事業を通じて社会的課題の解決に貢献することが、我々ノーリツグループの持続的成長につながると考えています。

2014年度は株式会社ノーリツの従業員への研修や話し合いを通じて、CSRマインドの醸成に向け取り組みます。

基本方針

経営基盤の安定と持続的成長を実現する。
従業員が自信と誇りをもてるノーリツグループにする

「成長戦略」の実現

新商品にこだわり、国内・海外の両事業で成長を図るとともに、環境や安全といった市場の拡大に対応し、新たなお客さま価値を創造してまいります。

「強いブランド」の実現

広告宣伝に加え、「エコ・リラ・キレイ」というコンセプトを商品の企画・開発等に活かし、ブランドの浸透を図ってまいります。

「強い連携」の実現

グループ会社を含めた組織再編を行い、開発力を高めるとともに営業力の最大化も図り、当社グループ全体での発展を目指してまいります。

「強いチーム」の実現

当社グループを支える人材を積極的に育成し、自信と誇りをもって挑戦できるチームづくりを推進してまいります。

企業情報

▶ トップメッセージ
▶ 企業理念・ビジョン
▶ 企業データ

株主・投資家向け情報

▶ IRニュース
▶ トップメッセージ
▶ 個人投資家、株主の皆様へ

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ
▶ ノーリツグループのCSR
▶ 国連グローバルコンパクト

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

▶ 製品を安全に、正しくお使いいただくために

- ▶ 沿革
- ▶ 企業姿勢・規範
- ▶ ノーリツグループ行動基準
- ▶ コーポレートガバナンス
- ▶ 調達活動
- ▶ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

- ▶ 経営方針
- ▶ 業績・財務データ
- ▶ IRライブラリー
- ▶ 株主情報
- ▶ IRイベント
- ▶ 電子公告
- ▶ よくあるご質問
- ▶ 免責事項

- ▶ エコ・ファーストの約束
- ▶ 3つの笑顔プロジェクト
- ▶ CSRトピックス
- ▶ ガバナンス
- ▶ 品質
- ▶ 環境
- ▶ 社会
- ▶ 第三者意見
- ▶ 国際的イニシアティブとの整合
- ▶ 報告書一覧
- ▶ 編集方針

- ▶ 長期使用製品安全点検制度について
- ▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- ▶ その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み
トップメッセージ
ノーリツグループのCSR
国連グローバル・コンパクト
エコ・ファーストの約束
3つの笑顔プロジェクト
CSRトピックス
中期経営計画にCSRの視点を反映
ノーリツグループ行動基準改定
品質向上への取り組み
ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定
社会貢献「みちのく未来基金」を支援
ガバナンス
品質
環境
社会
第三者意見
国際的イニシアティブとの整合
報告書一覧
編集方針

ノーリツグループ行動基準改定

「ノーリツグループ行動基準」の改定について

ノーリツグループ全体のコンプライアンス風土の定着を図るため、これまでの「ノーリツグループ行動基準」を大幅に改定し、グループ会社を含める全従業員に配布しました。

これまでの行動基準(2003年制定、2010年改訂第3版)では下記の点において改善が必要でした。

- 「法令・企業倫理遵守」の色(「～ねばならない」)が強く、「社会の要請への適応」の視点が弱い
- 文字情報が多く、従業員が「読む気」になりにくい
- 「関係法令を遵守します」等の抽象的な表現が多く、従業員が「具体的にどうすればいいか」が分からない

これらの問題に対し、今回は下記のように改善を図りました。

- 法令遵守に留まらず、国際基準に基づいて「社会の要請に応える」ことを目的とする
(例)「人権の尊重」に国連グローバル・コンパクト10原則であるの「人権侵害への非加担」「強制労働・児童労働の排除」を盛り込む
- 「人権」と「安全」を事業活動のすべてにかかる項目の章とし、それ以降の章はノーリツグループの「ステークホルダー」との関係ごとに設定する(従業員・お客さま・ビジネスパートナー・地球環境・社会)
- 1項目1ページとし、全世界の従業員が理解しやすいイメージイラストを大きく表示する

ノーリツグループ行動基準[PDF:1.52MB]

- 合
- 報告書一覧
- 編集方針

サイト内検索

検索

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

 お問い合わせ窓口一覧はこちら

CSRの取り組み

CSRの取り組み
トップメッセージ
ノーリツグループのCSR
国連グローバル・コンパクト
エコ・ファーストの約束
3つの笑顔プロジェクト
CSRトピックス
中期経営計画にCSRの視点を反映
ノーリツグループ行動基準改定
品質向上への取り組み
ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定
社会貢献「みちのく未来基金」を支援
ガバナンス
品質
環境
社会
第三者意見
国際的イニシアティブとの整合
報告書一覧
編集方針

品質向上への取り組み

「豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する」ことを最大の使命とするノーリツグループでは、「お客さま満足」を最優先に考え、ものづくり・販売・サービスの品質を高めるすべての企業活動も本業を通じておこなうCSR活動である」との考えから、各部門より10名が集まり、他部門とのコミュニケーション交流から生まれる気づきをさらなる“品質の向上＝CSR推進”へつなげていく取り組みをおこなっています。

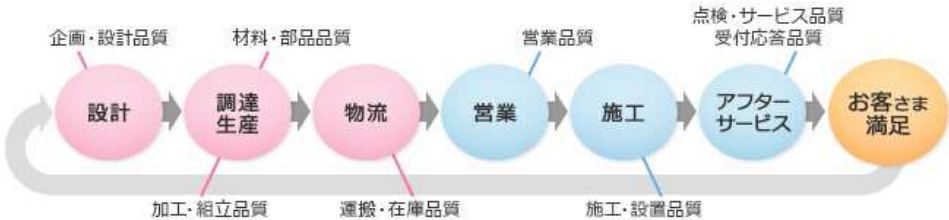
2013年度は目標達成まで3つのステップを設定し、取り組みました。

第1ステップ…メンバーが品質向上のためにしている業務について、「社会からの要請と期待」と「大切にしたい」を話し合い、製品だけでなく、すべての企業活動でお客さま満足を最優先することの重要性を再認識するとともに、品質の向上を図ることがCSR活動であることを共有しました。

第2ステップ…メンバーが品質向上のために取り組んでいる業務を製品のライフサイクル※1と照し合い、各ステージ毎に今後、取り組むべき業務を確認、中長期課題に対する思いをメンバーで話し合い、必要な課題を抽出しました。

※1：製品のライフサイクル：製品の設計からお客さまが満足してお取り替えしていただくまでの一連の企業活動。

製品ライフサイクルの各ステージにおける品質向上への取り組み



第3ステップ…第2ステップで抽出した課題について「めざすべき品質」「大切にしたい」「現状の取り組み」をメンバーで共有化し、主管部門を確認し課題を設定しました。

2014年度は現状の取り組みを継続し、今後、取り組むべき業務について課題設定をおこなうとともに、課題の深掘りと、詳細化をおこないます。

[ノーリツチャンネル](#)

[* 免責事項](#)

[※ 第三者意見](#)

[※ 国際的イニシアティブとの整合](#)

[※ 報告書一覧](#)

[※ 編集方針](#)

サイト内検索

検索

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

[▶ お問い合わせ窓口一覧はこちら](#)

CSRの取り組み

CSRの取り組み
トップメッセージ
ノーリツグループのCSR
国連グローバル・コンパクト
エコ・ファーストの約束
3つの笑顔プロジェクト
CSRトピックス
中期経営計画にCSRの視点を反映
ノーリツグループ行動基準改定
品質向上への取り組み
ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定
社会貢献「みちのく未来基金」を支援
ガバナンス
品質
環境
社会
第三者意見
国際的イニシアティブとの整合
報告書一覧
編集方針

ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定

2014年7月CSR視点での調達活動を推進するために、「ノーリツグループ CSR調達ガイドライン」を制定しました。

ノーリツグループは調達方針に基づき、お取引先さまとの相互信頼と連携に基づき、公平・公正な、地球環境に配慮した調達活動を展開しています。

当社は最終ブランドメーカーとして、サプライチェーン全体の取り組みが求められており、ノーリツグループ企業理念、基本姿勢や行動基準をもとに、社会の期待や要請を反映して本ガイドラインを制定しました。

今後は、当社グループ会社はもとより、サプライチェーンと一体となってCSR調達活動を推進していきます。

＜ノーリツグループCSR調達ガイドライン項目＞

- ・人権の尊重
- ・お客さまの満足度向上
- ・法令遵守と企業倫理にもとづいた企業活動
- ・公正で透明性のある取引
- ・地球環境・社会との共生
- ・労働環境の整備

ノーリツグループCSR調達ガイドライン [PDF:0.38MB]

- 合
- 報告書一覧
- 編集方針

サイト内検索

検索

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

 お問い合わせ窓口一覧はこちら

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

※ 中期経営計画にCSRの視点を反映

※ ノーリツグループ行動基準改定

※ 品質向上への取り組み

※ ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定

※ 社会貢献「みちのく未来基金」を支援

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

社会貢献「みちのく未来基金」を支援

公益財団法人「みちのく未来基金」は、東日本大震災でかけがえのない親を亡くした子どもたちを支援する団体です。高校卒業後の大学や短大、専門学校の入学金と授業料を、「返済不要、人数制限なし」で、上限300万円まで支給し、25年間支援を続けることを掲げて設立されました。これまでに1期生96名、2期生124名、2014年3月には新たに3期生108名が加わり、延べ328名がみちのく未来基金を活用して進学しました。

趣旨に賛同した多くの企業や団体が協力して取り組ん

でいます。かつて阪神・淡路大震災で被災した経験から、このたびの被災地で事業を展開しているノーリツグループも、2012年度の従業員の募金の寄付に続き、2013年度に支援企業として加わりました。

2014年3月15日、宮城大学で支援企業の代表者や支援者が見守る中、「門出の会」にて奨学制度によって新しく入学する3期生の決意表明がなされ、併せて3月に短大、専門学校を卒業した1・2期生の前途を祝う「旅立ちの会」がとりおこなわれました。当社は基金の意義をあらためて認識し、微力ながらこの活動を支え続けていくことを決意しました。



みちのく未来基金 第3期生の集い

企業情報

▶ トップメッセージ

▶ 企業理念・ビジョン

▶ 企業データ

▶ 沿革

▶ 企業姿勢・規範

▶ ノーリツグループ行動基準

▶ コーポレートガバナンス

▶ 調達活動

▶ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

▶ IRニュース

▶ トップメッセージ

▶ 個人投資家、株主の皆様へ

▶ 経営方針

▶ 業績・財務データ

▶ IRライブラリー

▶ 株主情報

▶ IRイベント

▶ 電子公告

▶ よくあるご質問

▶ 免責事項

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバルコンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

▶ 製品を安全に、正しくお使いいただくために

▶ 長期使用製品安全点検制度について

▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意

▶ その他、製品に関するご連絡、ご注意

- 合
- 報告書一覧
- 編集方針

サイト内検索

検索

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

 お問い合わせ窓口一覧はこちら

新しい幸せを、わかすこと。



文字サイズ 小 中 大 サイト内検索 検索

よくあるご質問 お問い合わせ窓口一覧 サイトマップ

企業情報 株主・投資家向け情報 CSRの取り組み 採用情報 製品に関する大切なお知らせ

企業情報トップ ▶ CSRの取り組み ▶ ガバナンス

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

» コーポレート・ガバナンス

» コンプライアンス

» リスクマネジメント

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

ガバナンス



① コーポレート・ガバナンス

経営の健全性、透明性を高め、意思決定の迅速化と経営判断の最適化を図るべく取り組んでいます。

② コンプライアンス

法令、定款、社内規程および社会規範等も含めた「企業倫理」遵守のため、各種推進活動をおこなっています。

③ リスクマネジメント

リスクを事前に回避、万一発生した場合は被害を最小限に、自浄作用が働く組織の確立をめざしています。

個人情報保護方針 サイトのご利用について ページのTOPへ

企業情報

- ▶ トップメッセージ
- ▶ 企業理念・ビジョン
- ▶ 企業データ
- ▶ 沿革
- ▶ 企業姿勢・規範
- ▶ ノーリツグループ行動基準
- ▶ コーポレートガバナンス
- ▶ 調達活動
- ▶ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- ▶ IRニュース
- ▶ トップメッセージ
- ▶ 個人投資家、株主の皆様へ
- ▶ 経営方針
- ▶ 業績・財務データ
- ▶ IRライブラリー
- ▶ 株主情報
- ▶ IRイベント
- ▶ 電子公告
- ▶ よくあるご質問
- ▶ 免責事項

CSRの取り組み

- ▶ トップメッセージ
- ▶ ノーリツグループのCSR
- ▶ 国連グローバルコンパクト
- ▶ エコ・ファーストの約束
- ▶ 3つの笑顔プロジェクト
- ▶ CSRTピックス
- ▶ ガバナンス
- ▶ 品質
- ▶ 環境
- ▶ 社会
- ▶ 第三者意見
- ▶ 国際的イニシアティブとの整合
- ▶ 報告書一覧
- ▶ 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ▶ 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- ▶ 長期使用製品安全点検制度について
- ▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- ▶ その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索 検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み
トップメッセージ
ノーリツグループのCSR
国連グローバル・コンパクト
エコ・ファーストの約束
3つの笑顔プロジェクト
CSRトピックス
ガバナンス
コーポレート・ガバナンス
コンプライアンス
リスクマネジメント
品質
環境
社会
第三者意見
国際的イニシアティブとの整合
報告書一覧
編集方針

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方	コーポレート・ガバナンス体制の概要
取締役および監査役の報酬	

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

ノーリツは、コーポレート・ガバナンスの充実を経営の最重要課題のひとつであると認識し、経営の健全性、透明性を高め、意思決定の迅速化および経営判断の最適化を図るべく、体制を整備し、諸施策を適宜実施していくことが必要と考えています。

ページのTOPへ

コーポレート・ガバナンス体制の概要

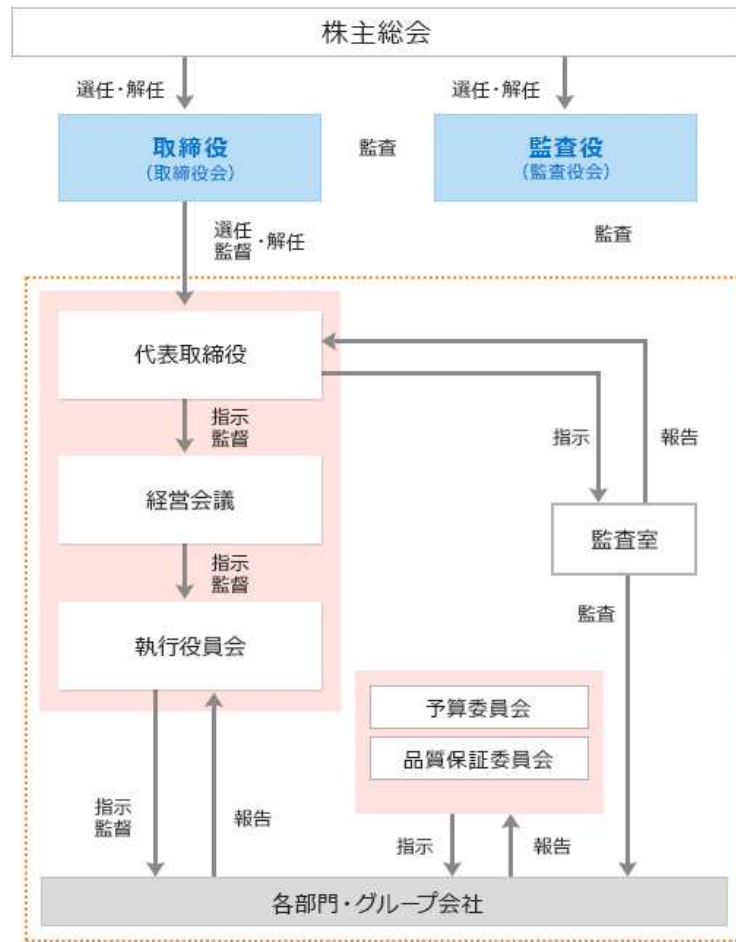
当社は、取締役会と監査役・監査役会によるコーポレート・ガバナンス体制を採用しています。

取締役会は、社外取締役1名を含む7名の取締役で構成され、毎月開催される定時取締役会や必要に応じて開催される臨時取締役会により、経営に関する重要事項について意思決定をおこないます。社外取締役につきましては、独立した立場から経営判断の合理性を確保することや、経営の効率性を改善することを目的として設置しています。

監査役会は、社外監査役2名を含む4名の監査役で構成され、毎月開催される定時監査役会で、取締役会に上程される議案を事前に審議しています。社外監査役につきましては、取締役の職務執行に対する監査を独立した立場からおこなうことを目的として設置しています。

企業情報	株主・投資家向け情報	CSRの取り組み	採用情報	製品に関する大切なお知らせ
トップメッセージ	IRニュース	トップメッセージ	お問い合わせ窓口一覧	製品を安全に、正しくお使いいただくために
企業理念・ビジョン	トップメッセージ	ノーリツグループのCSR		長期使用製品安全点検制度について
企業データ	個人投資家、株主の皆様へ	国連グローバルコンパクト		グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
沿革	経営方針	エコ・ファーストの約束		その他、製品に関するご連絡、ご注意
企業姿勢・規範	業績・財務データ	3つの笑顔プロジェクト		
ノーリツグループ行動基準	IRライブラリー	CSRトピックス		
コーポレートガバナンス	株主情報	ガバナンス		
調達活動	IRイベント	品質		
企業スポーツ活動	電子公告	環境		
ノーリツチャンネル	よくあるご質問	社会		
	免責事項	第三者意見		
		国際的イニシアティブとの整合		
		報告書一覧		
		編集方針		

コーポレート・ガバナンス体制（模式図）



[ページのTOPへ ↑](#)

取締役および監査役の報酬

当社は、取締役および監査役の報酬等の総額を各々、開示しています。

■ 第64期（平成25年1月1日から平成25年12月31日まで）の取締役および監査役の報酬等の総額

区分	人数	報酬等の総額
取締役	8名	269百万円
監査役	5名	48百万円
合計	13名	317百万円

※上記人数には、平成25年3月28日開催の第63回定時株主総会終結の時をもって退任した取締役1名および監査役1名を含んでおります。

■ 上記のうち社外役員の報酬等の総額

区分	人数	報酬等の総額
社外取締役	1名	4百万円
社外監査役	2名	7百万円

『 [コーポレート・ガバナンス報告書](#) [PDF:253KB] 

サイト内検索

検索

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

 [お問い合わせ窓口一覧はこちら](#)

新しい幸せを、わかすこと。



文字サイズ

小

中

大

サイト内検索

検索

よくあるご質問

お問い合わせ窓口一覧

サイトマップ

企業情報

株主・投資家向け情報

CSRの取り組み

採用情報

製品に関する大切なお知らせ

企業情報トップ ▶ CSRの取り組み ▶ ガバナンス ▶ コンプライアンス

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

» コーポレート・ガバナンス

» コンプライアンス

» リスクマネジメント

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

コンプライアンス

1 コンプライアンスの定義

2 ノーリツグループ行動基準

3 コンプライアンス推進体制

4 コンプライアンス推進活動

5 ノーリツホットライン

コンプライアンスの定義

ノーリツグループでは、コンプライアンスを「法令、定款、社内規程および社会規範等も含めた『企業倫理』の遵守」と定義しています。

ページのTOPへ

ノーリツグループ行動基準

当社グループでは、お客さまや社会から選ばれ続ける企業グループとなるため、『ノーリツグループ行動基準』を制定しています。

この行動基準を通じて、グループ内の全従業員が「正しい行動」についての価値観を共有し、グループ全体でコンプライアンス意識の維持・向上をめざしています。

▶ ノーリツグループ行動基準[PDF:1.52MB]



ページのTOPへ

コンプライアンス推進体制

当社グループでは、グループ内のコンプライアンスを実践するため、次のような推進体制を確立し、運用しています。

個人情報保護方針

サイトのご利用について

ページのTOPへ

企業情報

▶ トップメッセージ
▶ 企業理念・ビジョン
▶ 企業データ
▶ 沿革
▶ 企業姿勢・規範
▶ ノーリツグループ行動基準
▶ コーポレートガバナンス
▶ 調達活動

株主・投資家向け情報

▶ IRニュース
▶ トップメッセージ
▶ 個人投資家、株主の皆様へ
▶ 経営方針
▶ 業績・財務データ
▶ IRライブラリー
▶ 株主情報
▶ IRイベント

CSRの取り組み

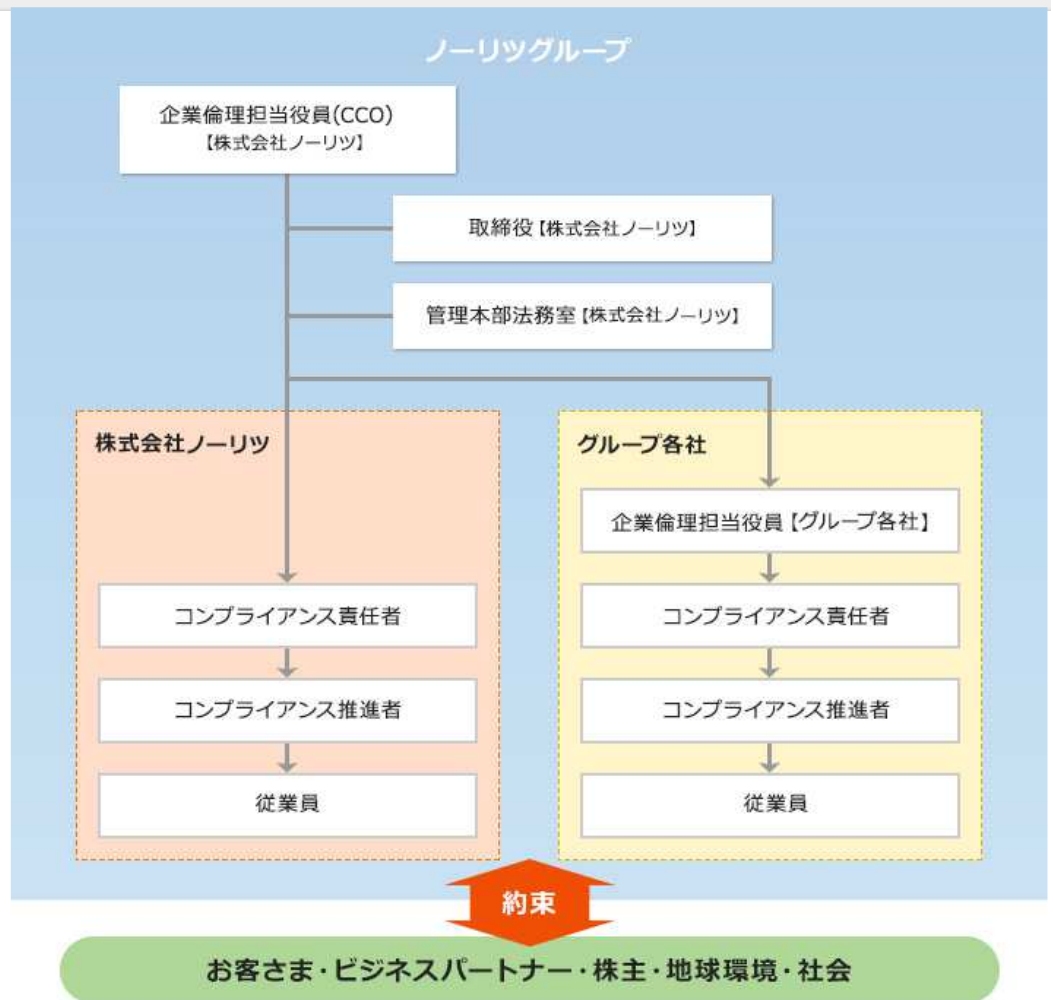
▶ トップメッセージ
▶ ノーリツグループのCSR
▶ 国連グローバル・コンパクト
▶ エコ・ファーストの約束
▶ 3つの笑顔プロジェクト
▶ CSRTピックス
▶ ガバナンス
▶ 品質

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

▶ 製品を安全に、正しくお使いいただくために
▶ 長期使用製品安全点検制度について
▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
▶ その他、製品に関するご連絡



[ページのTOPへ ↑](#)

コンプライアンス推進活動

当社グループ全体としてコンプライアンス意識が浸透・定着した組織風土を実現するために、次のようなコンプライアンス推進活動を継続実施しています。

- ・ 新入社員、新任管理者、各部門のコンプライアンス責任者・推進者を対象とした「コンプライアンス研修」
- ・ グループ全体の各部門が同一のテーマについて考える「コンプライアンス月間」(毎年5月・9月に実施)



コンプライアンス研修

・ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

・ 電子公告

・ よくあるご質問

・ 免責事項

・ 環境

・ 社会

・ 第三者意見

・ 国際的イニシアティブとの整合

・ 報告書一覧

・ 編集方針

・ 絡、
ご注意

サイト内検索

検索

コンプライアンス推進活動のPDCAサイクル



[ページのTOPへ ↑](#)

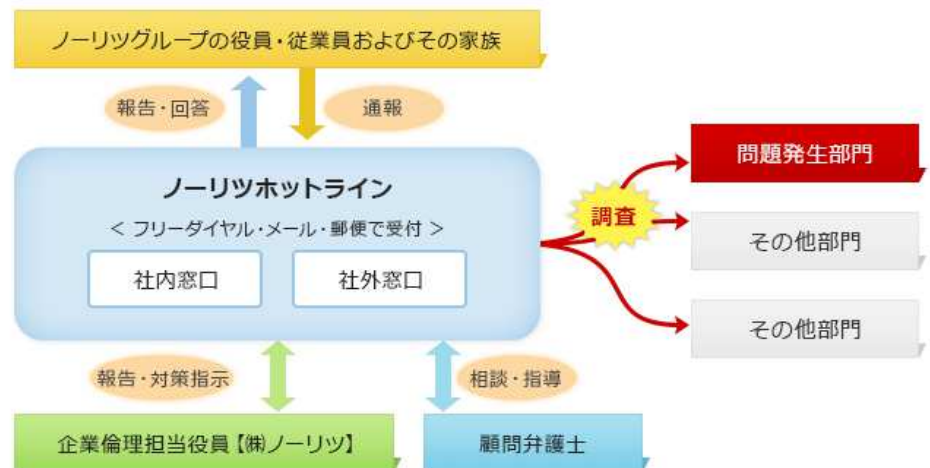
ノーリツホットライン

当社グループの役員および従業員は、法令違反行為や重大な社内規程違反などの情報を、直属の上司や関連部署に通報する義務があります。しかし、その情報を報告しても直属の上司や関連部署から支援を得られない場合や、報告を避けたい理由がある場合には、その通報先として、「ノーリツホットライン」に連絡することができます。

通報の受付は社内窓口と社外窓口（社外の弁護士事務所）の2つを設けており、通報者は事情に応じていずれかを選択できます。また、役員・従業員の家族からの通報も受け付けます。

通報の受け付けは専門担当者のみが担当し、その後の調査等も含めたいずれの段階においても、通報者の秘密は守られます。また、通報した本人がそのことを理由として不利益を受けることのないよう、運用規程により報復行為を禁止しており、通報者を保護します。

ノーリツホットライン



お気軽にお問い合わせください。

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

» コーポレート・ガバナンス

» コンプライアンス

» リスクマネジメント

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

リスクマネジメント

① 内部統制の強化 ～自浄作用が働く組織の確立～

② ノーリツグループ共通リスクの洗い出しと危機管理規程の改定

③ BCP(初動対応の再整備)

④ 情報セキュリティ

⑤ 環境汚染防止

① 基本方針

② BCP(事業継続計画)

③ 安全衛生活動の推進

④ 知的財産活動

内部統制の強化 ～自浄作用が働く組織の確立～

経営の品質を高めるには、内部統制を整備する必要があります。

ノーリツグループでは行動基準をもとに、次の3つに取り組み、自浄作用が働く組織の確立をめざしています。

コンプライアンス

法令だけでなく社会規範も含む企業倫理を遵守し、
公正・公平に業務を遂行する人を育成する

財務報告の信頼性確保

「金融商品取引法」に定める内部統制報告制度に対応した仕組みを確立する

業務の有効性、効率性の向上

継続的な改善が実施できる組織を確立する

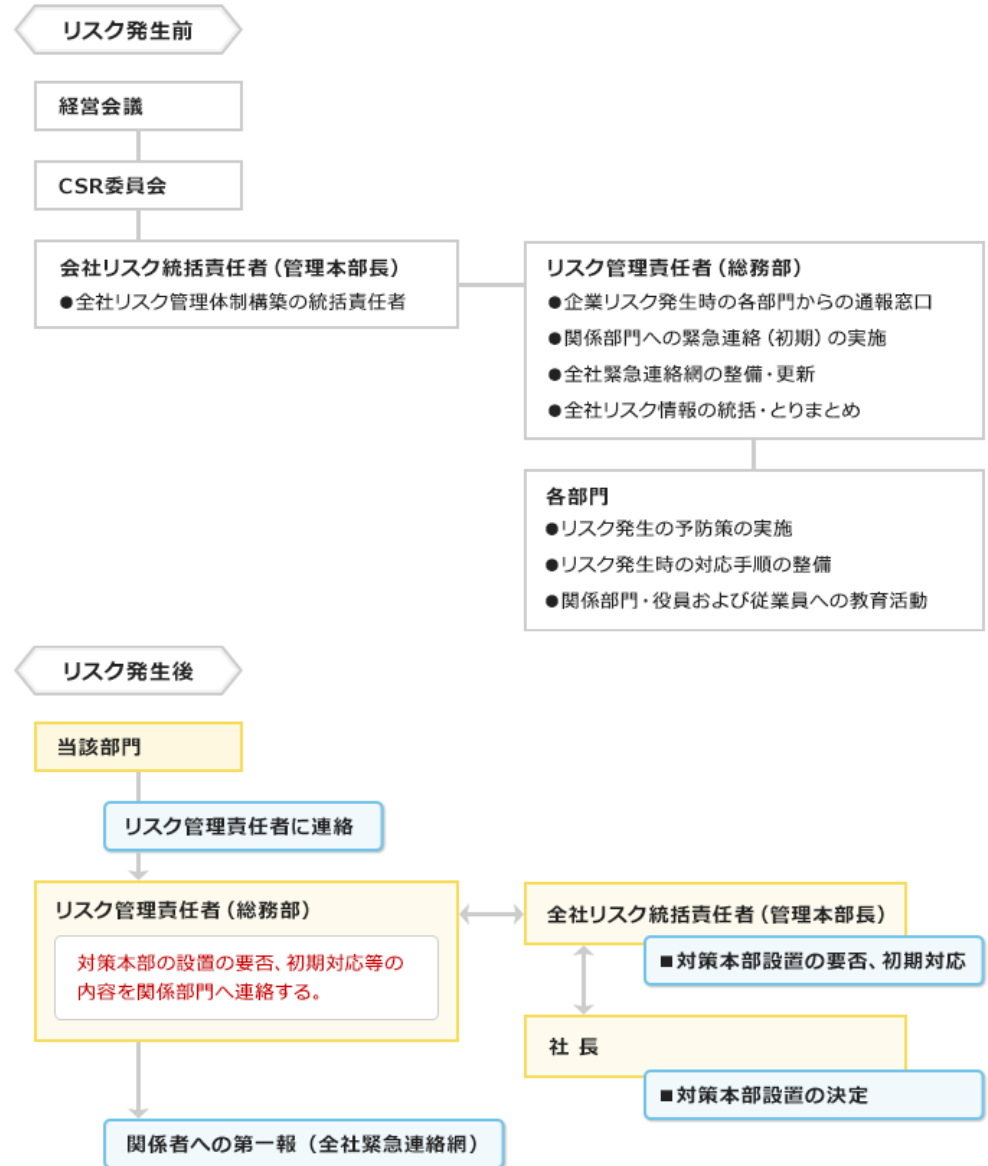


ページのTOPへ ↑

基本方針

当社の危機(企業リスクの発生)を事前に回避し、万一、企業リスクが発生した場合には危機管理規程ならびに関係規程・要領・マニュアル等に従い、被害を最小限に食い止めることを目的とする。

リスク対応組織図



[ページのTOPへ](#)

ノーリツグループ共通リスクの洗い出しと危機管理規程の改定

共通リスク一覧表（抜粋）

会社と従業員をリスクから守るためには、リスクに対応できる組織風土を形成しなくてはなりません。この観点から、2013年度はノーリツグループ従業員が共通して取り組むリスク（共通リスク）の洗い出しを実施しました。

その一環として「国連グローバル・コンパクト」の4分野との照合をおこない、その要求事項を参考に、新たに「人権」と「腐敗防止」を共通リスク項目に追加しました。

2014年度は、共通リスクの遵守事項をまとめた「共通リスクチェックシート」の作成と、危機管理規程の改定および社員教育と浸透に取り組み、国内（単体）のリスク管理体制の構築を優先的に取り組む予定です。

自然災害・パンデミック	自然災害（地震・風水害）
	パンデミック
事故・過失によるリスク	火災・爆発・交通事故
	環境問題
	労働問題（過重労働他）
	人権（ハラスメント・差別）
	機密情報・個人情報の不正取得・漏洩・不正利用
	コンピュータウイルス・スパムメール等
	腐敗防止（各種法令違反・反社会的勢力の排除等）

[ページのTOPへ](#)

BCP(事業継続計画)

ノーリツグループでは、自然災害などにより工場や事業所などの各拠点に被害が生じた場合を想定した事業継続計画(BCP)の検討・策定に取り組んでいます。2013年度は、あらためて有事における初動対応の取り組みを理解し、機能、アクションプランを再確認することに重点を置きました。

少しでも津波による被害を受ける可能性のある拠点の防災訓練では、想定シナリオを作成し、従業員の避難に特化した訓練をおこないました。

全社規模では6月19日、外部講師を招いて経営層、執行部門長など約60人を対象に「事業継続計画セミナー」を開催。自然災害発生直後の安否確認や帰宅判断、事業復旧に向けた情報収集、インフラ整備、優先業務選択の重要性などを再認識しました。またセミナー後は「有事対応についてのグループディスカッション」をおこない、拠点・物流政策、資材調達などの新たな課題を共有し、2014年の方針に盛り込むことが採択されました。

ページのTOPへ

BCP(初動対応の再整備)

予期せぬ事態が生じた場合に備えて、全社的なサポート体制の充実をさせておく必要があります。その基本となるのが、災害発生時の従業員の安全確認や被災状況を早急に把握し、お客さまへのサポート体制を構築することです。これらを迅速におこなうために初動対応を再整備しました。「災害対応カード」のグループ社員への配布、従業員の緊急連絡先の再整備・人事データへの反映、帰宅困難者を想定した備蓄の配備などを実施しました。



ページのTOPへ

安全衛生活動の推進

ノーリツ(グループ)の安全衛生活動は、『安全と健康に配慮した職場づくり』をめざして展開しています。具体的には、事業所毎に安全衛生委員会を活用し、PDCAサイクルをまわす取り組みを実施していますが、その実施レベルは事業所によりバラツキがあります。2014年度は、各事業所の実施レベルが一定以上になるよう、事業所毎の取り組みを強化し、安全と健康に配慮した職場づくりを推進していきます。

・安全で健康に配慮した職場をつくる

ページのTOPへ

情報セキュリティ

■ 情報セキュリティに関する方針

ノーリツグループでは、全役員および全従業員が、情報セキュリティの重要性を十分認識し、事業活動で利用する情報資産を適切に扱うことを基本方針にしています。この方針は、ノーリツグループ行動基準の「第3章従業員

員との関係（3）情報セキュリティの徹底」の項に規程し、全役員・全従業員に周知するとともに、法令や社会環境の変化に対応し、情報セキュリティをより確実に運用するため、関係する規程類を継続的に見直しています。

■ 情報セキュリティの管理体制

ノーリツグループでは、情報セキュリティを経営課題として取り組むために、全社情報セキュリティ管理責任者を設け、グループ全体の情報セキュリティ対策やこれに関する事項を継続的に統括・推進します。また、各部門・グループ会社での情報セキュリティ実施に関しては、各部門責任者がこれを担い、「社内規程である情報セキュリティ基本規程の自部門内での適用」「自部門内での情報セキュリティ教育の実施」「自部門内でのリスク分析・評価の実施」等をおこなっています。

全社情報セキュリティ管理責任者は、情報セキュリティ強化やその推進のために必要に応じて「情報セキュリティ会議」を開催し、管理体制の維持をおこないます。

■ 情報セキュリティ対策

ノーリツグループでは、情報セキュリティ事故の防止に向けて、「人的・組織的」「技術的」「環境的・物理的」の3つの面で情報セキュリティ対策を実施しています。

人的・組織的な対策

- ・情報セキュリティ関連規程の定期的な見直し
- ・情報セキュリティ体制の構築と維持
- ・定期的な全役員および全従業員への情報セキュリティ研修

技術的な対策

- ・電子メール添付ファイル自動暗号化による情報盗聴防止
- ・電子メールモニタリングによる社外への不正な送信防止
- ・スパムメール対策による、内部への侵入防止
- ・ウェブフィルタリングにより危険なサイトへのアクセス制限

環境的・物理的な対策

- ・情報機器関連施設への立ち入り制限と入退出管理の徹底
- ・情報機器の持ち出し管理の徹底

■ 情報セキュリティ教育

ノーリツグループでは、継続的に情報セキュリティを確保するために、毎年、全役員・全従業員を対象に情報セキュリティ教育を実施しています。2013年度は、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)について、業務・プライベートに関わらず安全に利用できるように、ビデオ教材を用いたディスカッションをおこないました。

また、2014年度から毎年5月、9月を「コンプライアンス月間」と定め、コンプライアンスについて定期的に考え、話し合う機会を設定しています。今年度は「情報セキュリティの再徹底」をテーマとし、情報セキュリティの意識向上を図り、一人ひとりが、情報セキュリティレベルを維持・向上できるよう、今後も継続的に実施していきます。

[ページのTOPへ](#)

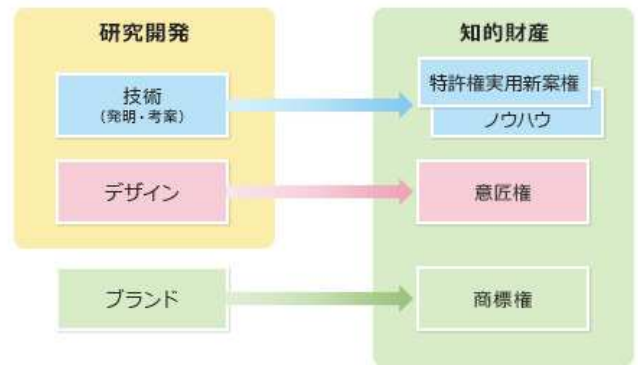
知的財産活動

ノーリツグループでは、研究開発の成果を知的財産として保護することと、他者の知的財産権を侵害することを未然に防ぐことを知的財産活動の基本としています。

■ 知的財産の保護

研究開発において技術的に優れ、
自社にとって有益な発明の発掘を
おこない、特許権等の知的財産権
として取得し、その権利の活用と維
持管理を推進しています。
その他、研究開発から生じた知的
財産権以外の技術情報などの漏洩
防止にも注力しています。

権利の取得と維持



■ 他者の知的財産権の尊重

他者の知的財産権への侵害をおこ
さないために、知的財産センターは
研究開発部門と連携協力して新製
品や技術開発時には他者の知的財
産権を充分調査し、侵害の予防に
努めています。

侵害の防止



■ 技術者への啓蒙教育

知的財産の保護と侵害防止について体系的な教育プログラムを策定し、開発にあたる技術者へ知的財産にか
かわる知識の習得と発明意識の向上に向けた啓蒙教育をおこなっています。

[ページのTOPへ](#)

環境汚染防止

ノーリツグループでは、環境汚染の防止については、環境関連法規制および関連基準を遵守しており、
ISO14001に基づいた評価も実施し、環境リスクの低減、環境汚染の防止に努めています。

▶ [環境汚染防止](#)

[個人情報保護方針](#) [サイトのご利用について](#) [ページのTOPへ](#)

企業情報

- ▶ トップメッセージ
- ▶ 企業理念・ビジョン
- ▶ 企業データ
- ▶ 沿革
- ▶ 企業姿勢・規範
- ▶ ノーリツグループ行動基準
- ▶ コーポレートガバナンス
- ▶ 調達活動
- ▶ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- ▶ IRニュース
- ▶ トップメッセージ
- ▶ 個人投資家、株主の皆様へ
- ▶ 経営方針
- ▶ 業績・財務データ
- ▶ IRライブラリー
- ▶ 株主情報
- ▶ IRイベント
- ▶ 電子公告
- ▶ よくあるご質問
- ▶ 免責事項

CSRの取り組み

- ▶ トップメッセージ
- ▶ ノーリツグループのCSR
- ▶ 国連グローバルコンパクト
- ▶ エコ・ファーストの約束
- ▶ 3つの笑顔プロジェクト
- ▶ CSRTピックス
- ▶ ガバナンス
- ▶ 品質
- ▶ 環境
- ▶ 社会
- ▶ 第三者意見
- ▶ 国際的イニシアティブとの整合
- ▶ 報告書一覧
- ▶ 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ▶ 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- ▶ 長期使用製品安全点検制度について
- ▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- ▶ その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRトピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

» 品質方針

» 豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する

» 品質への取り組み

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

品質



品質方針

企業理念に基づく独自の品質マネジメントシステムを構築し、体質の改善・強化に取り組んでいます。

豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する

お客様の声を事業に活かし、製品やサービスの品質向上をめざして、可能性に挑戦しています。

品質への取り組み

お客様の快適な暮らしを支えるお湯を安心してお使いいただけるよう、さまざまな角度から取り組んでいます。

企業情報

▶ トップメッセージ

▶ 企業理念・ビジョン

▶ 企業データ

▶ 沿革

▶ 企業姿勢・規範

▶ ノーリツグループ行動基準

▶ コーポレートガバナンス

▶ 調達活動

▶ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

▶ IRニュース

▶ トップメッセージ

▶ 個人投資家、株主の皆様へ

▶ 経営方針

▶ 業績・財務データ

▶ IRライブラリー

▶ 株主情報

▶ IRイベント

▶ 電子公告

▶ よくあるご質問

▶ 免責事項

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバルコンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRトピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

* 製品を安全に、正しくお使いいただくために

* 長期使用製品安全点検制度について

* グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意

* その他、製品に関するご連絡、ご注意

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

» 品質方針

» 豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する

» 品質への取り組み

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

品質方針

品質方針

品質に関する基本姿勢

品質方針

当社は、企業理念である「お湯と健康 愛とやすらぎ 豊かな暮らしをつくる ノーリツ」に基づき、お客さま満足を追求め、安全・安心な機器を提供することを使命と考え、これを実現するための品質マネジメントシステムを構築し、体質の改善・強化に取り組んでいます。

品質方針

顧客視点に立ち、QCDDPR[※]を満足した
魅力ある商品を市場に提供する！

- ① 顧客のニーズに答えた、関連する法規・規制要求事項を遵守し、高品質で、安全・安心な製品を提供し続ける。
- ② 品質マネジメントシステムの有効性の改善に、継続的に取り組む。
- ③ 一人ひとりが高い品質目標を掲げ、目標達成に向け、一丸精神で遣り抜く。

※ Q: Quality, C: Cost, D: Delivery, D: 独創的商品, P: Patent, R: Risk

ページのTOPへ ↑

品質に関する基本姿勢

ノーリツは、すべての事業活動においてお客さま満足を最優先に考え、お客さまに安全・安心な製品、施行、アフターサービスを提供していきます。当社は、安全・安心な社会を構築する社会的責任を十分に認識するとともに、自主行動計画を策定し実践します。さらに、品質に関するグループ各社の情報共有化と問題解決の連携を図り、ノーリツグループとして適切な品質保証活動および品質向上活動を進めていきます。

■ 製品安全自主行動計画

特に、安全性に関しては事業活動のあらゆる段階でリスクアセスメントを実施するとともに、法令、各種規制および自主基準を遵守します。

当社は、品質向上のために、設計・調達・生産・物流(ものづくりの品質)だけでなく、営業・施工・アフターサービス(販売・サービスの現場)も合わせ、お客さま満足を最優先した活動を進めています。

■ 豊かな暮らしを支える製品とサービス

2014年度現在、株式会社ノーリツ、および日本・海外の全グループ会社で、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001の認証を取得し、品質改善に取り組んでいます。

企業情報

- ▶ トップメッセージ
- ▶ 企業理念・ビジョン
- ▶ 企業データ
- ▶ 沿革
- ▶ 企業姿勢・規範
- ▶ ノーリツグループ行動基準
- ▶ コーポレートガバナンス
- ▶ 調達活動
- ▶ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- ▶ IRニュース
- ▶ トップメッセージ
- ▶ 個人投資家、株主の皆様へ
- ▶ 経営方針
- ▶ 業績・財務データ
- ▶ IRライブラリー
- ▶ 株主情報
- ▶ IRイベント
- ▶ 電子公告
- ▶ よくあるご質問
- ▶ 免責事項

CSRの取り組み

- ▶ トップメッセージ
- ▶ ノーリツグループのCSR
- ▶ 国連グローバルコンパクト
- ▶ エコ・ファーストの約束
- ▶ 3つの笑顔プロジェクト
- ▶ CSRトピックス
- ▶ ガバナンス
- ▶ 品質
- ▶ 環境
- ▶ 社会
- ▶ 第三者意見
- ▶ 国際的イニシアティブとの整合
- ▶ 報告書一覧
- ▶ 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ▶ 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- ▶ 長期使用製品安全点検制度について
- ▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- ▶ その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

① CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

» 品質方針

» 豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する

» 品質への取り組み

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する

① 豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する

② 私たちが追求する品質

③ お客さま満足を優先した品質マネジメント体制

豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する

「製品やサービスを通じて豊かな暮らしを提供する」ことが、ノーリツグループにとっての最大の使命です。

これを実現するためには、製品だけでなく、すべての企業活動でお客さま満足を最優先とした仕事をすることが重要です。

私たちは、「製品やサービスの品質を高める」「お客さまの声を事業活動に活かす」この2つのことを大切にしながら製品の開発から修理に至るプロセスで品質の向上をめざし、製品とサービスの可能性に挑戦しています。

ページのTOPへ ↑

私たちが追求する品質

ものづくりと販売・サービスの現場で6つの価値を追求することで品質の向上をめざし、お客さまとの信頼の絆を深めていきます。



● 販売・サービスの現場

製品の特徴や、安全にご使用していただくための情報などを、分かり易くお伝えすることを出発点として、お客さまの声に耳を傾け、対話を通して期待以上の製品や喜ばれるサービスを追求していきます。

● ものづくりの現場

開発・調達・生産の各段階で品質を確保した製品をお客さまにお届けする。これが私たちの使命です。私たちが考える品質は、「安全であること」、「誰もが使い易いこと」、「環境にやさしいこと」この3つが必要条件です。

ページのTOPへ ↑

お客さま満足を優先した品質マネジメント体制

グループ会社全体の品質保証業務を統括管理することで、今まで以上に、お客さま満足と品質の向上を達成できると考え、品質保証推進本部長が議長を務める「グループ品質会議」を毎月開催しています。執行部門における業務改善を推進するとともに、お客さま接点窓口の専門性を高め、6つの価値を着実に実現していきます。



品質マネジメント体制図

[個人情報保護方針](#)
[サイトのご利用について](#)
[ページのTOPへ](#)

企業情報	株主・投資家向け情報	CSRの取り組み	採用情報	製品に関する大切なお知らせ
<ul style="list-style-type: none"> ▶ トップメッセージ ▶ 企業理念・ビジョン ▶ 企業データ ▶ 沿革 ▶ 企業姿勢・規範 ▶ ノーリツグループ行動基準 ▶ コーポレートガバナンス ▶ 調達活動 ▶ 企業スポーツ活動 ▶ ノーリツチャンネル 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ IRニュース ▶ トップメッセージ ▶ 個人投資家、株主の皆様へ ▶ 経営方針 ▶ 業績・財務データ ▶ IRライブラリー ▶ 株主情報 ▶ IRイベント ▶ 電子公告 ▶ よくあるご質問 ▶ 免責事項 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ トップメッセージ ▶ ノーリツグループのCSR ▶ 国連グローバルコンパクト ▶ エコ・ファーストの約束 ▶ 3つの笑顔プロジェクト ▶ CSRTピックス ▶ ガバナンス ▶ 品質 ▶ 環境 ▶ 社会 ▶ 第三者意見 ▶ 国際的イニシアティブとの整合 ▶ 報告書一覧 ▶ 編集方針 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ お問い合わせ窓口一覧 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 製品を安全に、正しくお使いいただくために ▶ 長期使用製品安全点検制度について ▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意 ▶ その他、製品に関するご連絡、ご注意

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
 お気軽にお問い合わせください。
 [お問い合わせ窓口一覧はこちら](#)

新しい幸せを、わかすこと。



文字サイズ

小

中

大

サイト内検索

検索



よくあるご質問



お問い合わせ窓口一覧



サイトマップ

企業情報

株主・投資家向け情報

CSRの取り組み

採用情報

製品に関する大切なお知らせ

企業情報トップ ▶ CSRの取り組み ▶ 品質 ▶ 品質への取り組み

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

» 品質方針

» 豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する

» 品質への取り組み

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

品質への取り組み

① 品質への思い

① 製品開発における品質向上への取り組み

② 生産品質向上への取り組み

② 品質管理の取り組み

③ 営業品質向上への取り組み

③ 物流品質の向上

④ お客さまサービス品質の向上

④ 施工品質の向上

⑤ アフターサービス品質の向上

品質への思い

ノーリツグループは、お客さまの快適な暮らしを支えるお湯を安心してお使いいただくために、品質保証、お客さま対応の専門部門を設け、設計品質、生産品質、施工品質、CS対応品質の向上に取り組んでいます。

設計・生産段階では主に、安全、高品質な商品をお届けできるように、さまざまな基準、指標、管理手法を用いた活動を進め、当社商品をお使いの国内約2,000万世帯のお客さまの生活を支えています。2014年度は、拡大する海外のお客さまに、さらに安全・安心な商品を提供すべく、安全基準の強化とグローバル化を図ります。国内では、当社コンタクトセンターに日々届くお客さまの声を、企業活動に反映し、商品・サービスの改善、不具合の未然防止、品質のスパイラルアップおよび、安全啓蒙につなげるよう努めています。

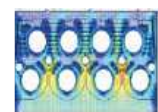
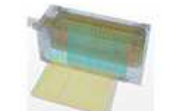
ページのTOPへ ↑

製品開発における品質向上への取り組み

■ 数値解析の活用による信頼性の向上

数値解析の活用により温度上昇や応力の計算をおこない、十分な耐久性を確保した設計をおこなっています。また、潜熱回収用の2次熱交換器は、排気の流れと水管配列を数値解析により最適化することで、高い熱効率を達成しています。

数値解析を活用して設計をおこなった熱交換器も、実機に組み込み各種の耐久試験モード条件で確認試験を実施しています。

1 次熱交換器
流体解析1 次熱交換器
パイプ応力解析2 次熱交換器
流体解析2 次熱交換器
流体解析

■ 3D(立体)プリンター活用による高品質な試作モデルの設計

3Dプリンターの活用により開発初期にさまざまな形状の試作・検討をおこない、高品質の部品の設計をおこなっています。例えばファン開発では、数値解析でも難しい高速回転体周辺の流れを、3Dプリンターモデルにて検証し、最適なファン形状を設計、より品質の高い給湯機器の開発

につなげています。



■ 不具合の未然防止への取り組み

「お客さまに、当社の製品を安心してご使用いただく」ために、設計の早い段階から不具合の未然防止に取り組んでいます。潜在的な故障・不具合の体系的な分析方法等を用いて解析し、製品・部品を設計しています。特に設計上の変化点には注意を払い、関連部門の力を集結し、製品の限界を超えた場合の事態まで予測した不具合発生をなくすための論議を進め、安全・安心の品質を見極めて設計を進めています。



[ページのTOPへ](#)

生産品質向上への取り組み

お客さまの信頼を得て、持続的な成長を果たすためには、生産品質の向上は必要不可欠の条件です。生産品質を向上させると、安定した生産が可能になるため、生産効率向上、標準化につながり、多品種、小ロットでも、お客さまの希望される納期どおりにお届けすることが可能になります。

このため、調達から生産、物流までのものづくりの現場の各工程で起きた事実を起点に、当社グループと取引先さまが一丸となって真因を究明、全員で解決にあたっており、この取り組みが生産・物流品質向上の鍵と考えています。

拡大する海外の活動に対応することも視野に入れ、これからも生産品質向上に全員で取り組み、お客さまの安全・快適な生活を支える商品を提供していきます。

[ページのTOPへ](#)

品質管理の取り組み

製品品質の安定・向上は、いかに不良・不具合の予兆を見つけるか、そして、経験した不良・不具合の失敗を、次に活かせるかがポイントとなります。ノーリツでは現在、予兆の発見活動として重要な寸法管理に加え、計測が難しい機能・性能ファクターを数値化し、定期的な監視や、ばらつきを防ぐ生産方法の検証をおこなっています。

また、不良・不具合に対して「なぜなぜ分析」を1つの方法として真因を解析・追及し、類似部品・類似加工等に横展開をおこなって再発を防止しています。

一方、不良・不具合の経験値を活用し、広く、継続的に継承するための活動(知識化活動)も実施しています。このような活動はノーリツだけでなく、ノーリツグループ、協力会社を含め広範囲に展開して、品質向上に努めています。

[ページのTOPへ](#)

営業品質向上への取り組み

お客さま(ビジネスパートナー、エンドユーザー)との接点機会が多い営業部は、日々の活動そのものがCSにつ

ながる部門です。ノーリツグループでは「個々の能力向上＝営業品質の向上」との考え方から人材教育を重要観点と捉え、従業員個人の営業品質向上を目的とした「能力開発プログラム」を実施。2013年度は全14支店1,600名が取り組みました。

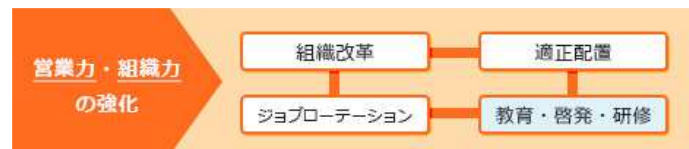
■ 能力開発プログラム

めざすべき営業品質

- ・お客さまとの接点部門として、お客さまの期待に対し、期待値以上で応えることをめざす
- ・顧客満足(CS)の最大化を、日々の営業活動を通じて実践する

取り組み事例

- ・従業員個人の営業品質(＝知識・提案力・マナーなど)向上をめざし、人材教育(＝能力開発プログラム)を継続して実施中です
- ・能力開発プログラムとは・・・
個人の能力開発に重点を置き、営業力(知識・現場力etc)向上を図る育成プログラムです(知識レベル確認→レベルに応じた現場教育を実施)



今後の取り組み

- ・学習した知識やスキルを業務で活かすために、現場ベースでの実践的な教育機会を設定していく
- ・知識レベルや研修履歴などを一覧管理し、継続体系化していく

[ページのTOPへ](#)

物流品質の向上

物流システム部では、“お客さまに商品をタイムリーに適正なコストで丁寧にお届けする”というミッションに応えるため、次のような取り組みに努めています。

■ 適正納期対応

パレット活用・ダイヤ運用

工場・倉庫から商品を出荷時にパレットを活用し、トラックへの積込時間を短縮するとともにダイヤに基づいて運行し、配達店への着時間を守るよう努力をしています。

■ 在庫品質の向上

ストア改善

先入れ先出しによる鮮度管理の徹底と、効率の良い倉庫の運用、出荷時の作業性の向上をめざし倉庫を改善しています。

■ 配送品質の向上

品質会議の定期開催

年3回合同品質会議を実施。各現場での取り組みや改善内容を

発表し、事例や情報の横展開をおこない、品質向上に取り組んでいます。



構内品質会議



配送品質会議

運送会社への定期巡回

随時、運送会社のプラントホームの状況や荷扱いを訪問・視察し、問題点があればすぐに改善の検討を開始しています。意見交換もおこない、配送品質の向上に取り組んでいます。

出荷拠点の整備

出荷拠点を集約し、全体の効率を上げるべく取り組んでいます。

フォークリフトコンテストの開催

運送会社様の技能向上と安全運転の推進に取り組んでいます。

積載率向上への取り組み

トラックの台数を削減してトラック不足を補うとともに、コスト低減・環境保全への貢献をめざし取り組んでいます。

人材教育／改善提案強化

常に改善を意識して、改善提案の提出を奨励しています。部門内で年間表彰を実施し、意識の向上も図っています。



運送会社への巡回視察



2013年フォークリフトコンテスト

[ページのTOPへ](#)

お客さまサービス品質の向上

ノーリツグループでは、お客さまのお問い合わせやご意見を真摯に受けとめ、ものづくりや各種サービスに活かすことにより、お客さまとの信頼関係に向上につなげています。この為、お客さまと電話・FAX・メール・お手紙にて直接的に接点のあるコンタクトセンターにおいては、特にお客さまサービス品質を左右する電話対応について、その品質向上に向けた以下の取り組みをしています。

■ 電話対応技能資格取得

公益財団法人日本電信電話ユーザー協会が認定している「電話対応技能検定(もしもし検定)」の資格取得を、会社として推奨しており、現在、指導者級含め多数の資格取得者が在籍しています。

■ 電話対応研修の充実

電話対応技能検定の資格取得者が講師となり、新人の電話対応者からベテランの電話対応者まで、そのレベルに合わせた電話対応研修を、計画的に実施しています。

■ お客さまとの会話録音による指導・育成

お客さまとの会話を録音することにより、適宜、対応内容の品質を確認するとともに、定期的に、対応品質チェックをおこない、改善点のフィードバックをおこなっています。

■ 電話対応コンクールへの積極参加

公益財団法人日本電信電話ユーザー協会が毎年主催している電話応対コンクールと企業電話応対コンテストに、多数の電話応対者が参加し、電話応対力を競っております。都道府県代表が競う「電話応対コンクール全国大会」において、近年2人の優秀賞受賞者を出しています。



電話応対コンクールの
2013年全国大会に出場した当社従業員

[ページのTOPへ ↑](#)

施工品質の向上

■ 指定施工店認定制度

指定協力施工店の社員対象にマナー・安全に関する教育を実施し、その後、設置業務分野別に下記の認定研修を受講。修了後、受講者には研修の種類が裏書された施工IDが発行されます。

明石本社工場内の新エネルギー研修センターおよび東京研修センターにて認定研修(有料)を実施しています。

- ・システムバス設置認定研修
- ・システムキッチン設置認定研修
- ・温水給湯器設置認定研修
- ・温水システム設置認定研修

■ システムバス設置登録店制度

お客様先さまのシステムバス自社設置の品質向上を図るために自社設置される店として登録して頂き、その後、実務者の方にシステムバス設置認定研修を実施しています。

- ・システムバス設置認定研修

■ 太陽光発電システム施工認定研修

太陽光発電システムの設置技術者を育成、認定技術者の設置を条件に当社の太陽光発電システムを販売しています。また、明石本社工場内の新エネルギー研修センターおよび東京研修センターにて認定研修(有料)を実施しており、修了後、受講者にはPV施工IDが発行されます。



施工研修

[ページのTOPへ ↑](#)

アフターサービス品質の向上

ノーリツグループでは、自社修理受付の修理対応の品質向上として、「サービスマン認定制度」と「サービスマン技能コンテスト」をおこなっています。

「サービスマン認定制度」ではサービスに必要なノウハウの研修を受講し、合格した証として「サービスマン認定証」を発行しています。

また、サービスマンの技術、対応、提案力をレベルアップすることをめざす、「サービスマン技能コンテスト」もおこなっています。

2013年は関東・関西・中部・中四国・九州の各地区で予選をおこない、初めとなる全国大会も開催しました。次回は2015年の予定です。

一方、販売店さまへは、同じくアフターサービス品質向上をめざした研修として、「ノーリツスクール」を開催しています。



サービスマンコンテストの様子

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRTピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

» 環境経営

» 製品を通じた環境負荷低減

» 事業活動を通じた環境負荷低減

» 生物多様性保全

» 環境保全活動データ

» 環境コミュニケーション

» SDS(安全データシート)

» 家電リサイクルの実績

» 家庭でのCO2が分かります(環境家計簿)

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

環境



① 環境経営

「きれいな地球を次の世代へ」をスローガンに、グループ全体で地球環境保全活動に取り組んでいます。

② 製品を通じた環境負荷低減

「持続可能な社会」の実現に向け、環境技術・ものづくりを通じてグループ全体で貢献しています。

③ 事業活動を通じた環境負荷低減

CO₂の排出量削減、省エネルギー活動、廃棄物の削減と資源循環の推進、環境汚染の予防・防止に継続的に取り組んでいます。

④ 生物多様性保全

将来に渡って「生態系サービス」と呼ばれる恩恵を受けられるよう、生物多様性を守る取り組みを進めています。

⑤ 環境保全活動データ

環境保全活動に取り組むと同時に、CO₂排出量、エネルギー使用量などの関連データを公開しています。

⑥ 環境コミュニケーション

環境ワークショップや廃棄物研修、eco検定など社内外でさまざまな環境コミュニケーションをおこなっています。

⑦ SDS(安全データシート)

化学製品の性質を正しく理解し、安全な取り扱いや作業場に注意表示していただくための取扱説明書をご準備しています。

⑧ 家電リサイクルの実績

再商品化等を実施した状況を、特定家庭機器再商品化法(家電リサイクル法)に基づき公開しています。

⑨ 家庭でのCO₂が分かります(環境家計簿)

家庭で使用するエネルギーから排出されるCO₂、樹木が吸収してくれる汚染ガス量と樹木数が計算できるweb家計簿です。ご自由にお使いください。

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRトピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

新しい幸せを、わかすこと。



文字サイズ 小 中 大

サイト内検索

検索

よくあるご質問 お問い合わせ窓口一覧 サイトマップ

企業情報 | 株主・投資家向け情報 | CSRの取り組み | 採用情報 | 製品に関する大切なお知らせ

企業情報トップ ▶ CSRの取り組み ▶ 環境 ▶ 環境経営

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

» 環境経営

» 製品を通じた環境負荷低減

» 事業活動を通じた環境負荷低減

» 生物多様性保全

» 環境保全活動データ

» 環境コミュニケーション

» SDS(安全データシート)

» 家電リサイクルの実績

» 家庭でのCO2が分かかります(環境家計簿)

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

環境経営

環境理念・環境基本方針

年間CO2排出量

重点課題

エコ・ファーストの約束

環境会計(ノーリツ独自)

環境経営推進体制

環境管理システムの構築

リスクマネジメント

環境理念・環境基本方針

私たちは「きれいな地球を次の世代へ」をスローガンに、環境管理システムを構築し、環境負荷低減をはじめとした具体的な計画をもとに、ノーリツグループ全体で地球環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

環境理念

私たちは、良き企業市民として循環型社会の実現をめざし、あらゆる企業活動において地球環境保全に積極的に取り組みます。

スローガン

～きれいな地球を次の世代へ～

環境基本方針

1. 環境管理システムの構築

環境管理システムを構築し、継続的改善を図ることで社会責任を果たします。

2. 製品および事業活動において環境負荷低減

製品および事業活動において、環境へ配慮し、地球温暖化の防止、省資源、有害物質・廃棄物削減・生物多様性の保全など、環境負荷の低減をおこない、循環型社会の実現に貢献します。

3. 環境リスクの低減

環境関連法規類の遵守はもとより、企業として社会的責任を自覚した自主基準を設け、環境リスクの低減、汚染の予防に努めます。

4. 環境コミュニケーションを通じた環境保全活動の推進

環境教育を通じて一人ひとりの環境意識の向上を図り、地球環境問題の深刻化を認識するとともに良き企業市民として社会・地球における環境保全活動を実施していきます。

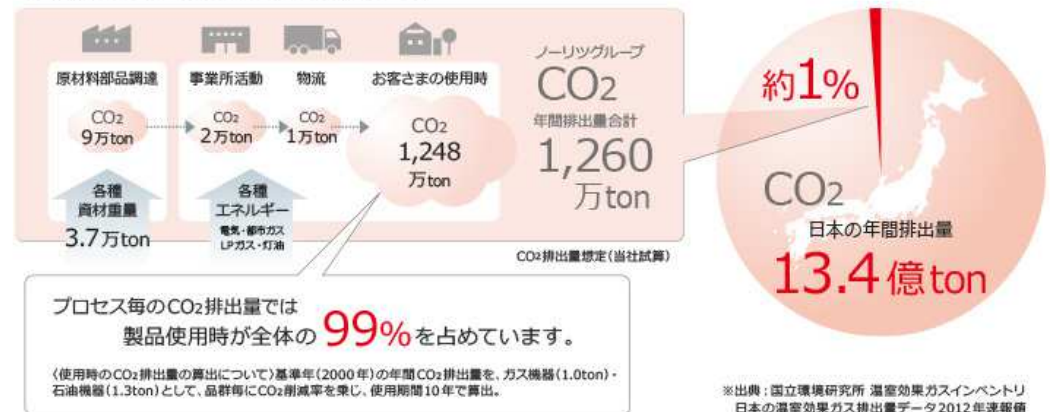
ページのTOPへ

年間CO2排出量

ノーリツグループは、約3.7万tonの資源と各種エネルギーを投入し、ライフサイクルを通して約1,260万tonの

CO₂を排出しています。これは日本全体のCO₂排出量約13.4億ton※に対して約1%を占めていることとなります。

製品のライフサイクルの年間CO₂排出量合計



プロセス毎のCO₂排出量では製品使用時が全体の99%を占めています。

（使用時のCO₂排出量の算出について）基準年（2000年）の年間CO₂排出量を、ガス機器（1.0ton）・石油機器（1.3ton）として、品群毎にCO₂削減率を乗じ、使用期間10年で算出。

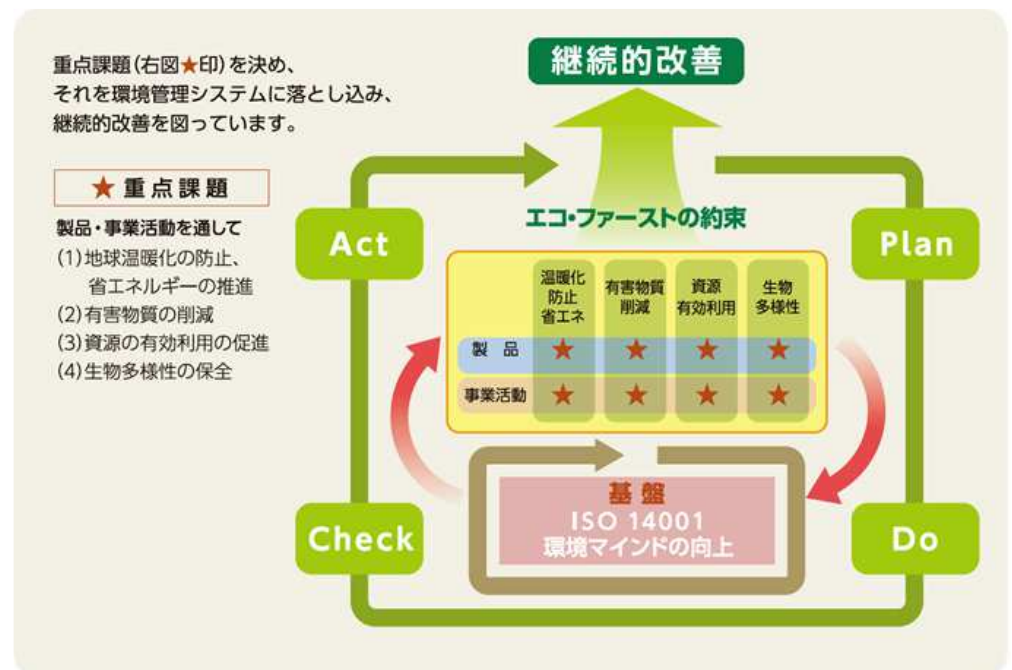
当社のガス・石油給湯機器の国内シェアは約40%であり、約2,000万世帯のお客さまに当社製給湯機器をお使いいただいています。

[ページのTOPへ](#)

重点課題

「エコ・ファーストの約束」を策定

ノーリツグループは、「企業の成長」と「環境推進」の両立をめざした「エコ・ファーストの約束」を策定しています。



[ページのTOPへ](#)

エコ・ファーストの約束

[ページのTOPへ](#)

環境会計（ノーリツ独自）

説明

ノーリツでは、「エコ・ファーストの約束」に関連する項目を、経済的側面からも測定しています。「製品を通じて低炭素社会の構築～」ではお客さまの使用時における経済削減効果、「事業活動を通じて低炭素社会の構築～」では各エネルギー使用の経済削減効果、「資源循環型社会の構築～」では廃棄物処理費用の経済削減効果を測定しています。これらの効果を測定することにより、お客さまのより豊かな暮らしやノーリツグループの経営基盤の強化へと繋げていく考えです。

■ 環境会計 経済効果

製品の環境配慮による経済効果は約66億円

2013年販売の高効率温水機器（潜熱回収型等）、創エネルギー機器（太陽熱利用機器、太陽光発電システム等）の環境配慮商品を使用することで、お客さまが得られた経済効果（節約額）は、約66億円になりました（対2000年）。お客さまの使用をモデル化した推定による算出結果です。

※計算根拠（2013年11月時点データ）

2000年と2013年の各製品群を代表する機種種の平均熱効率を基にその差による1年間の燃料代の節約額と販売台数から算出

ガス料金：東京ガス株式会社 一般契約料金B表

基本料金：¥1,110.90円／月、基準単位料金：¥133.86／m³

電気料金：東京電力株式会社 従量電灯B プレーカ容量50A

基本料金：¥1,365／月、基準単位料金：¥25.19円／kWh

灯油料金：資源エネルギー庁

全国平均配達価格：¥108.83／L（2013年11月11日）

※発熱量

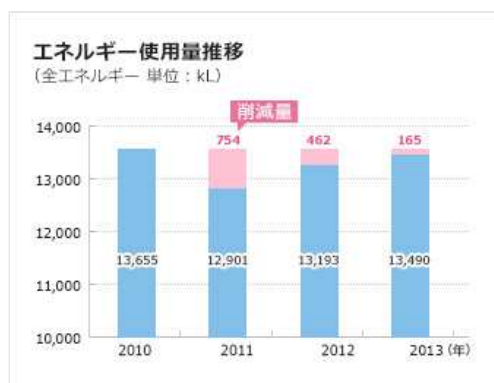
都市ガス：12.5kWh／m³

灯油：10.19kWh／L

■ CO₂削減（エネルギー削減）

事業活動を通じたCO₂削減（エネルギー削減）においては、CO₂削減量の目標値だけでなく、エネルギー削減によるエネルギーコストについても指標を設けて経済的効果についても測定し、把握しています。

2011年以降は、エネルギー単価の急騰により、コストは年々増加しており、2013年度もエネルギー使用量は削減したものの、コストは大幅に増加しました。エネルギーコストの経営への影響は、今後も非常に大きくなるため、エネルギーコストの削減＝利益の創出という観点で取り組んでいきます。



原油換算：各種エネルギーを共通の単位を用いて比較するため、原油量に換算すること。

原油換算値 (kL) = 使用量 [O] × 各エネルギーの単位発熱量 [GJ / O] × 0.0258 (原油換算係数 [kL / GJ])

個人情報保護方針

サイトのご利用について

ページのTOPへ

企業情報

- ・トップメッセージ
- ・企業理念・ビジョン
- ・企業データ
- ・沿革
- ・企業姿勢・規範
- ・ノーリツグループ行動基準

株主・投資家向け情報

- ・IRニュース
- ・トップメッセージ
- ・個人投資家、株主の皆様へ
- ・経営方針
- ・業績・財務データ
- ・IRライブラリー

CSRの取り組み

- ・トップメッセージ
- ・ノーリツグループのCSR
- ・国連グローバルコンパクト
- ・エコ・ファーストの約束
- ・3つの笑顔プロジェクト
- ・CSRトピックス

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ・製品を安全に、正しくお使いいただくために
- ・長期使用製品安全点検制度について

エネルギーコスト推移
(全エネルギー 単位：百万円)



エネルギー別コスト比率



■ 廃棄物削減

国内の生産活動に伴い発生する廃棄物の排出量について、ノーリツグループでは「エコ・ファーストの約束4」で、「事業所外に排出する量を2016年までに60%以上削減すること」をめざすと宣言しています。この宣言に基づいて日々努力を重ねています。

廃棄物の排出量を減らし、資源循環型社会への貢献を進めていく中で、処理費用の削減という効果も出てきます。費用面での効果として、2013年は、廃棄物排出量は内製の拡大等により2012年より121ton増加し1875tonとなり、処理費用も2012年より487万円増加しました。2014年は廃棄物排出量の削減を進めることにより、処理費用の削減を進めていきます。

[ページのTOPへ ↑](#)

環境経営推進体制

ノーリツグループにおける環境保全活動の重要実施計画は、社長が主催する「CSR委員会」で審議・決定されます。ここで決定された「エコ・ファーストの約束」は、各執行部門の課題に落とし込まれ、活動の結果がフィードバックされる仕組みになっています。また、執行部門をまたがる個々の重要な課題に対しては、CSR・環境推進室が中心となって、グループ会社も入り、環境会議やワーキンググループを設けてPDCAサイクルを回しています。



環境会議



[ページのTOPへ ↑](#)

環境管理システムの構築

ノーリツは、グループ全体の環境管理システム(EMS)を構築し、PDCAを繰り返し回すことで環境先進企業としての体質強化を図っています。

■ ノーリツグループの環境管理システムの認証取得状況(2013年12月末時点)

ISO14001 (ノーリツ)			ISO14001 (グループ会社)		
	NAM事業所	1997年 3		信和工業(株)	2000年 3

生産事業所		月	生産事業所 (国内)		月
	加古川事業所	1999年 6月		第一電子産業(株)	2000年 3月
	明石事業所	2000年 3月		(株)アールビー神立工場	2001年 2月
事務系	西新町事業所	2004年 4月		(株)アールビーつくば事業所	1999年 6月
	営業本部	2008年 9月		(株)ハーマン	1999年 11月
				(株)多田スミス	2002年 1月
				関東産業(株)前橋事業所	2004年 11月
				大成工業(株)本社工場	2004年 2月
				大成工業(株)播磨第二工場	1999年 11月
				大成工業(株)播磨第三工場	2006年 12月
			大成工業(株)稲美工場	2004年 2月	
			(株)エスコアハーツ	2010年 10月	
KEMS (ノーリツ)			生産事業所 (海外)	能率(中国)投資有限公司	2010年 3月
	※ノーリツ本社	2004年 4月		能率(上海)住宅設備有限公司	2010年 3月
※ノーリツ本社は2014年中にKEMS(神戸環境マネジメントシステム)よりISO14001へ移行予定です。				東莞大新能率電子有限公司	2007年 3月
				櫻花衛厨(中国)股份有限公司	2008年 6月
				佛山市櫻順衛厨用品有限公司	2014年取得見込み

■ 内部環境監査員講習会

ノーリツグループでは、社内外の内部環境監査員講習会の受講により内部環境監査員の資格を取得しています。

現在、約500名の内部環境監査員が、環境改善に関する知識をもって内部監査にあたっています。



2013年度は3回実施し、合計62名が参加しました。

受講者の声 橋本金属工業㈱ 人事総務部 高橋 千恵さん

今回参加させていただき環境への意識・取り組み方について非常に有意義な講習会でありました。内部監査に必要なスキルを身につけるにはまだまだ経験が必要ですが、今回の講習会で得られた経験を社内に活かし、スパイラルアップをおこないたいと思います。

2014年4月中国の東莞大新能率電子有限公司で、日本人社内講師による講習会をおこない、15名を新監査員として登録しました。

登録された新監査員は、今後環境管理システムを運用していくうえで中心的な役割を果たしていきます。



講習会の様子（中国）



新監査員（中国）

■ 内部環境監査、マネジメントレビュー、外部認証機関による審査、実施状況

ノーリツグループでは、毎年内部環境監査員による環境監査を実施し、マネジメントレビューを経て外部認証機関による審査を受けています。指摘された不適合、改善事項は速やかに是正し、継続的な改善に取り組んでいます。



内部環境監査（営業本部）



マネジメントレビュー（生産事業所）



外部認証機関による審査（現場視察）

内部環境監査員の声

水戸営業所 総務課 竹山 正弘さん

内部監査員となり、いろいろな経験をしています。研修会では、普段会うことのない他商圏のメンバーと情報交換をしたり、内部監査では、他の支店、営業所の様子を見聞して参考にしたり、工夫すべき点を多く学ぶことができました。

私自身、内部監査員になるまではISOに関してはほとんど無関心でしたが、研修や内部監査を通じ、ISO活動の必要性を真剣に考えるようになりました。今回の経験を大切に、今後のISO活動に活かしていきたいと思っています。



■ 緊急事態への準備および対応



訓練の様子（能率中国）

環境に著しい影響、または有害な影響を及ぼすおそれのある潜在的な緊急事態には、どのようなことが起こり得るかを明らかにし、そうした事態が発生した場合の対応手順を予め作成し、定期的に訓練をおこなっています。

地域の土壌・水域・大気を汚さないよう油漏れ・化学物質の流出防止、火災発生を想定した人命救助など多岐にわたる準備・訓練を実施しています。

[ページのTOPへ](#)

リスクマネジメント

■ 環境汚染防止

ノーリツグループは、環境汚染の防止については、環境関連法規制および関連基準を遵守しており、ISO14001に基づいた遵守評価も実施し、環境リスクの低減、環境汚染の予防に努めています。

当社グループは主な環境汚染リスクを、以下の7項目に定義しています。

「有害物質の流出」「土壌汚染」「水質汚濁」「大気汚染」「騒音・振動」
「廃棄物の不適正処理・違法投棄・越境異動」「地球温暖化（CO₂の排出）」

2013年は「廃棄物」を重点テーマとして取り組み、廃棄物に関する研修をおこないました。研修では、現場で起こり得るケース等をまじえて、廃棄物処理法の基本（排出者責任）、産業廃棄物の処理方法等について従業員の理解を深めることができました。（182名受講）

2014年度の主な課題として、以下に取り組みます。

- （1）環境リスクのチェックリストを作成し、自己点検による環境リスクの把握と検証をおこなう。
- （2）「廃棄物処理フロー」を作成し、廃棄物の流れを見える化し、廃棄物処理の適正化を推進する。

個人情報保護方針

サイトのご利用について

ページのTOPへ

企業情報	株主・投資家向け情報	CSRの取り組み	採用情報	製品に関する大切なお知らせ
<div>トップメッセージ</div> <div>企業理念・ビジョン</div> <div>企業データ</div> <div>沿革</div> <div>企業姿勢・規範</div> <div>ノーリツグループ行動基準</div> <div>コーポレートガバナンス</div> <div>調達活動</div> <div>企業スポーツ活動</div> <div>ノーリツチャンネル</div>	<div>IRニュース</div> <div>トップメッセージ</div> <div>個人投資家、株主の皆様へ</div> <div>経営方針</div> <div>業績・財務データ</div> <div>IRライブラリー</div> <div>株主情報</div> <div>IRイベント</div> <div>電子公告</div> <div>よくあるご質問</div> <div>免責事項</div>	<div>トップメッセージ</div> <div>ノーリツグループのCSR</div> <div>国連グローバルコンパクト</div> <div>エコ・ファーストの約束</div> <div>3つの笑顔プロジェクト</div> <div>CSRトピックス</div> <div>ガバナンス</div> <div>品質</div> <div>環境</div> <div>社会</div> <div>第三者意見</div> <div>国際的イニシアティブとの整合</div> <div>報告書一覧</div> <div>編集方針</div>	<div>お問い合わせ窓口一覧</div>	<div>製品を安全に、正しくお使いいただくために</div> <div>長期使用製品安全点検制度について</div> <div>グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意</div> <div>その他、製品に関するご連絡、ご注意</div>

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

» 環境経営

» 製品を通じた環境負荷低減

» 事業活動を通じた環境負荷低減

» 生物多様性保全

» 環境保全活動データ

» 環境コミュニケーション

» SDS(安全データシート)

» 家電リサイクルの実績

» 家庭でのCO2が分かります(環境家計簿)

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

製品を通じた環境負荷低減

① 製品・サービスの環境配慮

② 製品・包装における資源の有効利用

③ 海外での省エネルギー機器

④ 製品の省エネルギー・地球温暖化防止

⑤ 製品の環境負荷低減とサプライチェーン

製品・サービスの環境配慮

地球規模での環境問題がますます深刻化し続けている中で、日本では、2011年に発生した東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故を受けて、化石燃料による電力確保を優先すべき事態にもなっており、温室効果ガス削減目標と現実とのギャップがますます拡大しています。

ノーリツグループは、「持続可能な社会」の実現に向け、その三要素である「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然共生社会」の構築に、環境技術・ものづくりを通じて貢献しています。そのために、「地球温暖化の防止」「資源の有効利用」「環境汚染の予防」の3つの視点を軸に、製品ライフサイクルのすべてのステージで環境負荷を低減した製品づくりを推進します。

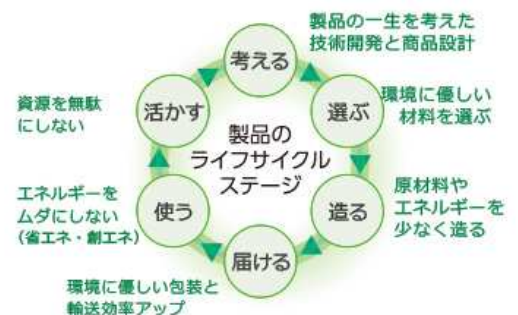


■ 製品ライフサイクルでの環境配慮

当社では、ライフサイクル全体での環境負荷総量を可能な限り小さくし、機能や経済性などすべてに満足していただける商品をお届けできるよう、技術開発や商品の企画・設計段階から製品を廃棄する段階まで、製品の一生を考えて全体最適に取り組んでいます。

1つの環境性能の向上がコベネフィット(相乗便益)を生み出せば問題ありませんが、トレードオフの関係になる場合も多く、社会状況で優先度も刻々と変化するため、ライフサイクルにわたる各環境性能の総合的な評価結果に基づき、いかに重み付けをおこなって判断するかがさらに重要になっています。

ライフサイクル・シンキング

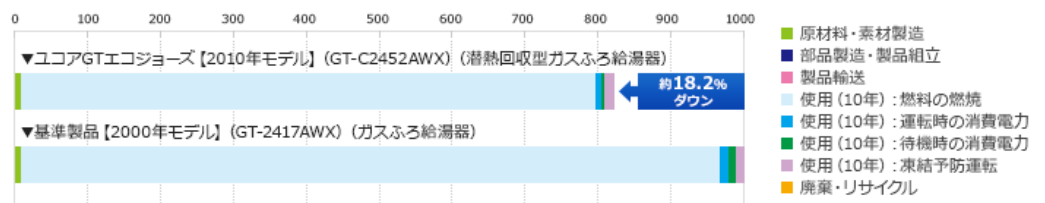


各ライフステージの私たちの取り組み



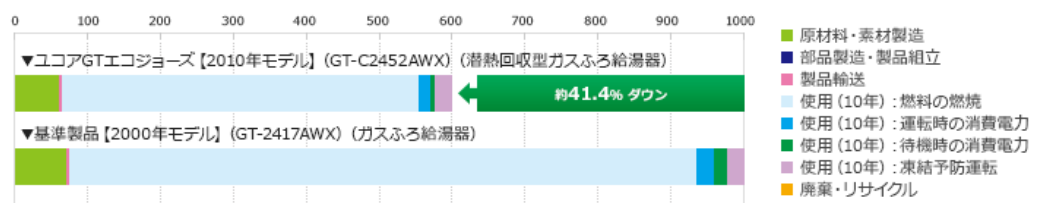
温暖化負荷（CO₂排出量）削減例：基準製品のCO₂を1000として指数化

現在では、2000年モデルと比較して、18.2%の削減になっています。



酸性化負荷（NO_x・SO_x排出量）削減例：従来製品の排出量（SO₂換算）を1として指数化

現在では、2000年モデルと比較して、41.4%の削減になっています。



・当社では、LCA評価により、従来製品と比較した相対的な環境負荷の改善を把握することを目的としているため、評価結果は指数で表示しています。また、使用期間10年のライフサイクル全体で捉えると、CO₂はtonレベル、NO_x・SO_xはkgレベルで排出されますので、CO₂では従来製品を1000、NO_x・SO_xでは従来製品を1とした指数で表示しています。

・使用段階での環境負荷は、当社LCA評価基準に定めたモデルによる10年間の試算結果です。（東京地区、世帯人数は全国平均想定）

・酸性化負荷は、LCA国家プロジェクト（独）産業技術総合研究所ライフサイクルアセスメント研究センターが開発した手法「LIME2」に基づき、 $0.72 \times \text{NO}_x + \text{SO}_x$ で統合化（SO₂換算）しています。

[ページのTOPへ](#)

製品の省エネルギー・地球温暖化防止

■ 製品によるCO₂排出量の削減（温水機器・太陽エネルギー利用機器）

ノーリツグループの設備機器がそのライフサイクルで排出する温室効果ガス（CO₂）は、大部分が使用段階から排出されます。ノーリツグループでは、低炭素社会の構築に向け、お客さまの快適性・利便性を損なうことなく、各世帯の住まい方の実情に合わせた温暖化対策と節電・ピーク電力対策に貢献する多様な設備機器を提供できるよう、高効率温水機器のラインナップの拡充と更なる性能向上に取り組むとともに、再生可能エネルギー利用機器（太陽熱利用システム、太陽光発電システム）等の商品開発に取り組んでいます。

高効率温水機器で省エネ・CO₂削減(例)

温水機器分野では、2013年も積極的に潜熱回収型温水機器のラインナップの拡充をおこない、拡販に努めてきました。また、給湯一次エネルギー効率がトップレベルの125%※を実現した戸建住宅用「ハイブリッド給湯・暖房システム」を2013年に発売しました。業界で初めて「ノンフロン冷媒」を採用し、ヒートポンプ技術を使用した空気の熱と高効率ガス給湯器のガスエネルギーを利用することで、エネルギー効率を高め、CO₂排出量削減に貢献する商品です。

※給湯使用による効率(暖房使用は除く)「住宅事業建築主の判断基準」6地域の条件を参考に当社調べ。



ガス潜熱回収型 給湯器／ふろ給湯器／給湯暖房機



ガスふろ給湯器
GT-C**52シリーズ

給湯熱効率
80%⇒95%
ふろ熱効率
75%⇒92%

CO₂削減量
190kg
(/台/年)

ふろも高効率で“2つのエコ”



ガスふろ給湯暖房機
GTH-C**48シリーズ

給湯熱効率
80%⇒95%
暖房熱効率(低温,高温)
80%⇒89%,85%

CO₂削減量
252kg
(/台/年)

[詳細はこちら](#)

[詳細はこちら](#)



石油ふろ給湯器
OTQ-C4703AY

給湯熱効率
83%⇒95%

CO₂削減量
188kg
(/台/年)

[詳細はこちら](#)



家庭用ガスエンジン
コージェネレーション
システム



ハイブリッド給湯・暖房システム



ハイブリッド
給湯・暖房システム

給湯一次エネルギー効率
125%※

CO₂削減量
309kg
(/台/年)

※「住宅事業建築主の判断基準」
6地域の条件を参考に当社調べ。
給湯使用のみ



[詳細はこちら](#)

太陽エネルギー利用で創エネルギー・CO₂排出量削減(例)

太陽熱利用
ガスふろ給湯システム
VFシリーズ



※集熱面積6㎡での値

CO₂削減量
579kg
(/台/年)

太陽光発電システム
PVMD シリーズ(多結晶)



CO₂削減量
2,162kg
(/4kW/年)

太陽電池モジュール パワーコンディショナ

■ CO₂・省エネ情報の「見える化」と運転制御による省エネ(温水機器・太陽エネルギー利用機器)

家庭から排出されるCO₂の削減は、我慢の省エネではなく、持続可能な対策が不可欠です。メーカーとして、機器の省エネ性能向上に最優先で取り組むとともに、お客さまが十分だと感じていただける範囲で移動し、必要以上のエネルギー使用を抑えることも大切です。

ノーリツグループでは、お客さまが、無理なく・楽しく・自然に、省エネに配慮した使い方をされ、その削減状況を確認していただけるよう、各種のナビゲーション機能を搭載したりリモコンと対応機種のラインナップ拡大を図っています。お客さまが能動的に設定できる各種の省エネ運転モードの搭載も進め、運用面での省エネ・CO₂削減行動をサポートします。

省エネナビゲーション機能搭載(例)

ノーリツグループでは、お客さまに情報を提供する際の、分かりやすさ・丁寧さ・確認のしやすさ・即時性などを考慮し、ナビゲーション機能の改善を進めています。家庭内のエネルギー使用量(ガス/灯油・水・電気)をお客さまに大きな費用負担をお掛けすることなく「見える化」し、お客さまの省エネ意識の醸成と省エネ行動を支援するよう取り組んでいきます。

「省エネナビゲーション表示」

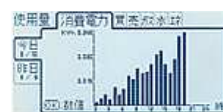
日間・月間・年間単位で、エネルギー使用量・使用料金を数値・グラフで表示

科目	光熱費	電気料	水道
月間	2009年	2010年	
年間	8月	13,333円	15,000円
	7月	12,222円	14,444円

ガスの使用量比較
(対前年/前月)

昨日の料金	現在状況
電気	110円
ガス	100円
お湯	50円
計	260円

昨日の光熱費表示



グラフによる消費電力表示
例

表示例

RC-C001シリーズ浴室リモコンの表示部分を例として説明しています。



【エネ速報表示】
文字でのエネルギー使用量をリアルタイム表示

【アニメーション表示】
種類のキャラクターで節約状況を表示

オーバー

小

節約金額

大

省エネモード機能搭載(例)

・エコスイッチ・オンで、以下の省エネモードに設定されます。

※機種により、機能の一部がないものがあります。

・給湯運転

出湯量を制限(8L/10L/12L/制限無)

(量はお好みで設定できます)

・ふろ自動保温運転

ふろ設定温度の-1℃で保温

・床暖房運転

床暖房の温水を通常より-5℃で運転

・給湯運転

設定温度の-1℃で出湯

・ふろ自動お湯はり

設定水位より若干少ない湯量で自動ストップ

全自動タイプ：約-1cm

自動タイプ：約-10L

・最適ふろ自動

通常の自動保温運転よりも少し長めの間隔で追っ
だき



RC-D112Eマルチリモコンで説明しています。

■ 待機時消費電力の削減

温水機器は、安全監視・制御・通信などの機能上、待機時消費電力が不可欠ですが、ノーリツグループでは早くから待機時消費電力の削減に取り組み、業界自主基準(2008年度目標)達成はもちろん、更なる低減に向けて取り組んでいます。

現在では、販売製品1台当たりの年間待機時消費電力量(加重平均)は、2000年度に対し50%削減しています。中には90%を上回って削減した製品もあります。

ガスふろ給湯暖房機での待機時消費電力削減(例)



(注) 待機時消費電力値は、業界JIS自主基準(JGKAS C702)に基づく。

■ 製品によるCO₂排出量の削減例(バスルーム)

ノーリツグループでは、お客さまの快適性・利便性を追求し、かつ、エネルギー使用の削減に寄与する製品をお届けするよう、「環境と人」をテーマに技術開発と商品設計に取り組んでいます。



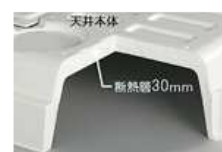
[詳細はこちら](#)



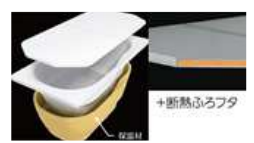
断熱壁



断熱床



断熱天井



断熱浴槽+断熱ふろフタ

■ 製品によるCO₂排出量の削減例(キッチン)

ノーリツグループでは、お客さまの快適性・安全性を追求し、システムキッチンや調理機器(コンロ・食洗機・等)、洗面化粧台の機能・デザイン・操作性等の向上に努めるとともに、省エネ・節水に配慮し、エネルギー使用の削減に寄与する製品をお届けするために、技術開発と商品設計に取り組んでいます。

節水・節湯水栓の採用

・「手元止水＋小流量」対応の「タッチ式グーネスネック水栓＊」を採用



[詳細はこちら](#)



高効率ガス調理機器の搭載

・高効率ガスビルトインコンロ
S-Blinkシリーズ、i-SELECTシリーズ、他



[詳細はこちら](#)

節水型食器洗い乾燥機の搭載

・節水型スライド式食器洗い乾燥機
FB4515シリーズ(食洗機ありプラン:標準仕様)



庫内容量40L
(約5人用)



[詳細はこちら](#)

■ 製品によるCO₂排出量の削減例(洗面化粧台)

節水・節湯水栓の採用

Cubo

キューボシリーズ <標準仕様>



微細シャワー



[詳細はこちら](#)

[ページのTOPへ](#)

持続可能な資源循環を実現し、循環型社会を構築するためには、社会全体での最適化を図るよう取り組まなければなりません。省資源化設計(小型・軽量化)は、低炭素社会や自然共生社会の構築にも間接的に貢献する最もコベネフィット(相乗便益)を生み出しやすい取り組みの一つですが、自社の事業範囲だけでなく上下流のサプライチェーンを見据え、資源利用全体の実像を考慮して取り組む必要があります。一方、再生材(再生資源)の利用等の取り組みは、それ以上の総合的な判断が不可欠であり、ライフサイクル全体での評価に基づいた広範囲な視点で、自社製品が廃棄された後の再資源化と再生資源の利用の推進に取り組む必要があります。ノーリツグループの製品は、長寿命と高い安全性が要求される住宅設備機器が中心であることから、実効性を検証しつつ、ステップ・バイ・ステップで製品の3R対応設計を推進しています。また、製品の包装材においても、リターナブル包装等の3R対応を推進しています。



■ リターナブル包装(温水機器)

ガス温水機器

ガス温水機器では、2002年からリターナブル包装を導入しました。これは、包装設計と各種試験により適正形状を追求することで、衝撃吸収性と回収輸送性を両立した薄肉の樹脂成形部材(上下トレイ)を開発することに成功し、従来の段ボールと緩衝材を代替したものです。販売・施工会社様のご協力により、施工現場より上下トレイ(および一部機種のフロント保護材)を回収して再使用(リユース)しています。

現在、一部ハウスメーカーさま・ガス会社さま向けに使用しており、毎年着実に増加しています。2013年のリターナブル包装製品の出荷台数は、2005年比では約8.5倍まで増加しました。ガスふろ給湯暖房機では2013年の出荷台数全体の約17%がリターナブル包装になっています。今後も採用拡大に向け取り組んでいきます。

ガス温水機器リターナブル包装例(シュリンク包装)



ガス温水機器リターナブル包装製品の出荷台数の推移
(対2005年比)



[ページのTOPへ](#)

製品の環境負荷低減とサプライチェーン

■ 製品における環境負荷物質低減の取り組み

当社グループは、化学物質管理システムの構築と情報開示、化学物質監査等によるグリーンサプライチェーンの強化に取り組んでいます。製品における有害物質低減については、「ノーリツグループ環境負荷物質管理指針」※1に基づいて化学物質の管理をおこない、有害物質対応商品（GP対応商品）※2の開発に取り組むことにより、その販売構成比の拡大を図っています。

この取り組みは、取引先だけでなく、購買・設計・製造・営業といった当社の事業活動を含めたサプライチェーン全体で推進しています。2013年は、(1)温水機器・厨房機器の新製品に対し、REACH規則※3で定められた化学物質の含有状況を管理し情報開示できるようにする(2)含有情報の精度向上を図るため新化学物質管理システムを検討するの2点を目指に取り組みました。

2013年は、石油ふろ給湯機のREACH対応調査を実施した結果、情報開示ができるようになりました。

また、新管理システムの導入を検討し、使い勝手・省人性・今後の展開を図るための評価をしました。2014年はこの取り組みを継続し、精度の高い情報開示の向上につなげていきます。

※1ノーリツグループ環境負荷物質管理指針：2005年2月に制定。

※2有害物質対応商品＝GP対応商品：RoHS指令※4対象6物質に当社独自の13物質を加えた19物質を基準濃度以下にした商品。温水機器、厨房機器、ソーラー機器、暖房機器、コージェネレーション機器が対象。

※3REACH規則：EU圏内で化学物質を製造・輸入する場合に、登録、評価を義務付け、高懸念物質は許可、禁止。

※4RoHS 指令：電気・電子機器に含まれる特定の化学物質の使用を禁止するEU（欧州連合）の指令。2006年7月施行。対象物質は、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、特定臭素系難燃剤2種。温水機器、厨房機器は当社グループにおける自主的な取り組み。



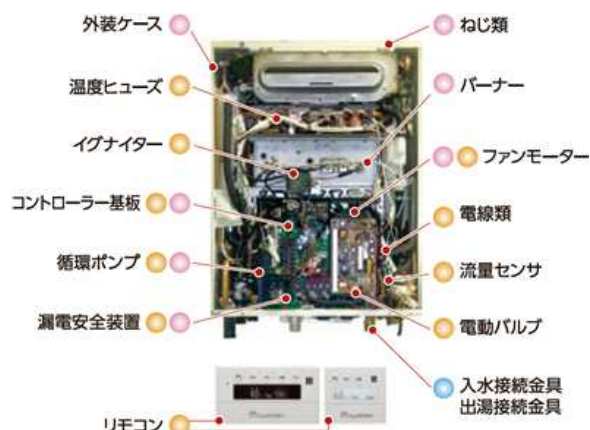
禁止物質の不使用を保証する仕組み

禁止物質の不使用を保証する仕組みとして、取引先における仕組み構築を中心とし、受け入れ段階で以下の①から⑤の管理を行っています。それにより「継続的な有害物質不使用保証」を行っています。

- ①取引基本契約の締結
- ②取引先での体制・手順の明文化
- ③GPネットによる物質管理
- ④化学物質監査の実施
- ⑤有害物質の分析（データの信頼性確認）

■ 有害物質低減の具体例

物質の低減箇所（ガスふろ給湯暖房機の例）



物質名および低減方法

鉛

鉛フリーはんだ、鉛フリー電線、鉛フリーの材料等を採用することで低減しています。

カドミウム

黄銅材料は低カドミウム材に変更しています。

六価クロム化合物

メッキ銅板やねじのメッキは、三価クロム系へのメッキ液の置き換えを主体に、六価クロムフリーメッキに置き換えています。

2013年度 GP対応商品一例



ガスファンヒーター
GFH-5801S



S-Blink10 周年記念モデル
「レボア」N3WM3・4シリーズ

[ページのTOPへ](#)

海外での省エネルギー機器

省エネ意識が高まっている米国・カナダ市場では、従来の貯湯タンク式から、湯切れの心配がなく熱効率の高いタンクレス(瞬間式)給湯器の需要が拡大しています。

省資源でエネルギー効率の高いタンクレス給湯器に切り替えることにより、CO₂の削減と光熱費の節約につながることをお客さまに的確にお伝えし、国内で培った技術力を強みに展開しています。

ロサンゼルス
アトランタ
カナダ

● 事務所・拠点
● 販売ネットワーク/OEM先

販売エリア：北米

高効率と超低NO_xを実現した環境共生の次世代給湯器

[個人情報保護方針](#)

[サイトのご利用について](#)

[ページのTOPへ](#)

企業情報

- ▶ トップメッセージ
- ▶ 企業理念・ビジョン
- ▶ 企業データ
- ▶ 沿革
- ▶ 企業姿勢・規範
- ▶ ノーリツグループ行動基準
- ▶ コーポレートガバナンス
- ▶ 調達活動
- ▶ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- ▶ IRニュース
- ▶ トップメッセージ
- ▶ 個人投資家、株主の皆様へ
- ▶ 経営方針
- ▶ 業績・財務データ
- ▶ IRライブラリー
- ▶ 株主情報
- ▶ IRイベント
- ▶ 電子公告
- ▶ よくあるご質問
- ▶ 免責事項

CSRの取り組み

- ▶ トップメッセージ
- ▶ ノーリツグループのCSR
- ▶ 国連グローバルコンパクト
- ▶ エコ・ファーストの約束
- ▶ 3つの笑顔プロジェクト
- ▶ CSRTピックス
- ▶ ガバナンス
- ▶ 品質
- ▶ 環境
- ▶ 社会
- ▶ 第三者意見
- ▶ 国際的イニシアティブとの整合
- ▶ 報告書一覧
- ▶ 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ▶ 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- ▶ 長期使用製品安全点検制度について
- ▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- ▶ その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み
トップメッセージ
ノーリツグループのCSR
国連グローバル・コンパクト
エコ・ファーストの約束
3つの笑顔プロジェクト
CSRTピックス
ガバナンス
品質
環境
環境経営
製品を通じた環境負荷低減
事業活動を通じた環境負荷低減
生物多様性保全
環境保全活動データ
環境コミュニケーション
SDS(安全データシート)
家電リサイクルの実績
家庭でのCO2が分かります(環境家計簿)
社会
第三者意見
国際的イニシアティブとの整合
報告書一覧
編集方針

事業活動を通じた環境負荷低減

環境に配慮した生産活動	省エネルギー(地球温暖化の防止)
太陽光発電システム設置	物流分野でのCO2削減の取り組み
資源の有効活用	

環境に配慮した生産活動

ノーリツグループは国内生産事業所を中心に、地球温暖化の原因となるCO2の排出量削減、省エネルギー活動や廃棄物の削減と資源循環の推進、環境汚染の予防・防止に、継続的に取り組んでいます。

また流通においても輸送の効率化を図り、CO2排出量の削減に取り組んでいます。

2013年度エネルギー使用量と環境負荷



ページのTOPへ

省エネルギー(地球温暖化の防止)

ノーリツグループでは、CO2排出量削減・省エネルギーを推進するために、グループ会社、関係部門で構成する「環境会議」を年に4回開催し、環境活動計画を策定して、具体的な活動を展開しています。



環境会議

ページのTOPへ

太陽光発電システム設置

PV設置状況一覧

太陽光発電システム設置場所



	所在地	会社	事業所	用途分類	定格(kW)	設置年	備考
1	兵庫県明石市	ノーリツ	NAM事業所 生産技術開発センター	自家消費	100	2005年	自家消費のため、事業活動における電力消費量の削減＝CO ₂ 削減に寄与する。
2	兵庫県明石市	ノーリツ	NAM事業所 環境機器開発センター	自家消費	64	2011年	
3	兵庫県明石市	ノーリツ	NAM事業所 新エネルギー商品研修センター	自家消費	17	2012年	
4	兵庫県明石市	ノーリツ	西新町事業所	自家消費	17	2013年	
5	兵庫県加古川市	ノーリツ	加古川事業所	自家消費	100	2012年	
6	兵庫県明石市	大成工業	本社工場	自家消費	100	2011年	
7	兵庫県加古郡	大成工業	播磨第三工場	自家消費	100	2011年	
8	兵庫県朝来市	多田スミス		自家消費	100	2012年	
9	茨城県土浦市	アールビー	つくば事業所	自家消費	200	2011年	
10	群馬県前橋市	関東産業		自家消費	50	2011年	
11	愛知県名古屋	ノーリツ	中部支社 東海支店	自家消費	24	2011年	
12	長崎県長崎市	ノーリツ	九州支店 長崎営業所	自家消費	5	2013年	
13	東京都八王子市	ノーリツ	八王子研修センター	自家消費	10	2012年	
14	福岡県福岡市	ノーリツ	九州支店	自家消費	5	2012年	
合計 14ヶ所							

ページのTOPへ

物流分野でのCO₂削減の取り組み

貨物輸送によって排出されるCO₂の削減も重要な取り組み課題です。当社は、省エネ法の「特定荷主」(貨物輸送量3,000万トンキロ以上／年)に該当し、省エネ法対応に加えて、輸送でのエネルギー削減・CO₂排出量削減に、委託貨物運送業者と協力して取り組んでいます。

2013年度のCO₂排出量は、2012年度とほぼ横ばいで推移しました。更なる輸送の合理化・効率化を進めるため、以下3点の取り組みを継続して進めていきます。

■ エネルギー削減・CO₂排出量削減の対策

- (1) トラックの大型化: 商品納入時のロットを大きくするため、10ton車から15tonトレーラ車に置き換えることにより、積載量当たりの使用燃料の削減を図っています。2007年以降、順次変更を進めており、現在は8台のトレーラ車を運行しています。
- (2) 貸切便の積載効率向上: 幹線の輸送には貸切便を使用しており、積載効率を向上する改善をおこない、輸送の効率化を図っています。
- (3) モーダルシフト: 2009年からは、九州や北海道などへの長距離輸送の貨物便について、JR貨物、フェリーを活用するモーダルシフトを一部実施しており、効果を上げています。

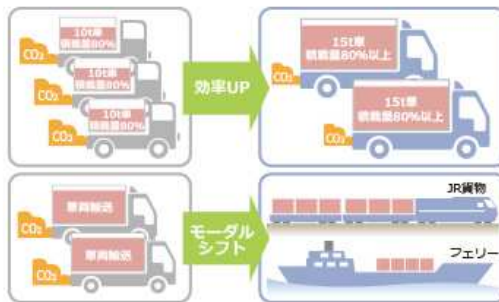
♪ 企業姿勢・規範
 ♪ ノーリツグループ行動基準
 ♪ コーポレートガバナンス
 ♪ 調達活動
 ♪ 企業スポーツ活動

♪ 業績・財務データ
 ♪ IRライブラリー
 ♪ 株主情報
 ♪ IRイベント
 ♪ 電子公告
 ♪ よくあるご質問

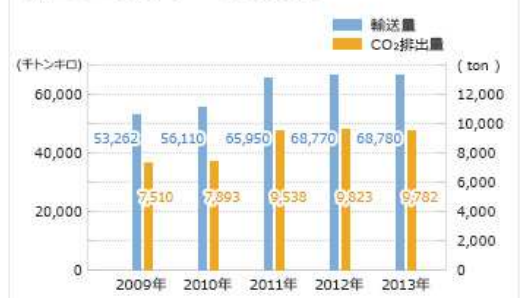
♪ 3つの笑顔プロジェクト
 ♪ CSRトピックス
 ♪ ガバナンス
 ♪ 品質
 ♪ 環境
 ♪ 社会

♪ について
 ♪ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
 ♪ その他、製品に関するご連絡、ご注意

物流によるCO₂削減の対策



輸送量・エネルギー・CO₂排出量



ページのTOPへ ↑

資源の有効活用

■ 廃給湯器のリサイクルへの取り組み

ノーリツグループでは、地球資源を利用して金属機械を生産する給湯器製造メーカーとして、廃給湯器を直接回収し、単一金属素材等に分解し資源循環につなげるリサイクルへの取り組みを推進しています。

この取り組みはグループ会社である株式会社エスコアハーツがおこなっており、2013年に回収した廃給湯器は、約30,000台、重量換算で約800tonとなりました。これらを、鉄および銅・アルミ・ステンレスなどの非鉄金属素材等に分解し、再資源化に努めています。

なお、これらの給湯器リサイクルは、給湯器の販売・取替をおこなう販売店さまや社会福祉事業所さまと協力しておこなっており、社会的な課題である障がい者の就労機会創出にも繋がっています。販売店さまには取替後に不要となった給湯器を古物として提供いただき、社会福祉事業所さまには廃給湯器の分解・分別を委託し、エスコアハーツは収集運搬や素材売却をおこなう三位一体の取り組みです。

2013年12月に株式会社リハーツ(エスコアハーツ100%出資会社)を設立し、廃給湯器および分解素材の収集運搬や金属素材等の売却の機能を移管し、2014年4月から事業運営を開始しました。

・ [特例子会社エスコアハーツによる障がい者雇用の取り組みはこちら](#)

■ ゼロエミッション

ノーリツグループでは、国内生産事業所および海外生産事業所にて、リサイクル率99%以上を目標とするゼロエミッションを2013年以降も継続しています。新しくグループ会社になった櫻花衛厨(中国)股份有限公司については、今後調査を進めていきます。

ノーリツグループ・ゼロエミッション定義: 廃棄物の全発生量(全重量)のリサイクル率が99%以上となった月を3か月以上継続し、今後も継続可能と判断した状態をゼロエミッションの達成とします。

ノーリツチャンネル

・ 免責事項

- ・ 第三者意見
- ・ 国際的イニシアティブとの整合
- ・ 報告書一覧
- ・ 編集方針

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

» 環境経営

» 製品を通じた環境負荷低減

» 事業活動を通じた環境負荷低減

» 生物多様性保全

» 環境保全活動データ

» 環境コミュニケーション

» SDS(安全データシート)

» 家電リサイクルの実績

» 家庭でのCO2が分かります(環境家計簿)

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

生物多様性保全

製品・事業活動と生物多様性の関連

■ 生物多様性保全の考え方

私たちの生活は、地球から、生態系サービスと言われる多くの恵みを受けて成り立っています。その生態系サービスの土台となるのが生物多様性です。この土台を守り、将来にわたって生態系サービスを享受していくためには、社会を構成する私たちが、連携して生物多様性を守っていく必要があります。事業者も市民も社会の一員として、この役割を担っていくことが重要と考え、ノーリツグループ全体で継続してこの取り組みを推進し、持続社会の構築に貢献していきます。



■ 生物多様性保全への取り組み

当社グループは、生物多様性保全の観点から、地球環境に与える負荷を可能な限り低減できるように、4つの取り組みと生物多様性保全教育を実施しています。



企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRトピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

» 環境経営

» 製品を通じた環境負荷低減

» 事業活動を通じた環境負荷低減

» 生物多様性保全

» 環境保全活動データ

» 環境コミュニケーション

» SDS(安全データシート)

» 家電リサイクルの実績

» 家庭でのCO₂が分かれます(環境家計簿)

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

環境保全活動データ

CO₂排出量とエネルギー

化学物質管理

CO₂排出量とエネルギー

省エネルギー活動(地球温暖化の防止)

ノーリツグループの国内生産事業所における、エネルギー別の使用量およびCO₂排出量は以下の通りです。

都市ガス使用量とCO₂排出量(連結)LPG使用量とCO₂排出量(連結)灯油使用量とCO₂排出量(連結)水使用量とCO₂排出量(連結)

	単位	排出係数
電気	kWh	0.382
都市ガス	m ³	2.244
LPG	kg	3.000
灯油	リットル	2.490
水道	m ³	0.650

化学物質管理

PRTR対象物質

鉛	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年

取扱量(ton)	0.9	1.1	0.5	0.3	0.1	0.2
排出量(ton)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(大気)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(水域)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(土壌)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
移動量(ton)	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0

スチレン	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
取扱量(ton)	2.3	1.5	0.2	無し	無し	無し
排出量(ton)	0.0	0.0	0.0			
(大気)	0.0	0.0	0.0			
(水域)	0.0	0.0	0.0			
(土壌)	0.0	0.0	0.0			
移動量(ton)	0.2	0.1	0.0			

トルエン	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
取扱量(ton)	6.3	6.2	6.0	7.3	7.6	8.7
排出量(ton)	5.0	6.2	4.8	7.0	7.3	8.3
(大気)	5.0	6.2	4.8	7.0	7.3	8.3
(水域)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(土壌)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
移動量(ton)	1.3	0.0	1.2	0.3	0.3	0.4

エチルベンゼン	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
取扱量(ton)	1.2	1.5	2.7	2.4	1.8	1.6
排出量(ton)	1.2	1.5	2.3	2.4	1.8	1.6
(大気)	1.2	1.5	2.3	2.4	1.8	1.6
(水域)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(土壌)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
移動量(ton)	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0

キシレン	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
取扱量(ton)	5.1	5.7	6.2	5.0	4.7	4.4
排出量(ton)	2.0	2.6	2.5	1.8	1.4	1.2
(大気)	2.0	2.6	2.5	1.8	1.4	1.2
(水域)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(土壌)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
移動量(ton)	0.3	0.0	0.6	0.7	0.6	0.7

メタクリル酸メチル	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
取扱量(ton)	215.1	167.8	159.5	120.5	111.0	116.8
排出量(ton)	0.0	0.0	1.2	0.1	0.1	0.1
(大気)	0.0	0.0	1.2	0.1	0.1	0.1
(水域)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(土壌)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
移動量(ton)	15.8	9.2	8.3	8.0	7.0	7.9

ジクロロメタン	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
取扱量(ton)	1.4	0.0	無し	無し	無し	無し
排出量(ton)	0.6	0.0				
(大気)	0.6	0.0				
(水域)	0.0	0.0				
(土壌)	0.0	0.0				
移動量(ton)	0.8	0.4				

1-ブロモプロパン	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
取扱量(ton)	無し	無し	4.75	11.3	12.4	12.4
排出量(ton)			4.75	11.2	12.3	12.3
(大気)			4.75	11.2	12.3	12.3
(水域)			0.0	0.0	0.0	0.0
(土壌)			0.0	0.0	0.0	0.0
移動量(ton)			0.0	0.1	0.1	0.1

(参考:2010年4月より法改正により、第1種指定物質となったため)

ニッケル	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
取扱量(ton)	3.0	2.1	1.8	2.6	1.9	1.0
排出量(ton)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(大気)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(水域)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(土壌)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
移動量(ton)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(参考:2007年4月より使用開始)

クロム	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
取扱量(ton)	0.9	0.7	0.6	0.8	0.6	0.3
排出量(ton)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(大気)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(水域)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(土壌)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
移動量(ton)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(参考:2007年4月より使用開始)

PRTR法対象物質を0.1ton以上取り扱っている連結対象会社

・ノーリツ(明石本社工場・明石工場)・(株)アールビー・関東産業(株)・(株)ハーマンプロ
・(株)多田スミス・大成工業(株)・信和工業(株)

■ 大気汚染(NOx、SOx)

ノーリツグループでは、エネルギー使用量を低減することにより、NOx・SOxを削減し大気汚染防止に取り組んで

います。

ノーリツグループ生産事業所におけるNOx・SOx排出量

[連結]

	NO2排排出量 (kg-NOx)								
	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	対前年比
合計排出量	8,578	8,270	8,025	7,243	7,576	6,987	7,626	8,028	105%
	SO2排排出量 (kg-SOx)								
	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	対前年比
合計排出量	445	444	445	409	434	420	415	418	101%

■ 水質汚濁(BOD、再利用水使用量)

ノーリツグループでは、事業所の生産活動において排水する下水道の水質調査(年1回以上)を継続して実施し、成分分析をおこなっています。調査対象の全事業所で、基準値を下回っています。

ノーリツグループ生産事業所におけるBOD発生量

ノーリツ生産事業所	BOD	2013年
	基準値mg/l	測定値mg/l
NAM事業所	300	91.0
土山工場	300	54.0
明石工場	600	120.0
加古川事業所	100	6.3

グループ会社生産事業所	BOD	2013年
	基準値mg/l	測定値mg/l
アールビー神立工場	20	14.0
アールビーつくば事業所	300	130.0
(株)多田スミス	100	64.0
大成工業(株)名古屋工場	25	3.2
関東産業(株)	600	2.0
大成工業(株)第一工場	300	19.0
大成工業(株)稲美工場	600	7.0

BOD排出量(kg)

	08年	09年	10年	11年	12年	13年
連結	47,037	17,908	29,946	26,879	18,523	27,474

BODとは

Biochemical Oxygen Demandの略称で生物化学的酸素要求量のこと。

排水処理の性能を評価したり、河川の水質を評価する時に使用され、有機物による水の汚れを示す代表的な指標です。水の中の有機物(汚れの原因)を微生物が分解するのに使われた酸素の量で、数値が高いほど水質汚濁がすすんでいることになります。BOD指数が高いと水中に溶けている酸素が少なくなり、BODが10mg/L以上になると悪臭の発生などが起こりやすくなります。

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRトピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み
▶ トップメッセージ
▶ ノーリツグループのCSR
▶ 国連グローバル・コンパクト
▶ エコ・ファーストの約束
▶ 3つの笑顔プロジェクト
▶ CSRTピックス
▶ ガバナンス
▶ 品質
▶ 環境
▶ 環境経営
▶ 製品を通じた環境負荷低減
▶ 事業活動を通じた環境負荷低減
▶ 生物多様性保全
▶ 環境保全活動データ
▶ 環境コミュニケーション
▶ SDS(安全データシート)
▶ 家電リサイクルの実績
▶ 家庭でのCO2が分かかります(環境家計簿)
▶ 社会
▶ 第三者意見
▶ 国際的イニシアティブとの整合
▶ 報告書一覧
▶ 編集方針

環境コミュニケーション

- 環境コミュニケーション(社内)
- 環境コミュニケーション(社外)

環境コミュニケーション(社内)

環境ワークショップ

ノーリツグループは、環境活動の一環として、社内外でさまざまな環境コミュニケーションをおこなっています。

2013年の社内コミュニケーションは、生産系グループ会社の環境責任者と当社のサイト環境責任者などを対象に開催、環境会議メンバー約30名が参加しました(2013年3月15日)。

この会議は、社外から立山環境経営オフィス代表の立山裕二氏を招き、「地球環境問題の概論・根本原因」のセミナーを受講。講演に続いて、“今まで食べていた食べ物も、残した瞬間、食べ物が生ゴミに変わる。いつ、ゴミに変わるのだろうか”というテーマでワークショップを実施しました。いったん思い込みを捨て、新しい視点で“脳コリ”をほぐすことによって、新たな発想が生まれる可能性があると感じたワークショップになりました。

今後、さまざまな現場で環境負荷を低減する対策について新たな発想に結びつくことを期待しています。

廃棄物研修

ノーリツグループでは、西新町事業所および、グループ会社の株式会社エスコアハーツ、株式会社アールピーにおいて2013年は合計4回、46名を対象に、廃棄物研修をおこないました。研修では、廃棄物を取り巻く世間の状況から、不法投棄や処理違反の事例の説明、廃棄物処理の契約やフローに関する知識習得をおこないました。今後も当研修を継続するとともに、2014年はグループ会社を含む生産事業所に対して実施する予定です。

eco検定推進

eco検定推進(社内)

ノーリツグループの環境経営は、製品と事業活動両面で取り組んでいます。

課題は、温暖化防止から、有害物質削減、資源有効利用、生物多様性保全など多岐にわたっています。それらの課題に対応するには、環境全般にわたる幅広い知識が必要です。当社グループがeco検定を推進している理由は、これらの課題に体系的に対応しているためです。

現在、全社員の過半数にあたる1,560名がeco検定に合格し、その知識を活かした活動は、環境経営の土台となっています。

今後も検定合格者の増加に向けて継続的に取り組んでいく計画です。

※eco検定とは、東京商工会議所が実施している環境問題に取り組む人づくりと、“持続可能な社会づくり”を目的とした環境社会検定試験です。



eco検定推進(社外)

～人づくりから環境活動をはじめる～
eco 検定推進企業

社員の環境教育の一環としてeco検定を活用する企業が増えています。
 中でもeco検定を積極的に推進し、環境報告書やCSRレポート、
 ホームページにeco検定の合格者数等を記載している企業をご紹介します。

株式会社ノーリツ (兵庫県・神戸市) 住宅設備機器製造販売

「CSRレポート」(冊子形式)

「環境コミュニケーション」(ホームページ)

今の地球には、環境だけではなく貧困や紛争など数多くの問題が溢れています。国や自治体、そして企業も、NPOも、個人も、誰もが、それぞれの目の前にある課題に取り組み成果をあげています。しかし、今のグローバルで持続不可能な世界において、私たちが直面している問題を解決するためには、もっと横断的につながり、互いに協力し合うことが必要です。

ノーリツグループがeco検定推進企業に名乗りを上げた背景には、直面している困難な問題の解決に向けて、広く世界の人々と一緒に取り組んで行きたいという思いがあります。

この思いと取り組みを世界に広げるために、エコ・ファースト推進協議会および環境系シンポジウムにおいて事例発表をおこないました。

eco検定ホームページ「合格者の声」



株式会社ノーリツ
 兵庫支店 営業課
橋本 侑子さん

今や「エコ」という言葉は世間に浸透していて、何気なく皆が口にする言葉になっています。私も、仕事柄もありますが、毎日口にしてるように思います。

当社がエコ・ファースト企業となったことがきっかけでeco検定の存在を知りました。現在、全社的にeco検定の勉強に取り組んでおり、中でも営業部門では8割以上の社員がeco検定に合格しています。

私自身、eco検定について“環境にいい”、“節約”といった何か得する行動や製品・サービスについての検定なのかなと狭いイメージで捉えていましたが、勉強を始めてびっくり。過去の日本の環境問題や法律、各国の環境に関する取り組み、また初めて耳にする環境用語など、内容はとても幅広く、エコに関する新しい考え方など知らないことだらけでした。勉強というよりは、環境のために自らができること(方法や考え方)を学び知る良い機会になりました。今、なぜこまめに「エコ」が叫ばれているのかが、この検定の勉強を通じて納得できた(腹に落ち

た)ように思います。

当社では、環境配慮商品を数多く開発、製造、販売しています。環境について考える機会を得て、より一層誇りと自信をもってお客さまに製品をご提案できるようになりました。自分達の住む地球の環境を少しでも守っていけるよう、環境に配慮した製品を消費者の方々に知ってもらおうのが私たちの仕事だと再認識しています。

(2014.4)

[ページのTOPへ](#) ↑

環境コミュニケーション(社外)

■ エコ・ファースト推進協議会

エコ・ファースト企業※の認定を受けている40社が「エコ・ファーストの約束」の確実な実践と、連携して先進性・独自性に富む環境保全活動をおこなうことを目的に2010年に設立された協議会であり、ノーリツグループも参加しています。

※エコ・ファースト企業

業界トップランナー企業の環境保全をさらに促進していくため、環境大臣に対し自ら環境保全に関する取り組みを約束した企業。2008年4月創設。



・ [エコ・ファースト推進協議会](#)

エコ・ファースト推進協議会でノーリツグループの環境教育を発表

2014年3月、エコ・ファースト推進協議会は環境教育をテーマに情報交換会を開催し、参加40社のうち代表3社が事例発表をおこないました。

当社の発表では、複雑多様化する環境問題に取り組むには、従来の専門知識だけでなく、環境問題全般を幅広く体系的に習得し、行動に結び付けなくてはいけないという観点から、eco検定を環境教育のツールにしていること、そして環境教育が経営で最も重要な人づくりに大きく役立っていることを説明しました。

現在、当社では全社員の52.6%(1560名)がeco検定を取得し、低炭素社会実現のための事業活動において中心的な役割を果たしています。



エコ・ファースト推進協議会

クールビズ ファッションショー(環境省主催)

6月3日、大阪市の阪急うめだ本店で開催された「スーパークールビズ2013キックオフイベントin大阪」に参加し、スーパークールビズファッションの披露と、ノーリツグループの環境への取り組みを紹介しました。

環境省主催の同イベントは、地球温暖化防止と節電促進につながるスーパークールビズを推奨するもので、当社は「エコ・ファースト企業」として、率先してスーパ



ークールビズファッションを取り入れ、節電・省エネに役
立っています。

スーパークールビズファッションショーの様子
(向かって右2名が従業員)

エコ・ファーストin関西(※1)9社が、琵琶湖の外来魚駆除・釣りボランティアを実施



現在、琵琶湖にしか生息していないホンモロコやビワマスなどの固有種が絶滅の危機に瀕している背景には、ブルーギルやブラックバスなど外来魚の増加により生態系が乱れていることが原因と指摘されています。

関西に本社を置くエコ・ファースト企業(※1)9社は、9月7日に琵琶湖に集まり、滋賀銀行のお世話により「外来魚駆除！釣りボランティア」の活動を実施。9社の社員と家族の総勢約200名が参加し、581尾の外来魚を釣り上げました。

今後も継続して実施する予定です。

※1 エコ・ファーストin関西：9社

(株)クボタ、三洋商事(株)、(株)滋賀銀行、(株)スーパーホテル、住友ゴム工業(株)、積水ハウス(株)、ダイキン工業(株)、(株)ノーリツ、リマテック(株)

「エコとわざコンクール」

12月14日土曜日 東京ビックサイトで行われた「エコプロダクツ2013」で、「エコとわざコンクール」の表彰式が執り行われました。このコンクールは、「水と環境」、「水の恵み」、「水の大切さ」をテーマにエコ・ファースト推進協議会が全国の小・中学生に呼びかけて募集したものです。今年は約800通の応募の中から、環境大臣賞など各賞が贈られ、協賛各企業もそれぞれ企業賞を贈りました。ノーリツグループは、静岡県内の小学2年生 三橋一晴(ミツハシ カズナリ)くんの作品にノーリツ賞を贈呈しました。



受賞した三橋一晴くん(右)

☆一晴くんの作品

「かぞくみんなでおふろにはいる

なかよくなって 水も大切 かぞくも大切」

家族の温かい団らの光景が思い浮かぶような、ノーリツの創業の原点”おふろは人を幸せにする”にピッタリの作品でした。



三橋一晴くんとご家族(後列中央はノーリツ社員)



受賞者全員で記念写真

「Fun to Share」



ノーリツグループは環境省がおこなっているFun to Share※に「新しい幸せを、わかつこと。で、低炭素社会へ」を宣言しました。

Fun to shareとは最新の知恵をみんなで楽しくシェアしながら、低炭素社会をつかっていこうよ！という合言葉です。

ノーリツグループはFun to Share賛同企業として低炭素社会実現に向けた活動を推進します。

※Fun to Shareの取り組み
チャレンジ25など、これまでの数値を重視した取り組みからスローガンを通じて具体的な対策を誘導するアクション重視型の取り組みです。

■ 第2回里山体験を開催。

森とふれあい、森林の健全性や生物多様性を体感する。

生物多様性保全をおこなうために、社員教育として2012年度の間伐体験に続き、2013年度は、9月に六甲山の再度公園で里山体験学習を開催しました。従業員とその家族90名が参加し、「紙芝居」「森の観察会」「森のあそび」をおこないました。自然と触れ合いながらの体験学習を通じて、生物多様性保全の重要性を学びました。



森のあそび（里山体験学習）



間伐体験の様子

■ 地域社会との交流

ノーリツグループは社会貢献活動に継続して取り組んでおり、その理念は各事業所、支店・営業所等に根付いています。

このような背景の中で、神奈川支店の「太陽光を何に変えようプロジェクト」の活動や環境面に配慮した製品の普及などが評価され、2013年6月6日、横浜市より「第21回横浜環境活動賞」の表彰を受けました。同支店は鶴沼海岸～江ノ島海岸周辺の清掃活動をおこなうなど、日ごろから積極的に地域社会貢献をおこなっており、地域の信頼を集めています。



「太陽光を何に変えようプロジェクト」太陽光で機関車トーマスを動かしました。



横浜環境活動賞を受賞



清掃活動

■ TDYグリーンリモデルフェア 2013

東京、名古屋、大阪、福岡の4大都市で開催された「TDYグリーンリモデルフェア 2013※」にノーリツグループも協賛しました。当社グループのブースでは、「省エネ・創エネ・節電」をテーマに、環境性・経済性の高いエコジョーズやダブルソーラーを出展しました。数多くの来客の方が環境配慮商品に興味を示されました。

※グリーンリモデルとは
2008年から、TOTO(株)、大建工業株式会社、YKK AP株式会社が提唱している3社共同のコンセプトです。各社それぞれの技術を活かしコラボレーションすることで、「健康配慮」「長もち住宅」「CO2削減」の3つのテーマを実現する商品・空間づくりを提案しています。家族それぞれのライフスタイルや暮しの夢に応えながら、人にも地球にもやさしい住まいを実現する取り組みです。



■ ブルー&グリーンプロジェクト

「ブルー&グリーンプロジェクト」は、一般財団法人ベターリビング、ガス会社、ガス機器メーカーがともに推進する環境貢献活動です。ブルーはガスの炎、グリーンは樹木を表しています。当プロジェクトでは、2006年度から日本の家庭に省エネ型高効率ガス給湯・暖房器(エコジョーズ・エコウィル・エネファーム)の普及を図りながら、エコジョーズ販売1台につきベトナムに1本の木を植樹することで森を作ってきました。

2014年1月現在、対象機器の累計普及台数は約360万台に達し、ベトナムでの大きな環境保全効果を実現することができました。

その一方で2011年3月に発生した東日本大震災により、家庭における省エネルギーには、環境の負荷低減に加え、エネルギー制約の必要性から対象機器を含めた住宅設備に対して、一層の省エネルギー性能が求められるようになってきました。

そうした社会情勢の変化を踏まえること。加えて、さらなるお客さまエンドユーザーへのエコジョーズの知名度向上をめざして、2014年4月1日から、「ブルー&グリーンプロジェクト」で実施する植樹の活動地域をベトナムから

日本国内に変更しています。



ベトナムでの植樹の様子



植樹4年後の様子

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRトピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み
トップメッセージ
ノーリツグループのCSR
国連グローバル・コンパクト
エコ・ファーストの約束
3つの笑顔プロジェクト
CSRTピックス
ガバナンス
品質
環境
環境経営
製品を通じた環境負荷低減
事業活動を通じた環境負荷低減
生物多様性保全
環境保全活動データ
環境コミュニケーション
SDS(安全データシート)
家電リサイクルの実績
家庭でのCO2が分かかります(環境家計簿)
社会
第三者意見
国際的イニシアティブとの整合
報告書一覧
編集方針

SDS(安全データシート)

SDSとは“Safety Data Sheet”の頭文字を省略したもので、日本語では「安全データシート」と呼ばれています。

従来はMSDS(Material Safety Data Sheet)と呼ばれていましたが、GHS(Globally Harmonized System of Classification Labelling: 世界調和システム)に基づき変更されました。

化学製品の性質を正しく理解し、安全なお取り扱い方法や作業場に注意表示をしていただくために、化学製品に含まれる物質、人や環境へ与える影響、取り扱い上の注意などを記載した「化学製品の取扱説明書」のことで

す。

このページでは、ノーリツが取り扱っている、暖房用・太陽熱温水器用・他の不凍液のSDSをPDFファイルで掲載しています。これらの不凍液には、労働安全衛生法や化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)で指定された有害物質は含んでおりませんが、当社では施工やメンテナンスに携わる事業者の皆さまやお客さまに配慮し、自主的に公開しています。

安全データシート(SDS)

HGA不凍液10L(原液) <pdf 58kb>

HGA不凍液-25℃(10L、20L) <pdf 55kb>

LL不凍液-25℃(10L、20L) <pdf 55kb>

HGA不凍液(原液・2L) <pdf 58kb>

HGA不凍液-15℃(2L、10L、20L) <pdf 55kb>

LL不凍液-15℃(10L、20L) <pdf 55kb>

閲覧には、『Acrobat reader』が必要です。

▶コーポレートガバナンス

▶調達活動

▶企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

▶株主情報

▶IRイベント

▶電子公告

▶よくあるご質問

▶免責事項

▶ガバナンス

▶品質

▶環境

▶社会

▶第三者意見

▶国際的イニシアティブとの整合

▶報告書一覧

▶編集方針

▶ご連絡、ご注意

▶その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

 お問い合わせ窓口一覧はこちら

CSRの取り組み

CSRの取り組み
トップメッセージ
ノーリツグループのCSR
国連グローバル・コンパクト
エコ・ファーストの約束
3つの笑顔プロジェクト
CSRTピックス
ガバナンス
品質
環境
環境経営
製品を通じた環境負荷低減
事業活動を通じた環境負荷低減
生物多様性保全
環境保全活動データ
環境コミュニケーション
SDS(安全データシート)
家電リサイクルの実績
家庭でのCO2が分かります(環境家計簿)
社会
第三者意見
国際的イニシアティブとの整合
報告書一覧
編集方針

家電リサイクルの実績

平成25年度特定家庭用機器廃棄物の再商品化等実績報告

再商品化等を実施した状況を「特定家庭用機器再商品化法」(家電リサイクル法)に基づき報告いたします。

特定家庭用機器廃棄物の再商品化等委託台数

- 1) ユニット形エアコンディショナー
- (ウインド形エアコンディショナーまたは室内ユニットが壁掛け形もしくは床置き形であるセパレート形エアコンディショナーに限る。)(以下「エアコン」という。)

(1) 指定引取場所での引取台数(台)	8,844
(2) 処理プラントへの運搬台数(台)	8,798
(3) 再商品化等処理台数(台)	8,435
再商品化等処理重量(kg)	345,672
再商品化重量(kg)	327,755
再商品化率(%)	94

- 2) テレビジョン受信機
- (ブラウン管式のものに限る。)(以下「テレビ」という。)

(1) 指定引取場所での引取台数(台)	0
(2) 処理プラントへの運搬台数(台)	0
(3) 再商品化等処理台数(台)	0
再商品化等処理重量(kg)	0
再商品化重量(kg)	0
再商品化率(%)	-

再商品化実績(施行規則47条第1号に基づく報告)

- 1) エアコン

イ)再商品化等に必要な行為を開始した年月日および終了した年月日

開始した年月日	平成25年4月 1日
終了した年月日	平成26年3月31日

ロ)再商品化等に 必要な行為を実施した特定家庭用機器廃棄物の総重量

総重量(kg)	345,672
台 数(台)	8,435

ハ) 自ら製品の部品または原材料として利用した当該部品および材料の重量

部品および材料名	重量 (kg)
なし	

二) 製品の部品または材料として利用する者に有償または無償で譲渡し得る状態にした場合の当該部品および材料の総重量並びに譲渡した部品および材料の重量並びに譲渡した者の氏名または名称および住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

部品および材料名	回収物重量 (kg)	
	譲渡済み重量	譲渡済み重量を差し引いた重量
鉄	79,193	95
銅	21,635	185
アルミニウム	53,534	145
非鉄・鉄等混合物	109,659	496
その他有価物	62,424	389
総重量	326,445	1,310

ホ) 燃焼の用に供することができるものまたはその可能性のあるものを熱を得ることに自ら利用した場合の当該熱回収可能物の重量

部品および材料名	重量 (kg)
なし	

ヘ) 熱回収可能物を熱を得ることに利用する者に有償または無償で譲渡し得る状態にした場合の熱回収可能物の総重量並びに譲渡した熱回収可能物の重量並びに譲渡した者の氏名または名称および住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

部品および材料名	回収物重量 (kg)	
	譲渡済み重量	譲渡済み重量を差し引いた重量
プラスチック	140	0
冷凍機油	751	4
RDF	0	0
その他	0	0
総重量	891	4

ト) 冷媒として使用されていたものの、回収重量、出荷重量、破壊等重量

冷媒として使用されていたフロン	重量 (kg)		
	回収重量	破壊委託先等に出荷した重量	破壊等重量
HCFC-22	4,045	4,030	3,999
R-410A	0	0	0

R-407C	0	0	0
その他	0	0	0
総重量	4,045	4,030	3,999

2)ブラウン管テレビ

イ)再商品化等に必要な行為を開始した年月日および終了した年月日

開始した年月日	平成25年4月 1日
終了した年月日	平成26年3月31日

ロ)再商品化等に必要な行為を実施した特定家庭用機器廃棄物の総重量

総重量 (kg)	
台 数 (台)	

ハ)自ら製品の部品または原材料として利用した当該部品および材料の重量

部品および材料名	重 量 (kg)
なし	

ニ)製品の部品または材料として利用する者に有償または無償で譲渡し得る状態にした場合の当該部品および材料の総重量並びに譲渡した部品および材料の重量並びに譲渡した者の氏名または名称および住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

部品および材料名	回収物重量 (kg)	
	譲渡済み重量	譲渡済み重量を差し引いた重量
鉄		
銅		
アルミニウム		
非鉄・鉄等混合物		
ブラウン管ガラス		
その他有価物		
総重量		

ホ)燃焼の用に供することができるものまたはその可能性のあるものを熱を得ることに自ら利用した場合の当該熱回収可能物の重量

部品および材料名	重 量 (kg)
なし	

ヘ)熱回収可能物を熱を得ることに利用する者に有償または無償で譲渡し得る状態にした場合の熱回収可能物の総重量並びに譲渡した熱回収可能物の重量並びに譲渡した者の氏名または名称および住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

	回収物重量 (kg)
--	------------

部品および材料名	譲渡済み重量	譲渡済み重量を差し引いた重量
プラスチック		
RDF		
その他		
総重量		

■ 再商品化等実績(施行規則47条第2号に基づく報告)

イ) 契約により依頼された再商品化等に必要な行為

- 1) 指定引取場所での引取り等の運営管理
- 2) 指定引取場所から処理プラントまでの運搬
- 3) 処理プラントでの再商品化等実施の運営管理

ロ) 契約により依頼された再商品化等に必要な行為を実施した特定家庭用機器廃棄物の総重量または台数

(1) 指定引取場所での引取りをした 特定家庭用機器廃棄物の総重量および台数		
品名	総重量(kg)	台数(台)
エアコン	362,433	8,844
ブラウン管テレビ		
液晶・プラズマテレビ		
冷蔵庫・冷凍庫		
洗濯機・衣類乾燥機		
合計	362,433	8,844

(2) 指定引取場所から処理プラントまでの運搬を実施した 特定家庭用機器廃棄物の台数	
品名	台数(台)
エアコン	8,798
ブラウン管テレビ	
液晶・プラズマテレビ	
冷蔵庫・冷凍庫	
洗濯機・衣類乾燥機	
合計	8,798

(3) 処理プラントでの再商品化等に必要な行為を実施した 特定家庭用機器廃棄物の総重量および台数		
品名	総重量(kg)	台数(台)
エアコン	345,672	8,435
ブラウン管テレビ		
液晶・プラズマテレビ		
冷蔵庫・冷凍庫		
洗濯機・衣類乾燥機		
合計	345,672	8,435

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRトピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

新しい幸せを、わかすこと。



文字サイズ

小

中

大

サイト内検索

検索



よくあるご質問



お問い合わせ窓口一覧



サイトマップ

企業情報

株主・投資家向け情報

CSRの取り組み

採用情報

製品に関する大切なお知らせ

企業情報トップ ▶ CSRの取り組み ▶ 社会

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTビックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

» 従業員とともに

» お客さまとともに

» 取引先さまとともに

» 株主さまとともに

» 社会とともに

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

社会



1 従業員とともに

「新しい幸せをわかすこと」を目標に、人材育成から職場環境づくりまで総合的に取り組んでいます。

2 お客さまとともに

「本業を通じた暮らし向上」を基本に、次世代を見据え、社内外でさまざまな取り組みをおこなっています。

3 取引先さまとともに

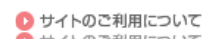
お客さまのご期待にタイムリーにお応えするために、無駄なく、短納期で製品をお届けしています。

4 株主さまとともに

当社の経営に対する考え方をご理解いただけるよう、株主さまとのコミュニケーションを大切にしています。

5 社会とともに

地域社会との共生を重視するとともに、復興支援やボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。



企業情報

* トップメッセージ

* 企業理念・ビジョン

* 企業データ

* 沿革

* 企業姿勢・規範

* ノーリツグループ行動基準

* コーポレートガバナンス

* 調達活動

* 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

* IRニュース

* トップメッセージ

* 個人投資家、株主の皆様へ

* 経営方針

* 業績・財務データ

* IRライブラリー

* 株主情報

* IRイベント

* 電子公告

* よくあるご質問

* 免責事項

CSRの取り組み

* トップメッセージ

* ノーリツグループのCSR

* 国連グローバルコンパクト

* エコ・ファーストの約束

* 3つの笑顔プロジェクト

* CSRTビックス

* ガバナンス

* 品質

* 環境

* 社会

* 第三者意見

* 国際的イニシアティブとの整合

* 報告書一覧

* 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

* 製品を安全に、正しくお使いいただくために

* 長期使用製品安全点検制度について

* グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意

* その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

 [お問い合わせ窓口一覧はこちら](#)

新しい幸せを、わかすこと。



文字サイズ 小 中 大

サイト内検索

検索

よくあるご質問 お問い合わせ窓口一覧 サイトマップ

企業情報 株主・投資家向け情報 CSRの取り組み 採用情報 製品に関する大切なお知らせ

企業情報トップ ▶ CSRの取り組み ▶ 社会 ▶ 従業員とともに

CSRの取り組み

CSRの取り組み

トップメッセージ

ノーリツグループのCSR

国連グローバル・コンパクト

エコ・ファーストの約束

3つの笑顔プロジェクト

CSRTビックス

ガバナンス

品質

環境

社会

従業員とともに

お客さまとともに

取引先さまとともに

株主さまとともに

社会とともに

第三者意見

国際的イニシアティブとの整合

報告書一覧

編集方針

従業員とともに

1 活力ある人材を育成する	2 多様性の尊重(ダイバーシティ)
3 人権	4 ワークライフバランスを支援する諸制度
5 雇用に関する基本方針	6 自主性を尊重し、キャリア開発や能力開発を支援する制度
7 労使の関係	

活力ある人材を育成する

ノーリツグループは、従業員「一人ひとりの情熱」を原動力として事業を展開してまいりました。「誇り」と「働きがい」をもった活力ある企業グループであり続けるためには、「仕事を通して自己実現できる人を育てる」「安全と健康に配慮された職場をつくる」「人権の尊重と多様性を醸成する」以上の3点が重要であると考えています。

毎年従業員意識調査(ES調査)を実施し、職場改善に継続的に取り組み、従業員のモチベーション向上にも努めています。



人材育成

「自立」した従業員はかけがえのない「人財」であり、それぞれが「相互支援」することによってさらに高め合い活躍できるようになります。ノーリツグループは、従業員一人ひとりの「自立」と「相互支援」を軸とした「3つのよい会社」を実現し、「ES(働きがい)」の向上をめざしていきます。

個人情報保護方針 サイトのご利用について ページのTOPへ

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRTビックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

「ES（働きがい）」の向上

実現

「3つのよい会社」

①「良い」会社

高い技術力・営業力・
サービス力を備え、
健全な成長を続ける会社

②「善い」会社

地球環境・社会に
貢献する会社

③「好い」会社

従業員が生き生きと働き、
一人ひとりが誇れる会社

実現

「現場力」の向上

①職場レベルの「現場力」

職場で助け合い、
問題を解決する力

②会社レベルの「現場力」

お客様の要望に
お答えする技術力、営業力

実現

「自立」と「相互支援」

①「自立」

目標に向かって
主体的に取り組むこと

②「相互支援」

協力し、刺激し合い、影響しあう
ことでお互いを高め合うこと

「従業員の意識」
の变革

「マネジメントの方法」
の变革

「職場の協力体制」
の变革

■ 安全で健康に配慮した職場をつくる

ノーリツは、「安全衛生管理規程」を定め、災害、事故および疾病を未然に防止し、従業員の安全および健康を維持増進することを目的に、次の3つの重点テーマに取り組んでいます。

事故や災害の状況や、未然防止、再発防止などについては『安全衛生報』を発信し、従業員の啓蒙に役立てています。また、新入社員には、新入社員研修で教育をおこなっています。



1. 安全衛生

ノーリツの各事業所では、労使で安全衛生委員会を組織し、労働災害の防止と快適な職場環境づくりを進めています。2013年に組織体制を再構築し、月例安全パトロールの点検結果や従業員からの意見への対応、さらには災害事例を自職場に置き換えて検証する等により安全管理の充実を図りつつ、衛生管理面においても、労働時間適正化や流行性疾患の予防などに努めています。

2. メンタルヘルス

従業員自身がストレスに気づき対処する「セルフケア」と、管理監督者が職場の状況を把握して改善する「ラインケア」の強化に取り組んでいます。

セルフケア推進の取り組みは、座学による研修および配属後の面談フォローによる気づきの促進（新入社員対象）に加え、長時間労働者（社内基準）や転勤者には、自身によるストレスチェックの実施を促すことにより、従業員自身の気づきによるメンタル不調の予防を推進しています。

ラインケア推進の取り組みは、管理職に対するメンタルヘルス教育を2005年より継続的に実施しています。現在では新任管理職への必須プログラムとして取り上げ、職場の状況把握や改善に役立てています。

この他、従業員を対象としたメンタルヘルス調査の実施や、産業保健スタッフによるケア、外部専門機関による相談サービスの導入（予定）等も組み合わせることによって、メンタルヘルスサポート体制の充実を図っています。

3. 過重労働の防止

長時間労働の是正と労働時間の適正化をテーマに、制度面の充実と改善活動に取り組んでいます。

残業80時間超の従業員に対しては、医師による面談受診を義務化するとともに、当該部門長に対しては組織活動の改善を促す取り組みをおこなっています。2013年度は0件でした。

また、労働時間の適正化に向けた全従業員の意識向上を図るため、毎週水曜日をノー残業日として、家族や会社の仲間との対話や、趣味・学習など仕事以外の生活を充実させることを目的に、「コミュニケーションDAY」を設けて労使共同で推進しています。

	2011年	2012年	2013年
休業災害（休業4日以上）	2件	3件	3件
有給休暇取得日数※	7.66日	8.10日	8.10日

※ 前年4/11～当年4/10の間の平均取得日数

■ キャリア形成支援

ノーリツグループでは、社員一人ひとりのキャリア形成支援が、働き甲斐を向上させ、グループビジョンの達成に向けた重要な活動と考え、2000年度から支援制度を設け、特にベテラン社員の活性化を図っています。2013年度はその強化を目標に、下記の3つの課題に取り組みました。

- (1)キャリア形成支援教育体系の確立
- (2)キャリア形成支援制度の改定
- (3)再雇用制度の改定と再雇用者の活躍推進

しかし2013年度の活動ではいずれも、それぞれの理由により十分な結果を得ることができませんでした。2014年度はこれらの課題解決に努め、実効性のあるキャリア形成支援体制の構築を図っていきます。

キャリア形成支援計画の課題と目標

	2013年度の課題	2014年度の目標
教育体系の確立	教育体系の見直し	体系の構築と運用開始
支援制度の改定	支援内容の見直し	制度の再設計と運用開始
再雇用者の活躍推進	再雇用制度の改定	再雇用者の職務開発

従業員の自主性を尊重し、キャリア開発や能力開発を支援する制度

- ・資格・技能検定の取得奨励制度
- ・社内公募制度
- ・グローバル人材登録制度
- ・自己申告制度
- ・海外短期研修制度
- ・特別な成果に対する表彰・報奨制度
- ・キャリアアップ支援制度
- ・再就職支援制度

■ 従業員意識調査(ES調査)

わくわく指数調査の実施

ノーリツグループでは、自立した従業員が刺激し合うことで、相乗効果を生み出す強いチームづくりに努めており、その進捗を測る指標として従業員意識調査＝『わくわく指数調査』を実施しています。これは2001年からおこなっていた「満足度調査」から一歩進めたもので、従業員の働くエンジンの状況を「仕事が面白い」「職場が楽しい」「会社が好き」の3つのテーマで調査し、その結果をチームで語り合うことで、互いに高め合っていくことをめざして2013年に変更したものです。

その結果は下表のように、いずれの項目も2012年度から向上が見られ、活動の効果が着実に現れていることが分かりました。しかし反面、部門間の垣根などの問題点も見えてきており、2014年度の課題となっています。2016年度には各項目70%をめざして活動しています。

わくわく指数調査結果

	2012年	2013年
仕事が面白い	40.7%	41.4%
職場が楽しい	31.2%	46.4%
会社が好き	49.0%	51.8%

[ページのTOPへ](#) ↑

多様性の尊重(ダイバーシティ)

■ 多様性の醸成について

ノーリツグループでは、「多様性の醸成」を目的として、すべての従業員が働きやすい職場であることをめざし、職場環境整備や支援する制度や活動をおこなっています。主に社内のイントラネットなどに掲載し、啓発をおこなっています。

例えば、障害を持つ従業員に対して、より働きやすい職場環境を実現するために、特例子会社エスコアハーツを設立したり、女性活躍推進として、「ビタミンWスクエア」という女性社員によるワーキング活動などをおこなっています。

今後も多様性の醸成への取り組みを継続しておこなっていきます。

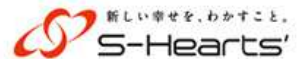
ノーリツは、従業員のワークライフ・バランスを重視し、多様な人材が柔軟な勤務形態や時間を取れるよう、下記の休暇や制度を導入しています。

- ・年次有給休暇制度
- ・フレックスタイム制度
- ・時短勤務制度
- ・産休・育休制度
- ・看護休暇制度
- ・裁判員制度に関する制度
- ・育児・介護支援
- ・メモリアル休暇
- ・登録リターン制度
- ・定年自己申告制度

■ 特例子会社エスコアハーツによる障がい者雇用の取り組み

ノーリツグループの特例子会社エスコアハーツは、ノーマライゼーション理念の実現に向けて、ダイバーシティを尊重し、障がい者が活き活きと働ける機会作りに取り組んでいます。

自立支援のポイント



<創業の原点>

障がい者の自立を
支援する会社でありたい。

<職場指導のポイント>

- 能力より経験
- できる方法を考える
- できる事からはじめる
- OJTでの熟練化

一番重要なのは「雇用定着」



- **中高齢者とのコラボレーション**
中高齢者が現場責任者としてフォロー

- **～だからをなくす。**

障がい者だから仕方がない。障がい者だからできない。など



- **障がいを「個性」と見る。**

ちょっと表現ができない。少し理解がしにくい。など

キーワード

- 信じる
- 失敗させる
- 経験を積ませる
- 褒める
- 笑顔と会話

【取り組みの状況】

エスコアハーツの事業内容は、親会社ノーリツからの受託業務を主体とし、2013年11月1日現在で51名の障がい者が勤務しています。

事業内容

支援事業⇒給与厚生・庶務・経理・部品製造・WEB販売・その他事務業務

商業印刷・OA機器販売・損害保険代理店・キャリアブレーション

清掃・物流(カタログ発送・社内便発送)など

生産部

・生産チーム

高効率給湯器の主力部品である中和器を製造しています。生産活動にとって重要なQCDや5S・改善活動については、障がい者社員のリーダーやライン長を中心にメンバー全員で取り組んでいます。

・洗浄チーム

給湯器のリターナブル梱包材の洗浄をおこなっています。何度も繰り返して使用するため、しっかりとメンテナンスします。

ビジネスサービス部

・受注センター

名刺や封筒を始め、販促チラシなどの各種商業印刷を取り扱っています。多品種小ロットの注文に対応できる強みを活かし、兵庫県の物品関係入札業者として登録しています。

・配送センター

1日約1300梱包のカatalogを全国に発送しています。展示会時期の大量発送にも対応しています。

・業務センター

社内便やWEB販売している消耗部品の発送を手がけています。特別支援学校等の実習も受け入れており、2013年は計162名の実習生と一緒に働く喜びを分かち合いました。

リサイクルセンター

役目を終えた廃給湯器をより効率的に資源として再利用できるように、給湯器のリサイクルに取り組んでいます。単一金属素材に分解・分別し資源循環に寄与しています。[\(3つの笑顔プロジェクト、廃給湯器のリサイクルへの取り組みの項をご参照ください\)](#)

■ 障がい者雇用人数・雇用率

雇用促進の取り組み

ノーリツグループでは、グループ会社がそれぞれ障がい者の雇用を推進していますが、2006年に社内ベンチャー制度で特例子会社エスコアハーツを設立し、障がい者多数雇用事業所として、より高次の雇用に向けて取り組みを推進しています。

【2013年活動報告】

障がい者雇用状況については、グループ適用関連会社を1社追加して合計5社としました。障がい者を4名新規採用し、2013年末時点で合計112名の従業員が働いています。これにより障害者雇用率は2.96%となり、2.0%である法定雇用率を大きく上回りました。なお、特例子会社およびグループ適用全体での法定雇用人数および法定雇用率の推移は、以下の通りです。

なお、2013年度9月には、この活動が認められ兵庫県の企業として「障がい者雇用優良事業所兵庫県知事表彰」を(株)ノーリツが受賞しました。

雇用人数および雇用率の推移

		11年	12年	13年
雇用者数	エスコアハーツ	31名	46名	51名
	グループ適用全体	83名	102名	112名
雇用率	エスコアハーツ	101.20%	55.11%	63.92%
	グループ適用全体	2.39%	2.94%	2.96%

重度障害者は2倍・短時間勤務障害者は0.5倍の人数カウントをおこないます。

■ ビタミンWスクエア

女性が働きやすい職場づくり(ビタミンWスクエア)

ノーリツ(グループ)では2005年からさまざまな部門の女性従業員を募り、「女性が自分らしく活き活きと働ける会社＝みんなが自分らしく活き活きと働ける会社」という仮説をもとに、中長期目標(右下チャート図参照)に基づいた具体的な課題遂行に取り組む「ビタミンWスクエア」を展開しています。

8期となる2014年はキャリアイメージの構築、取り組み、実現につながる機会づくりとともに、ビタミンならではの

魅力的な情報・交流の機会づくり、「女性の特性」と「個人の特性」の違いを正しく理解するサポートをおこなうため、定期的に下記のような活動をおこなっています。



女性向けセミナーの開催

男性と比べ研修への参加率が低い全女性社員を対象に、自分を見つめ直すセミナーを東京、明石本社工場、福岡で開催し、また女性営業職を対象に、外部講師を招いてのキャリアを見つめ直す研修会を開催しました。



「仕事と育児の両立支援ガイド」の作成

妊娠・育児に関する制度の利用者とその周囲とのコミュニケーションをよくするためのツールとして「仕事と育児の両立支援ガイド」を作成。他社マニュアルも参考に、現場の実態に沿った内容になるよう心がけました。今後は、このツールを使った啓発活動もおこなう予定です。

「ビタミン通信」の発行

ビタミンWスクエアの活動をより理解してもらうため、活動の報告やさまざまな情報を掲載した社内報「ビタミン通信」を発行し、年に2～3回、全グループ社員に配付しています。



外部セミナーの紹介

社外の人々との交流を通じて刺激を受け、意欲を引き出し、気づきを与え合う機会として、外部セミナー「ウーマンズ・ネットワーキング・フォーラム」への参加者を社内公募。2013年は5名が受講しました。



女性幹部職登用実績

	2012年	2013年
女性幹部数	13人	13人

[ページのTOPへ](#) ↑

人権

■ 人権の尊重について

『私たちは、すべての事業活動の大前提として、社内外を問わず、あらゆる場面で人権を最大限尊重します。また、人種、国籍、性別など、いかなる理由による差別も人権侵害もおこないません。』

この一文を、『[ノーリツグループ行動基準](#)』に記載し、従業員に対する啓発をおこなうとともに、2014年度の新入社員研修から、基礎教育プログラムにも加えました。

行動基準では、各種法令を遵守することはもちろん、社会からの要請を意識してその期待に応えることを従業員に求めています。これに反する行為があった場合の通報手段の一つとして、『[ノーリツホットライン](#)』を設けています。

[ページのTOPへ](#) ↑

ワークライフバランスを支援する諸制度

■ リフレッシュ休暇

ライフサイクルの節目（勤続10年、20年、30年）で心身のリフレッシュを図るとともに、今後の人生や社会における新たな飛躍のための充電期間として活用してもらうことを目的としたリフレッシュ休暇制度を設けています。該当する従業員には特別休暇と一時金が支給されます。

■ フレックスタイム制度

業務がより円滑に効率良く遂行されることを前提に、従業員が自主的に始業時刻と終業時刻、および1日の就業時間を選択でき、一定の期間で時間を清算するフレックスタイム制度を設けています。研究開発職や本部スタッフ等、一部の部門に適用されています。

■ 裁判員制度に関する制度

裁判員として裁判に参加する場合に、必要な時間、日数について特別有給休暇が付与される制度を設け、従業員が裁判員に選ばれたとき、参加しやすい制度としています。

■ 育児・介護支援

産休・育休はもちろん、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する者が、子の看護を必要とするときに取得できる看護休職、要介護状態にある家族を介護する者が必要とするときに取得できる介護休職、育児や介護をする必要がある者が、1日の所定労働時間を短縮できる短時間勤務など従業員を支援する制度を設けています。

育児休職取得者数

2012年			2013年		
男	女	計	男	女	計
0人	27人	27人	2人	34人	36人

■ メモリアル休暇

有給休暇の取得促進のために、本人にまつわる記念日をあらかじめ登録し、計画的に休暇を取得するための制度を設けています。

■ 登録リターン制度

個人的な事情あるいは一時的な家庭の事情等により、ノーリツを退職した方にもう一度働いていただくための、登録制の再雇用制度を設けています。

■ 定年自己申告制度

ライフプランサポートの一環で、個人の第二の人生を支援するために、60歳到達までに、自分で定年時期を申告する制度(対象年齢等、条件有り)を設けています。

[ページのTOPへ](#)

雇用に関する基本方針

■ 採用・雇用について

ノーリツグループは、行動基準に示すとおり、「人権尊重」に留意し、公正な選考と、高齢者や障がい者など多様な人々の就労機会の提供に努めています。

正社員情報(※)	2012年			2013年		
	男	女	計	男	女	計
単体従業員数	2,178	696	2,874	2,175	716	2,891
単体平均年齢	43.1	36.2	41.4	42.6	35.7	40.9
単体平均勤続年数	18.9	12.5	17.4	19.2	12.8	17.6
連結従業員数			5,657			9,020

※単体従業員には、出向者を含み、出向受入、取締役を除く

正社員の離職状況(定年退職者は除く)

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度

	2012年	2013年
年末人数	2,874人	2,891人
離職者数	39人	36人
離職率	1.4%	1.2%

2013年度の世代別従業員

	男性	女性	合計
30歳未満	289人	186人	475人
30～39歳	490人	279人	769人
40～49歳	972人	277人	1,249人
50～59歳	643人	63人	706人
60歳以上	79人	23人	102人

正社員（60歳以上は再雇用者）

2011年4月1日入社者の定着状況

	2011年入社	離職者数	離職率
大卒（男）	28人	1人	3.6%
大卒（女）	6人	1人	16.7%
合計	34人	2人	5.9%

定年者再雇用実績

	2012年	2013年
再雇用者数	70人	89人

新卒入社状況

	2013年	2014年
大卒（男）	29人	32人
大卒（女）	9人	10人
その他（男）	15人	10人
その他（女）	17人	7人
合計	70人	59人

[ページのTOPへ](#)

自主性を尊重し、キャリア開発や能力開発を支援する制度

■ 資格・技能検定の取得奨励制度

従業員がスキルアップのために資格取得をめざし自己啓発に励むことを狙いとし、特定の資格・技能検定に対し、取得費用の補助や奨励金で支援する制度。

■ 社内公募制度

プロジェクトや新規部門、専門的な業務をおこなう部門などにおいて、志の高い人材を社内から広く募集する制度。

■ グローバル人材登録制度

社内公募の一つで、「グローバル化の加速」に向け、海外赴任候補および国内から現地法人や現地出張所をサポートできる人材を育成するための制度。

1年間の登録期間中に語学学習や外部講師による異文化理解セミナーの受講などを通じてグローバル人材の育成をめざす。

■ 自己申告制度

社員個人の将来への希望や日頃考えていること等を自己申告する制度。一人ひとりの力が十分発揮できるよう、上司・部門長・人事部が閲覧し、社員育成や適正な配置などの参考にする。

■ 資格・技能検定の取得奨励制度

従業員がスキルアップのために資格取得をめざし自己啓発に励むことを狙いとし、特定の資格・技能検定に対し、取得費用の補助や奨励金で支援する制度。

■ 海外短期研修制度

技術部門（開発設計、品質管理など）を中心に実際に海外で業務に携わるとともに現地で生活することでグローバル感覚を身に付けることをめざす制度。

■ 特別な成果に対する表彰・報奨制度

代表的な制度として、年末のグループ方針発表会での『社長賞』、『優秀発明提案表彰』、『永年勤続表彰』などがある。

■ キャリアアップ支援制度

従業員の成長段階、役職に応じた各種能力開発メニューを用意し、社内講師、社外講師によるセミナーを開催。特定のタイミングで面談をおこない、キャリア支援をおこなっている。また、将来の経営者をめざすコースとしてチャレンジコースを設け、多様な学習機会と、視野を広げる為の複数の職務経験が出来る機会を提供する制度。

■ 再就職支援制度

前向きなライフプランに基づく再就職の意思を持つ従業員の、「進路およびキャリア開発の具現化」を支援する制度。

[ページのTOPへ](#)

労使の関係

■ 労働組合の活動

ノーリツの労働組合は1973年11月に発足。世間同様、処遇や労働条件の改善を主な目的として活動をしてきましたが、第22期からはその時代に合った3年ごとの中期ビジョンを策定し、組合組織の活性化に重点を置いて活動をするスタイルへと変わっていきました。

第22～24期は「コミュニケーション＆サービス」、第25～27期は「人や声が集まる労働組合」、第28～30期は「自

信を確信に！～ユニオンネット(集まる)の構築から活用へ～」、第31～33期は「HAPPY～情報・知識の活用、そして創造・実現へ～」、第34期～36期は「力～共に考え共に成長する～」とそれぞれのビジョンを掲げて活動し、ノーリツ労働組合の基礎を積み上げてきました。

第37期からは過去の活動を原点に、『全従業員と共に豊かな暮らしを創造する』ことを組合のミッション・ビジョンとし、新たに「第一次中期活動計画」を打ち出してスタートしました。2014年度は第二次中期活動計画の最終年度となり、「働きがいの向上」「経済的安定」「自己の発見(自身のライフプランを考える)」を活動の3本柱として活動をしています。

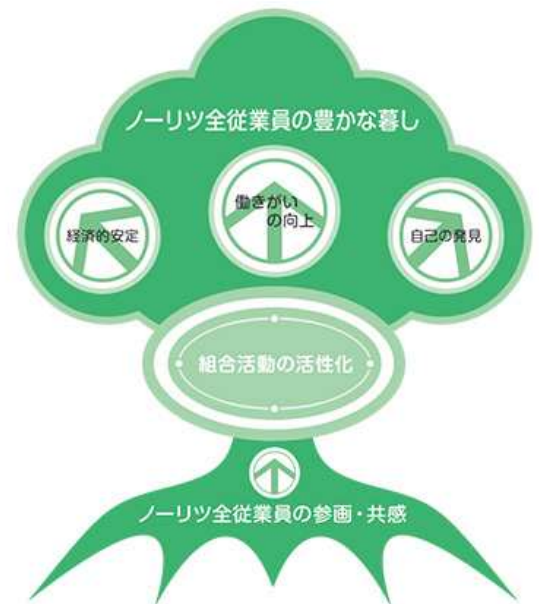
ここ数年、人事制度の正しい運用で働きがいを向上させる取り組みに重点を置いて活動していますが、並行して原点のイベント活動にも力を入れ、人と人との繋がりや職場の活性化に向けた活動を展開しています。

■ ノーリツ労働組合のミッション・ビジョン

1. ノーリツ全従業員は、豊かな暮らしを創造していきます。
2. ノーリツ全従業員は、組合活動の活性化を通じて、経済的安定・働きがいの向上を図るとともに、自己の発見をしていきます。
3. ノーリツ全従業員は、ユニオンネットを活用し、組合活動に参画・共感していきます。

活動の3本柱

- 1 働きがいの向上
- 2 経済的安定
- 3 自己の発見



■ 労働組合の広報

組合発足前の1969年より若手従業員が中心となって発行していた「青炎」が題号を変え、現在は組合機関紙「SAY炎」(月刊)として継承。近年は活動に沿ってイベント写真の多用を意識しながら、組合活動の報告や会社の状況報告を掲載しています。

また、組合の活動報告はイントラネットでも「ユニねっと」として定期的におこなっています。

企業情報

- ✎ トップメッセージ
- ✎ 企業理念・ビジョン
- ✎ 企業データ
- ✎ 沿革
- ✎ 企業姿勢・規範
- ✎ ノーリツグループ行動基準
- ✎ コーポレートガバナンス

株主・投資家向け情報

- ✎ IRニュース
- ✎ トップメッセージ
- ✎ 個人投資家、株主の皆様へ
- ✎ 経営方針
- ✎ 業績・財務データ
- ✎ IRライブラリー
- ✎ 株主情報

CSRの取り組み

- ✎ トップメッセージ
- ✎ ノーリツグループのCSR
- ✎ 国連グローバルコンパクト
- ✎ エコ・ファーストの約束
- ✎ 3つの笑顔プロジェクト
- ✎ CSRトピックス
- ✎ ガバナンス

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ✎ 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- ✎ 長期使用製品安全点検制度について
- ✎ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意



■ 労使関係

当組合は、1992年にユニオンショップ協定を会社と締結し、国内の全正社員数の75%に当たる2411名が組合員となっています。

労使のめざす方向性は、会社の中期経営計画Vプラン16で掲げる「会社の持続的発展」「自信と誇りを持てる会社」に共通しており、労働条件や労働環境の改善の他、「人」に焦点を置いた活動に労使一体で取り組んでいます。

毎年労使共同で「従業員意識調査(ES調査)」を実施しており、結果を基に課題共有もおこないながら、会社全体の課題については「中央労使協議会」で情報共有と課題設定をし、各部門特有の問題や課題については「営業労使協議会」「研究開発労使協議会」「生産労使協議会」といった部門別の労使協議会を開催し、労使の話し合いをおこなっています。

また、「自立と相互支援」をめざす現在の人事制度の設計についても、労働組合の代表者がメンバーとして参画し、その浸透活動に対しても強い思いを持ち「人づくり」にかかわる各種取り組みを労使が一体となって展開しています。

基本は労使協調路線ながら、将来視点で経営戦略を確認し、意見すべきことや現場の実態については、経営労使協議会および中央労使協議会でしっかりと議論するスタンスで活動しています。年に数回実施する組合員アンケートも活用しながら経営に現場の実態を伝え、経営課題としての取り組みを求めています。労使共同の取り組みについても、実行方法をめぐって白熱した議論を交わすときも対等かつ本音で議論ができる関係であると認識しています。

創業者である太田名誉会長が、「組合と切磋琢磨して発展した会社」と過去を振り返るように、過去からの健全な労使関係を継承しながら、Vプラン16以降も発展し続ける会社をめざし、より一層強い労使関係を築いて参ります。

■ 主な労使協議会と労働組合会議体

・春の協議会(春闘交渉):年1回

議題は「賃金」「一時金」「重点的な課題改善要望」全4回

・中央労使協議会:年9回

各種課題の情報共有と進捗確認、労使課題の設定、制度改定など

・中央執行委員会:年6回

重点活動の進捗確認、議案事項の審議、方策検討、情報共有など

・中央委員会:年4回

組合活動の進捗報告、議案事項の承認、情報交換など

・営業労使協議会:年4回

改善課題の進捗確認、情報交換など

■ 主な労使協議会と労働組合会議体

・ノーリツグループ労働組合連合会（略称：ノーリツユニティ）

ハーマン・多田スミス・アールビー・ノーリツ

・住宅関連産業労働組合連絡会（略称：住産連）

クリナップ、タカラスタダード、TOTO、LIXILなど

・全国ガス器機労働組合協議会（略称：ガス協）

愛知時計電機、ガスター、関西ガスメーターなど

・ガス関連産業労働組合連絡会（略称：ガスネット）

東京ガス、大阪ガス、他ガス事業者および上記のガス協など

・未来フォーラム

資生堂、セイコーエプソン、富士ゼロックス、マルイ、ツムラ、ライオンなど

※敬称略、順不同

個人情報保護方針

サイトのご利用について

ページのTOPへ

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRTビックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

» 従業員とともに

» お客さまとともに

» 取引先さまとともに

» 株主さまとともに

» 社会とともに

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

お客さまとともに

① 本業を通じた暮らし向上への取り組み

② コンタクトセンター

③ 製品情報の開示

④ CS活動

本業を通じた暮らし向上への取り組み

■ 太陽まるごとエコ提案会

ひょうご環境創造協会とタイアップし、「うちエコ診断」を実施

ショールームのイベントで、お客さま向け「うちエコ診断」を実施し、環境配慮商品の拡販につなげています。お客さまからは、「あらためてコスト削減できることを知るきっかけとなった。」と高評価を得ており、その場での商談から大型リフォームへとつながっています。

ひょうご環境創造協会

▶ <http://www.eco-hyogo.jp/global-warming/center/uchieco/>

■ 太陽エネルギーを子どもたちと考える取り組み

ノーリツでは2011年から太陽光発電システムの製造販売を始めました。しかしそれ以前(1980年／32年前)から太陽熱を利用したシステム(給湯や暖房)を製造販売してきました。

太陽光と言えば、発電に目が行きがちですが、私たちは「ほかにももっと可能性がある」と信じてそこにアイデアを注いでいます。

ノーリツは技術にアイデアをプラスして、発電はもちろん、太陽エネルギーの可能性をもっともっと広げていきます。

ノーリツグループでは、小中学校への出張授業やイベントへの参加など、多彩な社外活動をおこなっています。

2013年9月12日(木) 東京杉並区の中学校に出張授業。太陽エネルギーで足湯ができるのか！！

ノーリツ関東支社東京支店は、東京都杉並区の西宮中学校で「太陽エネルギーで足湯ができるのか」をテーマに出張授業をおこないました。同校では2012年12月に引き続き、2回目。昨年、紙の上、黒板だけでなく、実物を使った授業が生徒の印象に残って非常に良かったという評価をいただき、中学校からの続いての依頼により実施されたものです。

出張授業は同校2年生のエネルギー変換に関する技術の授業の一環として、合計3回約120名の生徒に、必要なエネルギーを生み出すために、太陽エネルギーがどこにどのように使われているのかを、座学とともに、実際に太陽光で発電した電気を使ったパン焼きや、太陽熱温水器で作ったお湯による足湯体験を通して楽しく理解を促し、最後に太陽エネルギーを、何に変えていくかを、生徒一人ひとりに考えてもらいました。「当たり前の日々をエコで笑顔あふれる暮らしに変える」「こころをあたためる」「より良い世界」などといった、次世代をより良くしたいという想いがこもった力強い言葉が数多く聞かれました。

2014年3月16日(日)「太陽光を何に変えようプロジェクト」を横浜・あーすぶらざで開催

ノーリツ神奈川支店は横浜市温暖化対策本部と協同で、「太陽光を何に変えようプロジェクト」を神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ)で実施しました。同イベントは、横浜市地球温暖化対策本部が中心となり、リレー講座形式で横浜市内の18区で実施しており、今回当社神奈川支店は栄区を担当しました。イベントには子ども32名、大人31名の合計63名が参加し、太陽エネルギーの大切さを学びながら発明品を考えるという内容。白衣を着たお子さまたちは、研究者になったような気持ちで、太陽光を何に変えるかを真剣に考え、個性あふれる発明品づくりに没頭していました。

当日の発明品は「あーすぶらざ 子ども向けワークショップギャラリー企画展 きて→みて→はっけん!! 子どもみらいアクション」に4月25日～5月6日まで掲示されました。

エコライフフェア

ノーリツグループでは「エコで快適な暮らし」をテーマに、2010年から春と秋に「くらし快適エコライフフェア」を開催しています。これまでも、ノーリツの商品のご案内を通じて、住まいや暮らしに役立つ情報を多くのお客さまに提案してきました。

2013年度(秋)は9月7日から、全国20か所のショールームで順次開催。「食」・「入浴」・「エコ」をテーマに、野菜ソムリエによる“ガスコンロを使った調理実演”や、入浴剤メーカー(株)バスクリンによる“理想の入浴法セミナー”などを催しました。

9月28日・29日の京都ショールームでは、2日目に野菜ソムリエの藤岡氏を講師に招きセミナーを実施。野菜の必要摂取量や旬野菜の良いところなどを紹介した後、調理実演をおこないガスコンロの便利機能などを紹介しました。



コンセントもないのに水が温まる。太陽熱温水器による水の温度上昇には生徒から驚きの声が。



実機パネルに照明を当てて発電し機関車トーマスを動かすところからスタート。



エコライフフェアのプレゼンテーション

2014年度(春)は4月19日～6月29日、全国19か所のショールームで開催。テーマは「炎」と「湯」とし、それぞれ「ガスだからできる! 豆腐マイスター講師に学ぶ健康お豆腐レシピ」、「ハンドメイドソープ ～お湯のある暮らしと手作り石鹸～」と題したセミナーを開催しました。

また各ショールームではエコ・クッキング提案を実施しています。自然の恵みへの感謝の気持ちとともに、環境のことを考えて買い物、料理、片づけをするエコなライフスタイルの実践をおすすめし、お客さまと一緒にガス、水、生ゴミの量が大幅に減らし、CO₂削減効果を高める取り組みをおこなっています。

エコ・クッキングについては下記ページをご覧ください。

・ [今日からはじめられる、エコ・クッキング](#)

エコ・クッキング提案活動

- ・実機での比較やポップ・パウチ・レシピチラシを活用し、環境配慮商品を提案(各ショールーム)
- ・エコクッキングを得意先に出向き実施(立川ショールーム)
- ・エコ生活提案会の実施や浴育セミナーの実施(大阪ショールーム)
- ・クッキングナビゲーター(イベント)で食育研修(市川ショールーム)

[ページのTOPへ](#)

コンタクトセンター

お客さまからの「修理・故障」、「点検・所有者票」、「部品・消耗品ご注文」受付をおこなっているコンタクトセンターでは『すべてはお客さまのために』のビジョンのもと、すべてのお客さまに「電話をかけてよかった」と思ってもらえるコンタクトセンターをめざしています。

お客さまの困っていることや疑問に迅速・丁寧に対応できるようコンタクトセンター一体となって、電話対応の品質向上に取り組み、お客さま視点で日々活動しています。

2013年度は約135万件の受付をしました。

365日
24時間
対応!

修理・故障の受付

点検・所有者票の受付

部品・消耗品のご注文受付

商品のご相談

お客さまのお問い合わせに、
迅速に対応できるよう内容別に受付窓口を設けています。

0120-911-026 (通話料無料)

携帯電話からのお問い合わせ 0570-064-910 (通話料がかかります)

※修理・故障の受付は365日24時間ご対応いたします。その他のお問い合わせ窓口・受付時間については[ホームページ](#)をご覧ください。

■ 電話応対品質向上の取り組み

＜実機での確認＞

お問い合わせの多いリモコン操作にも迅速にお応えできるよう、実機で確認しています。



＜電話応対コンクールへの出場＞

毎年、「電話応対コンクール」に出場し、応対スキルの向上に取り組んでいます。



＜実機研修室＞

給湯器やシステムバス、コンロを配置した実機研修室を設け、電話応対者の知識向上に役立てています。



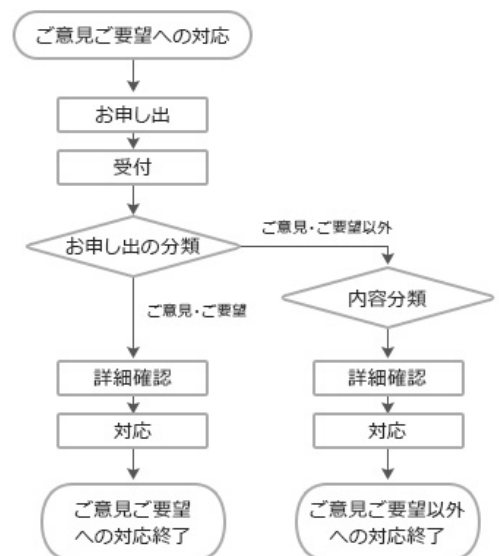
■ 顧客への対応

ご意見ご要望への対応

ノーリツでは、お客さまより、ご意見・ご要望が寄せられた場合、以下のようなフローで迅速かつ誠実に対応しています。

また、その内容を分析し、関係部門にフィードバックすることにより、製品開発・調達・生産・物流・販売・施工・サービス活動の向上に役立てています。

ご意見ご要望への対応フロー



■ アフターサポートについて

設計品質・生産品質・物流品質・施工品質とともに重要なのがサービス品質です。ノーリツグループでは、お客さまからの修理・保守点検の依頼については、24時間365日に対応し、お客さまにご不便をかけないサポートをお

こなっています。

また、サービス店認定制度やサービス品質表彰制度導入により、継続的にアフターサポートの技術力向上を図り、質の高いサービスの提供に努めています。

また、よくあるご質問やお手入れ方法についてお知らせすること、消耗部品や小物についてお客さまへ直接販売することにより、お客さまの日々のご使用をサポートしています。

※詳細はホームページをご覧ください。

▸ <http://www.noritz.co.jp/product/aftersupport.html>

[ページのTOPへ](#) ↑

製品情報の開示

■ 関係法令等に基づく製品情報の開示・ルールの方針

ノーリツグループでは、お客さまの生命・身体・財産に被害を及ぼす可能性がある製品の事故情報等を入手したときは、ただちにその事実確認をおこない、安全性に欠陥がある場合は法に従い、迅速に所轄官庁およびお客さまに公表しています。お客さまの被害の拡大防止を最優先に行動すると共に、原因究明、再発防止のために迅速かつ誠実に行動しています。

自主点検手続きの公開

お客さまに安全に安心してご使用していただけないような製品・サービス等の欠陥があることが判明した場合は、お客さまの安全を第一に考え、迅速に再発防止に向けた自主点検・無償部品交換のお知らせを公表しています。

▸ [製品安全に関する大切なお知らせ](#)

無償部品交換、修理・点検手続きの公開

お客さまに快適にご使用していただけないような製品・サービスの機能上の不具合が判明した場合は、お客さまのご不便、ご迷惑を最小限にとどめるよう、不具合部位の無償部品交換、修理、点検のお知らせを公表しています。

▸ [部品交換・修理点検の大切なお知らせ](#)

製品を安全にお使いいただくための大切なお願い、注意事項の掲載

製品事故を防止し、お客さまに安全して快適にご使用していただくための大切なお願い、注意していただきたい事例を掲載しています。

▸ [製品を安全に、正しくお使いいただくために](#)

製品事故情報の公開

お客さまに被害を及ぼす可能性のある事故が発生した場合は、安全性確保に向け被害の拡大防止を最優先に迅速かつ誠実に対応し、事故情報を公表しています。

▸ [製品事故情報一覧](#)

■ 分かりやすい情報提供の実施

アフターサポート

当グループは、お客さまがご使用中の製品について、必要な情報をお伝えできるよう、分かりやすく情報を発信します。

お問い合わせ窓口

お客さまからのお問い合わせについて、お客さまの立場に立ち、具体的に分りやすく情報をお伝えします。

・ [お問い合わせ窓口一覧](#)

[ページのTOPへ](#)

CS活動

■ 品質CSマネジメント体制について

ノーリツでは、グループ会社全体の品質保証業務を統括管理することで、今まで以上に、お客さま満足と品質の向上を達成できると考え、品質保証推進統括部長が議長を務める「グループ品質会議」を毎月開催しています。執行部門における業務改善を推進するとともに、お客さま接点窓口の専門性を高め、[6つの価値](#)を着実に実現しています。

品質CSマネジメント体制



■ CSアンケート(お客さまへの対応評価を聴き改善する仕組み)

ノーリツでは、お客さまとの「接点」を活用して、製品やサービスにかかわる貴重なご意見を収集し、お客さま満足の向上をめざすため、「CSアンケート」を実施しています。

その中、コンタクトセンターでは「電話対応品質に関する満足度」を測定するCSアンケートを実施しています。

お客さまからいただいたご意見、ご提案を改善につなげ、更なる対応品質向上をめざしています。

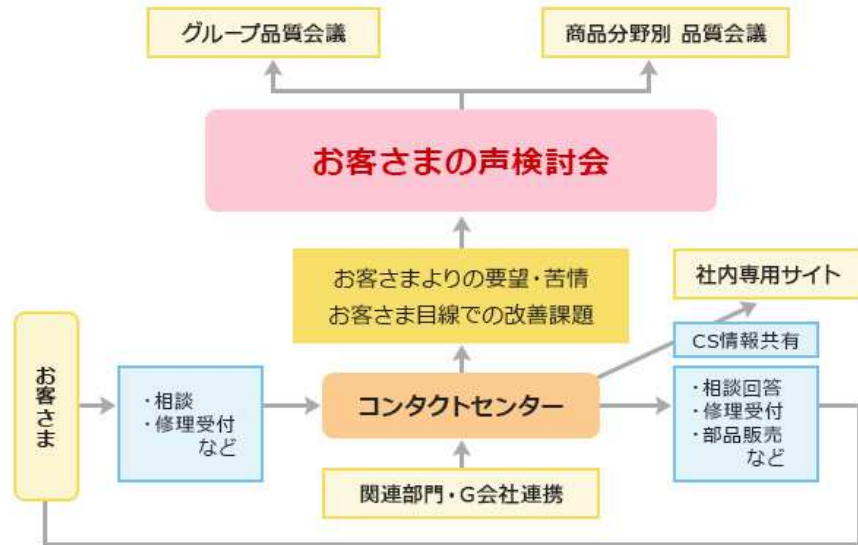


■ お客さまの声検討会

ノーリツグループにおけるお客さま満足度向上を推進し、CS風土を醸成することを目的に、「お客さまの声検討会」を開催運営しています。

「お客さまの声検討会」では、ノーリツグループに入るお客さまのお申し出や、社員からの「お客さま目線」での改善課題について審議し、経営者が参加するグループ品質会議や、商品分野別の品質会議に提議し改善を促し、お客さまの声を経営に反映しています。

お客様の声検討会の仕組み



■ ショールームにおける取り組み

ノーリツの各ショールームではCS向上のための接遇・電話対応などの研修をおこなっています。社内のポータルサイトでは、期に1度お客様の声をもとにMVPに輝いたショールームスタッフのインタビューや成功事例、失敗事例なども掲載され、モチベーション向上や情報の共有に繋げています。



■ VOC(お客様の声)での改善事例

ノーリツでは、グループ各部門に寄せられた「お客様の声」を、関連部門が検討し「お客さま目線」で改善して、その「お客様の声」を製品に活かしています。

たとえば、お客さま相談センターに寄せられた「お客様の声」を、開発部門にフィードバックして、製品の仕様や取扱説明書の記載方法を改善しています。

お客様の声を活かした改善事例(1)

個人情報保護方針

サイトのご利用について

ページのTOPへ

企業情報

- ・トップメッセージ
- ・企業理念・ビジョン

株主・投資家向け情報

- ・IRニュース
- ・トップメッセージ

CSRの取り組み

- ・トップメッセージ
- ・ノーリツグループのCSR

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ・製品を安全に、正しくお使いいただくために

給湯器取扱説明書を分冊。カラーでより見やすくわかりやすく！



取扱説明書が、わかりづらい...

手に取りたくなる
使ってもらえる
取扱説明書に！！

カラフルで文字も大きくて、わかりやすい！

ご意見
色々記載してあり、どこを見ればいいのかわかりにくい。

改善点
フルカラーで文字も大き目の「よくある質問をまとめた」冊子と、白黒の「細かな説明」冊子に分冊。よく見るものは見やすくわかりやすくなりました。

お客さまの声を活かした改善事例(2)

システムバス取扱説明書をお客様目線でリニューアル！



調べるのに、時間がかかる...

ぜひぜひ！お手入れ

おしえて！使いかた

これならすぐに調べられる！

問い合わせが多いお手入れ編と、使い方編に分冊！

ご意見
知りたいのはお手入れのことが多いけど、色々記載してあって、調べるのに時間がかかる。

改善点
フルカラーの「お手入れ読本」と、白黒の「使い方読本」に分冊。よく見るものは見やすくわかりやすくなりました。

■ スキルアップの取り組み

ノーリツグループでは、お客さまより直接、お問い合わせ・ご相談・ご意見をいただくコンタクトセンターのCS向上をめざし、電話対応者のスキルアップに取り組んでいます。

各種研修の充実

- ・各種の電話対応研修
- ・製品研修（新製品、既存品別の実機研修含む）
- ・検索技能研修（迅速に精度の高い回答をするための検索方法の習得）

レベル別評価制度の導入

毎年、電話対応者の総合的なCS対応力を各種評価項目で評価し、処遇等にも反映させる「レベル別評価制度」を導入しています。評価結果は、フィードバックをおこなうとともに、その後の研修内容にも反映させています。

小さなCS改善サークル活動の実践

お客さま対応における改善点などをテーマに、現状の問題・課題の分析と対策を協議し、改善を進め、その改善効果を確認していく小集団による自主的なQCサークル活動を毎年実施。CS向上意識のアップを継続的に図っています。

▶ ノーリツグループ行動基準
▶ コーポレートガバナンス
▶ 調達活動
▶ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

▶ IRライブラリー
▶ 株主情報
▶ IRイベント
▶ 電子公告
▶ よくあるご質問
▶ 免責事項

▶ CSRトピックス
▶ ガバナンス
▶ 品質
▶ 環境
▶ 社会
▶ 第三者意見
▶ 国際的イニシアティブとの整合
▶ 報告書一覧
▶ 編集方針

▶ グループ会社の製品に関する
ご連絡、ご注意
▶ その他、製品に関するご連
絡、
ご注意

サイト内検索

検索

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

 お問い合わせ窓口一覧はこちら

新しい幸せを、わかすこと。



文字サイズ 小 中 大 サイト内検索 検索

よくあるご質問 お問い合わせ窓口一覧 サイトマップ

企業情報 株主・投資家向け情報 CSRの取り組み 採用情報 製品に関する大切なお知らせ

企業情報トップ ▶ CSRの取り組み ▶ 社会 ▶ 取引先さまとともに

CSRの取り組み

CSRの取り組み

- ▶ トップメッセージ
- ▶ ノーリツグループのCSR
- ▶ 国連グローバル・コンパクト
- ▶ エコ・ファーストの約束
- ▶ 3つの笑顔プロジェクト
- ▶ CSRTピックス
- ▶ ガバナンス
- ▶ 品質
- ▶ 環境

社会

- » 従業員とともに
- » お客さまとともに
- » **取引先さまとともに**
- » 株主さまとともに
- » 社会とともに

- ▶ 第三者意見
- ▶ 国際的イニシアティブとの整合
- ▶ 報告書一覧
- ▶ 編集方針

取引先さまとともに

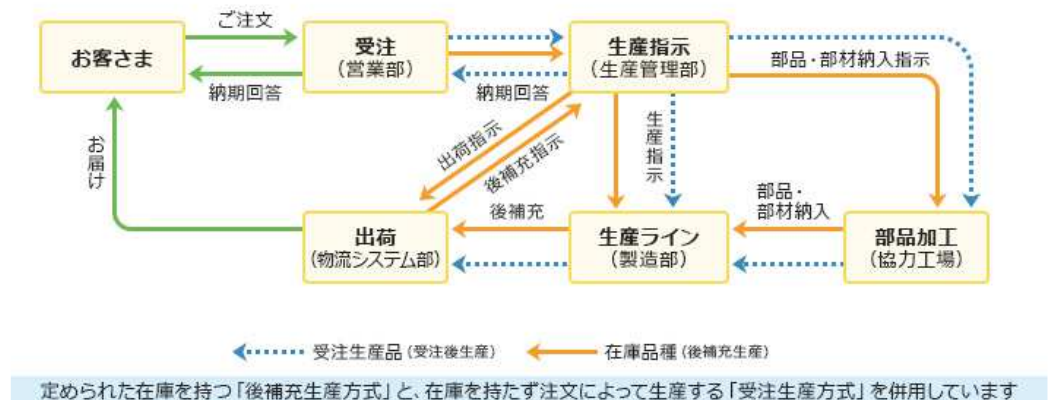
- 1 社会からの期待に応える調達活動
- 2 CSR調達
- 3 製品の環境負荷低減とサプライチェーン

社会からの期待に応える調達活動

■ NRPS

当社グループは、お客さまのご期待にタイムリーにお応えするため、「必要とされる商品を、必要なだけ、必要な時にお届けする」NRPS※生産方式を採用しています。この方式は、あらゆる無駄を無くし、短納期でお届けすることをめざすノーリツ独自のもので、明石本社工場のガス温水器ラインをはじめ、当社グループの各事業所における生産ラインでも採用しています。

※NORITZ PRODUCTION SYSTEM



ページのTOPへ ↑

CSR調達

■ 調達方針

ノーリツグループは企業活動のために必要な部品などの調達にあたり、ビジネスパートナーと対等かつ公平な立場で取引をおこない、サプライヤーとの共存共栄に努めます。

▶ 調達方針

■ CSR調達

ノーリツでは、電子業界のサプライチェーンにおけるCSRの基準とされるEICC行動規範の要求事項をベースに紛争鉱物(コンフリクト・ミネラル)の問題などへの対応に着手しています。

2014年は紛争鉱物管理システムを導入し、取り組みを進めてまいります。

購入先さまとの連携によってCSRの取り組みを推進し、互いの企業価値向上をめざすために、2014年7月に「ノ

ーリツグループCSR調達ガイドライン」を制定しました。

8月の協力会会合・品質大会で「ノーリツグループCSR調達ガイドライン」にあわせ、「紛争鉱物」への対応の説明会を開催しサプライチェーン全体での取り組みをおこないます。

■ ノーリツグループCSR調達ガイドライン

2014年7月CSR視点での調達活動を推進するために、「ノーリツグループCSR調達ガイドライン」を制定しました。

▶ [トピックス ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定](#)

▶ [ノーリツグループCSR調達ガイドライン \[PDF:0.38MB\]](#) 


[ページのTOPへ](#) 

製品の環境負荷低減とサプライチェーン

当社グループは、化学物質管理システムの構築と情報開示、化学物質監査等によるグリーンサプライチェーンの強化に取り組んでいます。詳しくはこちらをご覧ください。

▶ [製品における環境負荷物質低減の取り組み](#)

 [個人情報保護方針](#)

 [サイトのご利用について](#)

[ページのTOPへ](#) 

企業情報

- ▶ [トップメッセージ](#)
- ▶ [企業理念・ビジョン](#)
- ▶ [企業データ](#)
- ▶ [沿革](#)
- ▶ [企業姿勢・規範](#)
- ▶ [ノーリツグループ行動基準](#)
- ▶ [コーポレートガバナンス](#)
- ▶ [調達活動](#)
- ▶ [企業スポーツ活動](#)

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- ▶ [IRニュース](#)
- ▶ [トップメッセージ](#)
- ▶ [個人投資家、株主の皆様へ](#)
- ▶ [経営方針](#)
- ▶ [業績・財務データ](#)
- ▶ [IRライブラリー](#)
- ▶ [株主情報](#)
- ▶ [IRイベント](#)
- ▶ [電子公告](#)
- ▶ [よくあるご質問](#)
- ▶ [免責事項](#)

CSRの取り組み

- ▶ [トップメッセージ](#)
- ▶ [ノーリツグループのCSR](#)
- ▶ [国連グローバルコンパクト](#)
- ▶ [エコ・ファーストの約束](#)
- ▶ [3つの笑顔プロジェクト](#)
- ▶ [CSRトピックス](#)
- ▶ [ガバナンス](#)
- ▶ [品質](#)
- ▶ [環境](#)
- ▶ [社会](#)
- ▶ [第三者意見](#)
- ▶ [国際的イニシアティブとの整合](#)
- ▶ [報告書一覧](#)
- ▶ [編集方針](#)

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ▶ [製品を安全に、正しくお使いいただくために](#)
- ▶ [長期使用製品安全点検制度について](#)
- ▶ [グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意](#)
- ▶ [その他、製品に関するご連絡、ご注意](#)

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

» 従業員とともに

» お客さまとともに

» 取引先さまとともに

» 株主さまとともに

» 社会とともに

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

株主さまとともに

1 株主さまとの対話

2 個人株主さま限定イベント

3 配当方針など

株主さまとの対話

■ 決算説明会

ノーリツグループでは、四半期に1回、決算発表をおこなっています。また2月と8月には決算説明会、3月には株主総会を開催しています。

年間スケジュール

2月中旬 決算発表

2月中旬 決算説明会

3月下旬 株主総会

3月下旬 株主通信発行

3月下旬 有価証券報告書発行

5月上旬 第一 四半期 決算発表

8月上旬 第二 四半期 決算発表

8月上旬 第二 四半期 決算説明会

11月上旬 第三 四半期 決算発表



決算説明会

IRカレンダー

・ [詳細はこちら](#)

ページのTOPへ ↑

個人株主さま限定イベント

個人株主さまにノーリツグループのことをより深くご理解いただくため、「第1回個人株主さま限定イベント」を2013年5月に開催しました。多数のご応募の中から、抽選で18組33名の方々に、当社の経営に対する考え方を説明し、従業員の働く姿をご覧いただきました。

今後も、株主さまとのコミュニケーションを図れるよう努力してまいります。



第1回 個人株主さま限定イベント

第1回 個人株主さま限定イベントのご報告

・ [詳細はこちら](#)

ページのTOPへ ↑

配当方針など

配当方針、株主還元などは株主・投資家向け情報からご覧ください

・ [株主・投資家向け情報](#)

[個人情報保護方針](#) [サイトのご利用について](#) [ページのTOPへ](#)

企業情報

- ・ [トップメッセージ](#)
- ・ [企業理念・ビジョン](#)
- ・ [企業データ](#)
- ・ [沿革](#)
- ・ [企業姿勢・規範](#)
- ・ [ノーリツグループ行動基準](#)
- ・ [コーポレートガバナンス](#)
- ・ [調達活動](#)
- ・ [企業スポーツ活動](#)

[ノーリツチャンネル](#)

株主・投資家向け情報

- ・ [IRニュース](#)
- ・ [トップメッセージ](#)
- ・ [個人投資家、株主の皆様へ](#)
- ・ [経営方針](#)
- ・ [業績・財務データ](#)
- ・ [IRライブラリー](#)
- ・ [株主情報](#)
- ・ [IRイベント](#)
- ・ [電子公告](#)
- ・ [よくあるご質問](#)
- ・ [免責事項](#)

CSRの取り組み

- ・ [トップメッセージ](#)
- ・ [ノーリツグループのCSR](#)
- ・ [国連グローバルコンパクト](#)
- ・ [エコ・ファーストの約束](#)
- ・ [3つの笑顔プロジェクト](#)
- ・ [CSRトピックス](#)
- ・ [ガバナンス](#)
- ・ [品質](#)
- ・ [環境](#)
- ・ [社会](#)
- ・ [第三者意見](#)
- ・ [国際的イニシアティブとの整合](#)
- ・ [報告書一覧](#)
- ・ [編集方針](#)

採用情報

[お問い合わせ窓口一覧](#)

製品に関する大切なお知らせ

- ・ [製品を安全に、正しくお使いいただくために](#)
- ・ [長期使用製品安全点検制度について](#)
- ・ [グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意](#)
- ・ [その他、製品に関するご連絡、ご注意](#)

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

» 従業員とともに

» お客さまとともに

» 取引先さまとともに

» 株主さまとともに

» 社会とともに

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

社会とともに

1 地域社会との共生

2 災害復興支援

3 社会貢献

4 スポーツ

5 グループ会社

6 グローバル

地域社会との共生

■ トライやる・ウィーク

ノーリツグループでは、次世代育成活動のひとつとして、1998年から兵庫県がおこなっている「トライやる・ウィーク」に協力しています。毎年、働くことの大切さや楽しさを実感してもらうとともに、社会の一員としての育成を支援することを目的に、近隣の中学2年生への職場体験を実施しています。

2013年度は、6月と11月にそれぞれ5日間のプログラムで、明石市の中学校の生徒7名と神戸市の中学校の生徒4名が参加しました。期間中は、明石本社工場と本社各事業部、エスコアハーツ、生産技術開発センターなど、各所で工場見学や作業体験、技術研修、商品についての体験学習などを実施。参加者たちは、それぞれの活動を楽しみながらも、ものづくりの仕事とそれに取り組む社員たちの姿勢に刺激を受けた様子でした。

さまざまな仕事を体験することで、中学生たちが当社の事業への興味を抱き、また自身の将来を考えるきっかけにしてほしいと期待するとともに、今後は現場で働く社員とのコミュニケーションを深める機会を増やしていきたいと考えています。

※トライやる・ウィーク：1998年度から兵庫県が、県内の中学2年生を対象に実施している職場体験プログラム。県下の企業での職場体験を通じて地域や社会について学び、生きる力を育むことを目的としています。



< 感想文より >

- エスコアハーツでは同じ仕事を繰り返し行う作業が多く集中力がある仕事だったが頑張れた。会社と会社の連携の大切さを学べた。
- 会社で働く人の気持ちが分かって、すばらしい体験ができて良かった。
- 給湯器について詳しく学べた。エスコアハーツでは細かな作業をしたが、していくうちにその細かな作業が大事なことだとわかった。

■ クリーンウォーク

ノーリツグループは2010年から毎年11月、ボランティア活動の一環として明石本社工場エリアでクリーンウォークを実施しています。これまでの清掃活動は工場周りの清掃が中心でしたが、4回目を迎える2013年は、地域社会への貢献に重点を置き、近隣公園内の清掃やベンチのペンキ塗りなどの美化活

動をおこないました。また、2013年度は同公園のプールへ給湯器を贈呈し、地域の方々が快適に利用できるような環境作りにも貢献しています。

当初は明石本社工場(NAMエリア)のみでの活動でしたが、中四国支店や神奈川支店でも活動の輪が広がっています。

今後もこのような活動の輪が広がるよう継続して取り組んでいきます。



参加者のみなさん



神奈川支店のクリーンウォークに参加したメンバー

■ 地元へのご協力

ノーリツは地域社会との共生をめざして、神戸市で開催される文化・スポーツの催し(神戸まつり、こうべ海の盆踊り、みなとこうべ海上花火大会、インフィオラータこうべ、元町イースト・ジャズピクニック、C・A・P、スポンサー花壇、南京町春節祭など)に積極的に協賛しています。

また、神戸マラソンには地元企業としてノーリツ女子陸上部の選手も参加しており、今後もイベントの活性化につなげていきたいと考えています。



神戸マラソン

■ 障がい者雇用促進に向けて

エスコアハーツの雇用促進の取り組み

特例子会社エスコアハーツは、都道府県労働局による企業就労理解促進事業に合わせ、就労支援機関や学校関係、一般企業からの事業所見学の受け入れをおこなう一方、障がい者に対する職場実習推進として、毎年多数の実習生を受け入れています。

エスコアハーツの受け入れ状況の推移

	2011年	2012年	2013年
事業所見学者数	892名	900名	911名
実習生受入者数	71名	171名	162名

[ページのTOPへ](#) ↑

■ 阪神淡路大震災

神戸ルミナリエ

神戸ルミナリエは、阪神淡路大震災の犠牲者への鎮魂・追悼と、被災した都市の復興・再生の夢と希望を託して、震災の年に開始されたイベントで、2013年に19回目を迎えました。当時被災し救援・支援を受けた神戸の一企業として、ノーリツは毎年開催協賛金の提供をさせていただいています。

2012年度から、従業員による募金に加え、希望者による会場内の清掃ボランティアを実施しています。

ノーリツグループはこれからも地元神戸の復興支援として神戸ルミナリエを支援していきます。



神戸ルミナリエ



清掃ボランティアを実施



■ 東日本大震災

みちのく未来基金

2013年、ノーリツは公益財団法人「みちのく未来基金」の支援企業として、被災地の皆さんとともに歩んでいくことを表明しました。同基金は、東日本大震災によってかけがえのない親を亡くした子どもたちの、高校卒業後の進学を支援する目的で設立されました。この活動に共感した多くの企業や団体が、力を合わせて取り組んでいます。

当社ではこれまでも阪神・淡路大震災の被災企業として神戸ルミナリエ開催協賛金、従業員による募金を通じて地元の支援をおこなってきましたが、東日本大震災復興のために、私たちに何ができるのかを検討し、微力ながら同基金への支援を決定しました。従業員募金と合わせて、寄付をおこなっています。

シャワー施設の提供

気仙沼市の避難所にシャワー施設を提供。
被災地にお湯を届けることで幸せを“わかす”。

2011年3月11日の東日本大震災は、大地震に加えて大津波や原発問題が重なり、関東・東北エリアに多くの被害をもたらしました。このような状況に対して、ノーリツグループでは兵庫県と連携しながら、気仙沼市の避難所にプライバシーを確保したシャワー施設12基を提供しました。

個人情報保護方針

サイトのご利用について

ページのTOPへ

企業情報

- ・トップメッセージ
- ・企業理念・ビジョン
- ・企業データ
- ・沿革
- ・企業姿勢・規範
- ・ノーリツグループ行動基準
- ・コーポレートガバナンス
- ・調達活動
- ・企業スポーツ活動

株主・投資家向け情報

- ・IRニュース
- ・トップメッセージ
- ・個人投資家、株主の皆様へ
- ・経営方針
- ・業績・財務データ
- ・IRライブラリー
- ・株主情報
- ・IRイベント
- ・電子公告
- ・よくあるご質問

CSRの取り組み

- ・トップメッセージ
- ・ノーリツグループのCSR
- ・国連グローバルコンパクト
- ・エコ・ファーストの約束
- ・3つの笑顔プロジェクト
- ・CSRトピックス
- ・ガバナンス
- ・品質
- ・環境
- ・社会

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ・製品を安全に、正しくお使いいただくために
- ・長期使用製品安全点検制度について
- ・グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- ・その他、製品に関するご連絡、ご注意

■7カ所の避難所に計12基のシャワー施設を設置



震災当時、社内イントラネットの社長の掲示板には、従業員から「ノーリツグループだからこそできる支援をしたい」という書き込みが殺到。多くの声を受けて、社内に「おふろわかしたい(隊)」を結成し、「避難所へのおふろ設置」に取り組みました。実際に利用された方からは「避難所に帰ってきた夕方以降も、プライベートを確保して体と心をリフレッシュできる時間と場所があることが、ありがたい」との声をいただきました。

今回のシャワー施設の提供を通じて、当社が16年前に阪神・淡路大震災を経験した兵庫県の企業として、少しでも地域への恩返しをすることと、被災地にお湯を届けることでグループビジョン「新しい幸せを、わかすこと。」を少しでも実現できたと思います。

また、シャワー施設の提供以外にも義援金の寄付、全国ショールームでの募金活動、支援物資の提供などをおこないました。これらを東日本大震災の災害支援におけるひとつの成果として、今後の事業活動に邁進してまいります。

シャワー施設の特徴

- プライバシーに配慮し、個室型のシャワールームに脱衣場を併設
- 高齢者に配慮し、手すり、介護用シャワー椅子を設置
- 断熱性を考慮し、システムバスの壁を使用
- 当社ガス給湯器とミストシャワーを設置



中井公民館避難所にシャワー施設を設置したノーリツグループのメンバーと避難所の代表者

現地支援ボランティア

ノーリツグループでは、被災地に社員を派遣し、次のような現地支援ボランティアを実施しています。

現地支援ボランティア

実施日： 2013年3月9日(土)～12日(火)

参加者： 社員3名派遣(ひょうごボランタリープラザの協力を得て)

実施場所： 宮城県名取市

活動内容： 関上3.11追悼イベント運営支援(：名取市旧関上中学校(写真1、2)・仮設住宅への支援物資の配送)



実施場所： 宮城県仙台市勾当台公園

活動内容： キャンドルナイト運営支援ブース展示(ノーリツグループの東日本大震災支援活動を説明)



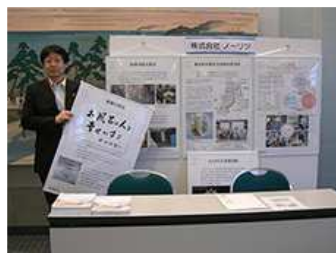
ノーリツグループの東日本大震災支援活動の発表とブース展示

実施日： 2013年3月20日(水)

参加者： 100名程度(一般)

実施場所： 神戸市中央区での「ひょうごボランタリー地域づくりネットワーク会議」

活動内容： 発表風景、ブース展示風景



実施日： 2013年8月4日(土)～7日(水)

参加者： 社員4名派遣(ひょうごボランタリープラザの協力を得て)

実施場所： 宮城県仙台市

活動内容： 花火会場運営支援

実施場所： 宮城県東松島市

活動内容： 側溝清掃・仮設住宅へうちわ贈呈・交流会出席



[ページのTOPへ](#)

社会貢献

■ エコキャップ活動

ノーリツグループでは、NPO法人「エコキャップ推進協会」がおこなっているエコキャップ活動に賛同し、取り組んでいます。エコキャップ活動とは、ペットボトルのキャップを外して集め、再資源化することでCO2の削減に貢献し、その売却益で発展途上国のお子さまたちにワクチンを贈る活動です。

ワクチンは、ポリオ（小児マヒ）一人分キャップ約860個、BCG（結核）一人分キャップ約301個必要です。

現在、当活動は、兵庫県明石市のノーリツコンタクトセンターをはじめ、各拠点で自主的に始まり、活動が広がっています。2012年までに合計39,560個を、2013年には5,590個を回収・同協会への送付をおこないました。2014年も活動を継続しており、5月現在で2,580個を回収しています。

※現在までにポリオワクチン約55人分を収集しました。



■ 家族見学DAY

ノーリツグループでは毎年、従業員のお子さまたちに、お父さんやお母さんが元気に働く姿を見てもらう「家族見学DAY」を実施しています。この取り組みは、次世代育成活動の一環として、家族のコミュニケーションを育むことを目的としています。2013年度は3月と8月に実施し、従業員のご家族計16家族40名（うちお子さま24名）が参加しました。

明石本社工場では、明石市の紹介やノーリツグループの歴史・社会貢献活動などの説明の後に実際に給湯器が製造される工場を見学した後、工場や給湯器などに関するクイズをおこない、正解者にはお菓子を配布するなど、ご家族・お子さまには楽しいイベントとして喜んでいただきました。

その他、実際の職場見学や体験もおこなっています。いずれの参加者にも、楽しい雰囲気のもと、ご家族の仕事や働く現場に対する理解を深めていただきました。

この他、2013年度は営業所主催での「夏休みお子さま工場見学会」も開催され、12組33名（大人15名、お子さ



夏休み お子さま工場見学会

ま18名)が参加しました。

参加者(11歳)のコメント

お母さんの会社が給湯器を作っている会社ということは知っていましたが、工場見学をするのは初めてで楽しかったです。

飲み物の工場見学はしたことがありましたが、機械をつくる工場は初めてで、沢山の給湯器が作られるところを見てびっくりしました。

特に工場のラインにある機械や、自動で部品を運んでくれる電動台車「たろうちゃん」がすごいなと思いました。夏休みのいい思い出になりました。

ページのTOPへ ↑

スポーツ

■ ノーリツ女子陸上競技部

ノーリツの陸上活動の詳細はこちら

▶ <http://www.noritz.co.jp/company/sports/athletic.html>



2014年1月、大阪国際女子マラソンに出場した小崎まり選手(右)

■ ノーリツフェンシング部

ノーリツのフェンシング活動の詳細はこちら

▶ <http://www.noritz.co.jp/company/sports/fencing.html>



2013年6月の兵庫県大会ではフェンシング部全員がメダルを獲得

ページのTOPへ ↑

グループ会社

■ 関東産業株式会社の取り組み紹介「餅つき大会」

グループ会社の関東産業株式会社(群馬県前橋市)では、毎年1月に芳賀東部工業団地の企業と協力して地域とのコミュニケーションを図る目的で「餅つき大会」を実施しています。2014年度は近隣住民、地元の少年サッカーチームや野球チームのメンバーとその保護者など約250名を招き、子どもたちの餅つき体験をおこないました。同社の従業員とその家族もボランティアとして参加し、地域の食材を提供しました。参加者はつくたてのお餅や豚汁などをほおぼり、楽しく過ごしました。ノーリツグループではこれからも地域に根ざした社会をめざし、地域貢献に取り組んでいきます。



大会の様子

■ 株式会社アールビーの取り組み

グループ会社の株式会社アールビーは、地域社会への貢献を目的として、茨城県かすみがうら市の「かすみが

うらマラソン」の支援としてで給水ボランティア活動をおこなっています。4月20日(日)に開催された「第24回かすみがうらマラソン」では、アールビーおよびカシマの社員とその家族約80名が参加。10マイル(16キロ)とフルマラソンの5キロ地点の給水ポイントとなる、アールビー神立工場に給水所を設置し、ランナーたちに応援を送りました。

同社は、2007年より当イベントに毎年、参加しており、昨年度で7回目。今後も、地域貢献活動の一環として、当活動を継続していきます。



準備中の参加者



マラソンの様子



給水を行う参加者

[ページのTOPへ](#)

グローバル

■ ノーリツアメリカの社会貢献活動

ノーリツアメリカは、地域社会貢献の1つとして、南カリフォルニアのバスケットボールクラブチーム『HOPPS』のスポンサーをしています。恵まれない子どもたちにメンバー費用とチームのユニフォームを提供し、大好きなバスケットボールをする機会に貢献しています。

チームコーチからの感謝状

私たちは、多くのサポーターに加えてノーリツアメリカがスポンサーとなった事により、恵まれない5人の子
どもたちにメンバー費用とチームのユニフォームが提供され、バスケットボールをする機会が得られたこと
に感謝しています。子どもたちがこの経験を通して成長し、将来社会貢献してくれることと確信していま
す。



■ ノーリツアメリカの2013年寄付の実績

寄付・US\$ 2,715

2013年6月27日 オクラホマの竜巻被害の救援としてアメリカ赤十字へ寄付しました。

**American Red Cross (out of PR)
DONATION IN 2013**

6/27/2013	090926-INP	OKLAHOMA RELIEF	2,715.00
			2,715.00

寄付・US\$ 2,500

2013年11月25日 ハイエン台風被害の救援としてアメリカ赤十字へ寄付しました。

**American Red Cross (out of PR)
DONATION IN 2013**

11/25/2013	2000958-INP	Donation for Typhoon Haiyan Disaster Relief	2,500.00
			2,500.00

資産寄付:US\$840

2013年12月18日 支店で使わなくなった家具・備品を Habitat for Humanity of OCへ寄付しました。

**Habitat for Humanity of OC
DONATION IN 2013**

12/18/2013	Zero NBV	Assets donated	840.00
			840.00

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRトピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

国連グローバル・コンパクト

国連グローバル・コンパクトと国連ミレニアム開発目標

国連グローバル・コンパクトの理解と浸透

国連グローバル・コンパクトと国連ミレニアム開発目標

■ 国連グローバル・コンパクトに署名しています

ノーリツは2012年12月、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト(UNGC)」が定める4分野(人権、労働、環境、腐敗防止)10原則の取り組みに賛同し署名いたしました。その10原則に則り、社会と企業がともに持続可能な成長を果たすため、企業理念や世界的な枠組みに基づいた活動を進めています。

国連グローバル・コンパクトの10原則



人 権

- 原則1 企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権の擁護を支持し、尊重する。
原則2 人権侵害に加担しない。

労 働

- 原則3 組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。
原則4 あらゆる形態の強制労働を排除する。
原則5 児童労働を実効的に廃止する。
原則6 雇用と職業に関する差別を撤廃する。

環 境

- 原則7 環境問題の予防的なアプローチを支持する。
原則8 環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。
原則9 環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。

腐敗防止

- 原則10 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。

企業情報

- ▶ トップメッセージ
- ▶ 企業理念・ビジョン
- ▶ 企業データ
- ▶ 沿革
- ▶ 企業姿勢・規範
- ▶ ノーリツグループ行動基準
- ▶ コーポレートガバナンス
- ▶ 調達活動
- ▶ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- ▶ IRニュース
- ▶ トップメッセージ
- ▶ 個人投資家、株主の皆様へ
- ▶ 経営方針
- ▶ 業績・財務データ
- ▶ IRライブラリー
- ▶ 株主情報
- ▶ IRイベント
- ▶ 電子公告
- ▶ よくあるご質問
- ▶ 免責事項

CSRの取り組み

- ▶ トップメッセージ
- ▶ ノーリツグループのCSR
- ▶ 国連グローバルコンパクト
- ▶ エコ・ファーストの約束
- ▶ 3つの笑顔プロジェクト
- ▶ CSRTピックス
- ▶ ガバナンス
- ▶ 品質
- ▶ 環境
- ▶ 社会
- ▶ 第三者意見
- ▶ 国際的イニシアティブとの整合
- ▶ 報告書一覧
- ▶ 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ▶ 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- ▶ 長期使用製品安全点検制度について
- ▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- ▶ その他、製品に関するご連絡、ご注意

This Certificate of Joining the UN Global Compact
is given to
Noritz Corporation
committing to respect the ten principles of the
United Nations Global Compact, to take action in support of UN Goals
and to submit annually a Communication on Progress

HUMAN RIGHTS

1. Businesses should support and respect the protection of internationally proclaimed human rights; and
2. make sure that they are not complicit in human rights abuses.

LABOUR STANDARDS

3. Businesses should uphold the freedom of association and the effective recognition of the right to collective bargaining;
4. the elimination of all forms of forced and compulsory labour;
5. the effective abolition of child labour; and
6. the elimination of discrimination in respect of employment and occupation.

ENVIRONMENT

7. Businesses should support a precautionary approach to environmental challenges;
8. Undertake initiatives to promote greater environmental responsibility; and
9. encourage the development and diffusion of environmentally friendly technologies.

ANTI-CORRUPTION

10. Businesses should work against all forms of corruption, including extortion and bribery.

Participant joined on 01 December 2012.
For information on what participation in the
UN Global Compact means and for the current standing
of participants, visit www.unglobalcompact.org

国連グローバル・コンパクトの署名証明書

■ ミレニアム開発目標

国連は、環境の持続可能性確保や飢餓の乳幼児死亡率の削減など、2015年までに達成すべき開発分野における国際社会共通の目標として「ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs)」を掲げており、UNGCもこのMDGsの目標達成に向けた活動を推進しています。



8つの目標



目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅



目標2: 初等教育の完全普及の達成



目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上



目標4: 乳幼児死亡率の削減



目標5: 妊産婦の健康の改善



目標6: HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止



目標7: 環境の持続可能性確保



目標8: 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

* ロゴは「特定非営利活動法人 ほっとけない世界のまづしき」が作成したもの。

[ページのTOPへ](#)

国連グローバル・コンパクトの理解と浸透

■ 国連グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークを通じた活動

ノーリツが加盟している「国連グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク」(GC-JN)※では、テーマ別の分科

会活動が行われており、加入企業はそれぞれの分科会においてCSRの向上につながる取り組みについて検討しています。

2013年度は、サプライチェーン分科会、関西分科会、CSR報告書研究分科会（現レポート研究分科会）、社内浸透分科会の4分科会に参加しました。サプライチェーン分科会では、CSR調達のあり方を検討し、ここでの活動を参考にしてノーリツグループCSR調達ガイドラインを作成しました。

2014年度は関西分科会の幹事企業としてCSR活動の進展に貢献したいと考えています。

※国連グローバル・コンパクトの日本のローカル・ネットワーク

[「ノーリツグループCSR調達ガイドライン」\[PDF:0.38MB\]](#)

[個人情報保護方針](#) [サイトのご利用について](#) [ページのTOPへ](#)

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRトピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

新しい幸せを、わかすこと。



よくあるご質問 お問い合わせ窓口一覧 サイトマップ

企業情報 株主・投資家向け情報 CSRの取り組み 採用情報 製品に関する大切なお知らせ

企業情報トップ ▶ CSRの取り組み ▶ エコ・ファーストの約束

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

エコ・ファーストの約束

① エコ・ファーストの約束(更新書)

② エコ・ファーストの約束:進捗状況

エコ・ファーストの約束(更新書)



■ エコ・ファースト制度

エコ・ファースト制度とは、業界トップランナー企業の環境保全をさらに促進していくため、企業が環境大臣に対し自ら環境保全に関する取り組みを約束する制度であり、2008年4月に創設されました。

ノーリツグループは、2009年3月9日にガス石油機器業界で初めて「エコ・ファースト企業」認証を取得し、さまざまな環境への取り組みについて社会との約束をおこないました。

また、2012年3月22日に目標の見直しをおこない、「エコ・ファーストの約束」を更新しました。



[ノーリツのエコ・ファーストの約束\(PDF:1.3MB\)](#)

■ エコ・ファースト推進協議会

エコ・ファースト企業の認定を受けている40社が「エコ・ファーストの約束」の確実な実践と連携して先進性・独自性に富む環境保全活動をおこなうことを目的に2010年に設立した協議会であり、ノーリツも参加しています。

▶ [エコ・ファースト推進協議会](#)



■ 「環境メッセージEXPO」で環境大臣賞を受賞

2012年10月18日にエコ・ファースト推進協議会が主催する「環境メッセージEXPO2012」に参加し、最優秀賞にあたる「環境大臣賞」と、会場からの賛同投票で最も多かった「会場『いいね!』賞」を受賞しました。

グループビジョンである「新しい幸せを、わかすこと。」について環境面からプレゼンテーションをおこないました。いずれの賞も「太陽光を何に変えよう」「給湯器リサイクルを通じての障がい者自立支援」「eco検定1000名以上合格」等のノーリツらしい環境活動について多くの方の共感を得られた点が評価されました。



授賞式





参加企業



環境大臣賞



会場「いいね!」賞

ページのTOPへ ↑

エコ・ファーストの約束:進捗状況

■ 約束1:製品を通じて低炭素社会の構築



(1) 高効率温水機器(潜熱回収型、等)と創エネルギー機器(太陽熱利用機器、太陽光発電システム等)の開発と普及に積極的に取り組み、2016年までに、従来型ガス石油温水機器に比べ、家庭の使用時のCO₂排出量を20万 ton/年削減することを目指します。(2000年比)

2013年の製品によるCO₂削減貢献量は、2000年比で11.1万ton/年になりました。これは家庭からの総CO₂排出量(※)の約2.1万世帯分に相当します。

2016年目標である削減貢献量20万ton/年は、約3.8万世帯分に相当します。

※温室効果ガスインベントリオフィス(2012年値)より、5.274ton-CO₂/年/世帯(自家用車含む)



(2) 高効率温水機器及および、創エネルギー機器の開発推進とそれぞれの特長を活かした普及促進に積極的に取り組みます。

高効率温水機器(潜熱回収型、等)と創エネルギー機器(太陽熱利用機器、太陽光発電システム等)の開発と普及拡大により、製品使用時のCO₂を削減しています。



高効率給湯器の販売構成比率・需要



ハイブリッド給湯・暖房システムの販売

給湯一次エネルギー効率は125%

給湯機器ではトップクラスの給湯一次エネルギー効率であり、CO₂排出量を従来給湯器(2000年製造)に比べ、

年間309kg-CO₂/台※削減しました。

※ ・東京地区、戸建住宅・4人家族
・給湯のみの場合

都市ガス 0.0499kg-CO₂/MJ(環境省「温暖化対策推進法 施工令で定める排出係数一覧」('13.3改正)より)

電気0.55 kg-CO₂/kWh[全電源「表示に関する業界自主ルール平成24年度」JPEA(一般社団法人 太陽光発電協会)より]

ノンフロン冷媒を採用

地球温暖化への影響が極めて少ないノンフロン冷媒(自然冷媒)を採用しました。

地域別一次エネルギー効率の分布

業界最高レベルのエネルギー効率を実現

ハイブリッド給湯・暖房システムはヒートポンプユニット

で空気中の熱を有効利用しています。



新エネルギー分野(太陽光、太陽熱関連)を加速

2011年に新設した「環境機器開発センター」(新エネルギー分野の研究開発棟)と「新エネルギー商品研修センター」(施工に必要な実技・知識を習得するための研修施設)を最大限に使用し、製品を通じての低炭素社会に向けての貢献をさらに加速していきます。



環境機器開発センター



新エネルギー商品施工研修センター
(施設内部に模擬屋根を設置)



(3)グリーンプロモーションを強化し、「CO₂の見える化」など製品ライフサイクルを見えた適切で具体的な商品・サービスの環境情報をお客さまにわかりやすく提供していく取り組みを積極的に推進します。

お客さまが省エネに配慮した使い方をされて、その効果を確認していただけるように、各種ナビゲーション機能や省エネ運転モードを搭載していきます。

●高機能リモコン



リモコン表示例

太陽光発電システムとの併用で光熱費の「見える化」を実現

■ 約束2:事業活動を通じて低炭素社会の構築



- (1) 国内事業所におけるCO₂排出量を2016年までに20%以上削減、2020年までに25%以上削減することを目指します。(2002年比)
- (2) ノーリツグループとして全体最適化を考慮したエネルギー削減を統括的に推進するために「省エネ・マネジメント体制」を強化します。
- (3) 業務改善と設備導入の両輪で計画的にCO₂排出量の削減に積極的に取り組みます。

ノーリツグループは、CO₂排出量について上記目標に取り組んだ結果、2013年度の国内生産事業所におけるCO₂総排出量は、22,146ton(2002年比 93.8%)となりました。

2013年度は生産拠点の統廃合、省エネ設備の導入もおこないましたが、設備・ラインの増設、生産量増加等により、CO₂総排出量が増加しました。

今後も目標達成に向けて、生産設備の省エネ化、照明のLED化、太陽光発電システムの導入、エネルギーの見える化を重点、に、CO₂排出量の削減活動を推進していきます。



冬の節電・夏の節電について

当社グループは、地球温暖化防止や電力不足への対応を目的として、2011年からの節電活動を継続しています。

設備面では太陽光発電システムの設置、照明のLED化・人感センサーの設置、電力監視システムの導入等を実施し、運用面では、空調の温度設定、照明の休憩時・不在時の消灯、PC・OA機器の省エネ設定、自販機の削減・省エネ設定、クールビズ(スーパークールビズ)、ウォームビズ等を実施しました。

節電活動はこれからも継続して取り組みます。



節電パトロール

「冬の節電」(2012年12月～2013年3月)

節電目標は、最大使用電力(ピーク電力)の2010年比90%以下

最大使用電力	2012年12月	2013年1月	2013年2月	2013年3月
目標値(kW)	11,105	—	—	—
実績値(kW)	10,020	9,980	10,050	9,750
(%)	78.8%	78.5%	79.0%	76.6%

「夏の節電」(2013年7月～2013年9月)

節電目標は、最大使用電力(ピーク電力)を2010年比85%以下

最大使用電力	2013年7月	2013年8月	2013年9月

目標値(kW)	11,333	—	—
実績値(kW)	10,891	11,021	10,737
(%)	78.1%	79.0%	77.0%

太陽光発電システム設置場所



	所在地	会社	事業所	用途分類	定格(kW)	設置年	備考
1	兵庫県明石市	ノーリツ	NAM事業所 生産技術開発センター	自家消費	100	2005年	自家消費のため、事業活動における電力消費量の削減=CO ₂ 削減に寄与する。
2	兵庫県明石市	ノーリツ	NAM事業所 環境機器開発センター	自家消費	64	2011年	
3	兵庫県明石市	ノーリツ	NAM事業所 新エネルギー商品研修センター	自家消費	17	2012年	
4	兵庫県明石市	ノーリツ	西新町事業所	自家消費	17	2013年	
5	兵庫県加古川市	ノーリツ	加古川事業所	自家消費	100	2012年	
6	兵庫県明石市	大成工業	本社工場	自家消費	100	2011年	
7	兵庫県加古郡	大成工業	播磨第三工場	自家消費	100	2011年	
8	兵庫県朝来市	多田スミス		自家消費	100	2012年	
9	茨城県土浦市	アールビー	つくば事業所	自家消費	200	2011年	
10	群馬県前橋市	関東産業		自家消費	50	2011年	
11	愛知県名古屋市中区	ノーリツ	中部支社 東海支店	自家消費	24	2011年	
12	長崎県長崎市	ノーリツ	九州支店 長崎営業所	自家消費	5	2013年	
13	東京都八王子市	ノーリツ	八王子研修センター	自家消費	10	2012年	
14	福岡県福岡市	ノーリツ	九州支店	自家消費	5	2012年	
合計 14ヶ所							

■ 約束3:法規制を先取りした化学物質管理の強化



(1)自主的な取り組みとして2006年から導入している有害物質対応商品を2016年までに販売構成比80%以上になるように開発と普及に積極的に取り組みます。

※温水機器、厨房機器、ソーラー機器、暖房機器、コージェネレーション機器が対象。

「ノーリツグループ環境負荷物質管理指針」をもとに、有害物質対応商品(※1)の新商品開発に取り組んでいます。有害物質対応商品の品数を増やすことにより、販売構成比の拡大を図っています。

有害物質対応商品の販売構成比を拡大していくにあたっては、仕入先・購買・設計が連携し商品開発を進めています。また、営業・販売先における取り組みも重要になります。これからも、サプライチェーン全体で有害物質対応商品の拡大に取り組んでいきます。

※1 有害物質対応商品:RoHS指令(※2)対象6物質にノーリツ独自の13物質を加えた19物質を基準濃度以下にした商品。

※2 RoHS指令:電機・電子機器に含まれる特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、特定臭素系難燃剤2種)の使用禁止。温水機器および厨房機器は対象外であり、ノーリツグループにおいては自主的取り組み。

有害物質対応商品の販売構成比の推移



●ノーリツグループ
環境負荷物質管理指針



(2)2010年7月以降の新商品(温水機器および厨房機器)より、REACH規則で定められた化学物質の含有状況を管理し、EU向け商品だけでなく、国内向け商品に対しても情報開示ができるようにします。

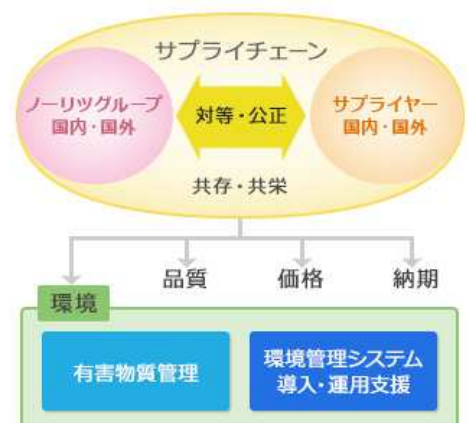
(3)有害物質の低減および含有情報の精度向上を図るために、化学物質管理システムの構築、化学物質監査等を通じてサプライヤーとのコミュニケーションを積極的におこない、グリーンサプライチェーンの強化に取り組みます。

REACH規則で定められた化学物質の含有状況の管理については、2013年も新たな機種を選定し、サプライヤーと協力し調査・含有状況の把握をおこないました。ノーリツグループのサプライチェーンにおける考え方は、対等・公正な取引をおこない、サプライヤーと共存・共栄に努めることであります。そのために環境・品質・価格・納期などの項目で相互の信頼関係を築いていきます。

環境の部分においては「ノーリツグループ環境負荷物質管理指針」による有害物質管理や、サプライヤーの環境管理システムの導入・運用支援に取り組んでいます。

※REACH規則：化学物質の登録、評価および制限に関する規則

サプライチェーンにおける考え方・取り組み



蛍光X線分析装置



GPネットの表示例

■ 約束4: 製品・事業活動を通じた資源循環型社会の構築



(1)生産活動に伴い発生する廃棄物について、事業所外に排出する量を2016年までに60%以上削減することを目指します。(国内生産事業所2007年比)

上記目標の達成をめざして取り組んでいる廃棄物排出量の削減については、ノーリツグループ生産事業所における2013年の廃棄物排出量(処理費用が発生する廃棄物が対象)は1,875tonとなり、内製の拡大等により2012年より121ton増加しました。

2013年の排出量削減の取り組みは、グループ会社の関東産業において重点的におこないました。木質バイオマス発電所の燃料として木くずの納入を開始したこ

とにより、2014年以降の削減に対し目処がつけました。
また、納入した木くずで発電した電気を含む電力を購入することにより、エネルギー循環の推進もおこなっています。

廃棄物排出量



責任者の声 関東産業株式会社 管理部 部長 篠部 貴弘さん

関東産業では、「きれいな地球を次の世代へ」をスローガンに、地球環境保全活動を推進しています。2013年は、木くず廃棄物をチップ化し、バイオマス発電燃料に変え、廃棄物の排出量削減と資源の循環に取り組みました。また、納入した燃料で発電したエネルギーを使用し、群馬県初の「資源とエネルギーの循環」を実現しました。今回の取り組みは、2016年廃棄物削減目標に向けたものですが、地球環境保全活動は永遠のテーマです。引き続き、地球環境保全活動および資源やエネルギーの循環型社会に貢献していきます。



木くず破砕機



(2) ノーリツグループの国内生産事業所のリサイクル99%以上とする取り組みを継続し、海外生産事業所においても2012年までに99%以上とすることを旨とし、その後継続します。

国内生産事業所、海外生産事業所共に2013年もゼロエミッション達成を継続しています。2014年も廃棄物の処理フロー確認をおこないながらゼロエミッションを継続していきます。

※ノーリツグループ・ゼロエミッション定義：廃棄物の全重量のリサイクル率が99%以上となった月を3か月以上継続し、今後も継続可能と判断した状態をゼロエミッションの達成とします。



本社工場



明石工場



加古川事業所



大成工業株式会社 本社工場



能率(上海)住宅設備有限公司



東莞大新能率電子有限公司

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRTピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、

新しい幸せを、わかすこと。

[よくあるご質問](#) [お問い合わせ窓口一覧](#) [サイトマップ](#)[企業情報](#)[株主・投資家向け情報](#)[CSRの取り組み](#)[採用情報](#)[製品に関する大切なお知らせ](#)[企業情報トップ](#) ▶ [CSRの取り組み](#) ▶ [3つの笑顔プロジェクト](#)

CSRの取り組み

① CSRの取り組み

[▶ トップメッセージ](#)[▶ ノーリツグループのCSR](#)[▶ 国連グローバル・コンパクト](#)[▶ エコ・ファーストの約束](#)[▶ 3つの笑顔プロジェクト](#)[▶ CSRTピックス](#)[▶ ガバナンス](#)[▶ 品質](#)[▶ 環境](#)[▶ 社会](#)[▶ 第三者意見](#)[▶ 国際的イニシアティブとの整合](#)[▶ 報告書一覧](#)[▶ 編集方針](#)

3つの笑顔プロジェクト

② 2013年度の主な活動

③ 人に笑顔

④ 地球の笑顔(森林育成プロジェクト)

⑤ 暮らしで笑顔

3つの笑顔プロジェクトについて

「人と地球と暮らしの笑顔」をテーマに、3つの笑顔プロジェクトを推進しています。

ノーリツグループは、事業活動を通じて、社会と共有できる価値を生み出す、社会貢献活動に取り組んでいます。



■ 2013年度の主な活動

プロジェクト名	活 動	成 果
人に笑顔 障がい者自立支援 プロジェクト	■障がい者の雇用促進 ノーリツグループは、2006年に社内ベンチャー制度で発足した特例子会社エスコアハーツを設立して以来、障がい者を多く雇用する事業所として、より高次の雇用に向けて取り組みを推進しています。この活動が認められ、2013年9月、ノーリツは「障がい者雇用優良事業所兵庫県知事表彰」を受賞しました。 ■障がい者の就労機会創出（給湯器リサイクル事業） ノーリツグループの特例子会社エスコアハーツは、福祉事業所様とタイアップし、障がい者の就労機会創出を目的として、給湯器リサイクル事業を推進しています。この事業は、2009年より開始しており、地球への環境負荷低減にも貢献する事業として注目を集めています。 廃給湯器をエスコアハーツが回収し、福祉事業所にて廃給湯器の分解・分別を行っていただくことで、障がい者の就労機会創出や賃金アップ等につながるだけでなく、ノーマライゼーション理念やダイバーシティの実現に向けた、社会貢献度の高い活動と考えています。2013年7月には、この活動が評価され、「ひょうごユニバーサル社会づくり推進会議会長賞」を兵庫県から受賞しました。	約 4,500 万円の 就労機会を創出 障がい者法 定 雇 用 率 2.96 % (グループ適用)
地球の笑顔 森林育成 プロジェクト	■兵庫県森林組入連合会様との連携 昨年に引き続き、「森林カーボンオフセットサービス」を利用して、兵庫県森林組合連合会の森林整備事業を支援しています。 ■ノーリツ加古川事業所で 3 年連続 CO₂ ゼロ化 太陽光発電システムを生産しているノーリツ加古川事業所は、森林カーボンオフセットサービスを利用し、3 年連続でCO ₂ ゼロ化を達成しています。	700 ton-CO ₂ の 排 出 権 を 購 入 し 森 林 整 備 に 資 金 を 還 流
喜して笑顔 浴育・食育 プロジェクト	■「おふろって楽しいで SHOW！」の開催 ノーリツオリジナル浴育イベント「おふろって楽しいで SHOW!」を幼稚園や銭湯など 6 会場で開催。臨場感のある体験型イベントで、子どもたちにおふろの楽しさやマナーの大切さを伝えました。	6 会 場 で おふろの楽しさ 大切さを考える 機 会 を 創 出

ページのTOPへ ↑

地球の笑顔(森林育成プロジェクト)

地球の笑顔

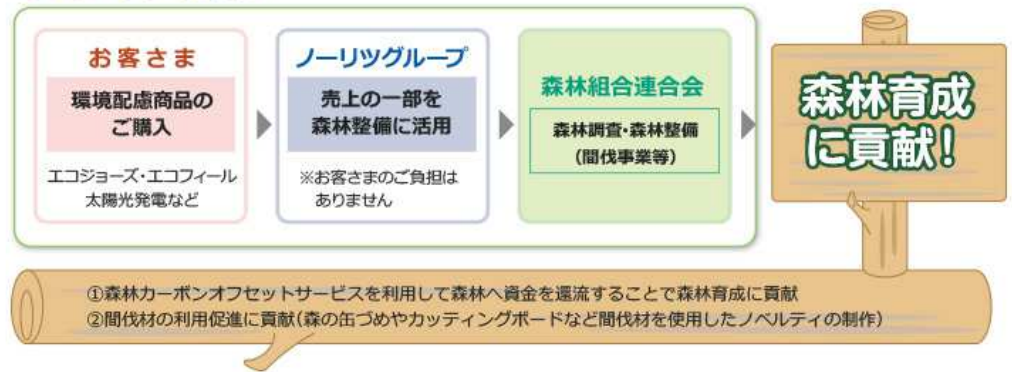
〈森林育成〉プロジェクト

兵庫県森林組合連合会とタイアップ
 森林カーボンオフセットサービスを利用して
 森林整備を支援しています。

森林は、CO₂を吸収固定することをはじめ、欠かすことのできないさまざまな自然環境維持機能を持っており、今を生きる私たちが、次の世代につないでいく大切な財産です。ノーリツグループは社会貢献活動として推進している「地球の笑顔(森林育成プロジェクト)」の一環として、森林育成に欠かせない間伐事業などを支援することで地球の笑顔を守るための活動を進めています。



プロジェクトの仕組み



■ 地球の笑顔プロジェクト報告(2013年)

お客様の消費が森林育成に活かされる地球の笑顔プロジェクト。エコジョーズなどの環境配慮商品一台につき20円を森林整備に役立てる取り組みです。

2012年の対象商品販売台数より740万円を拠出し、2013年は700ton-CO₂のカーボンオフセットをおこないました。また、間伐材の利用促進を図るために、ノベルティの制作等に取り組みました。

■ ノーリツ加古川事業所はCO₂ゼロを達成

太陽光発電システムを生産しているノーリツ加古川事業所は、企業努力で削減しきれなかったCO₂排出量632ton-CO₂(2012年1月～12月)について、カーボンオフセットし、CO₂排出量ゼロ化を実現しています。

[ページのTOPへ](#) 不

人に笑顔

人に笑顔

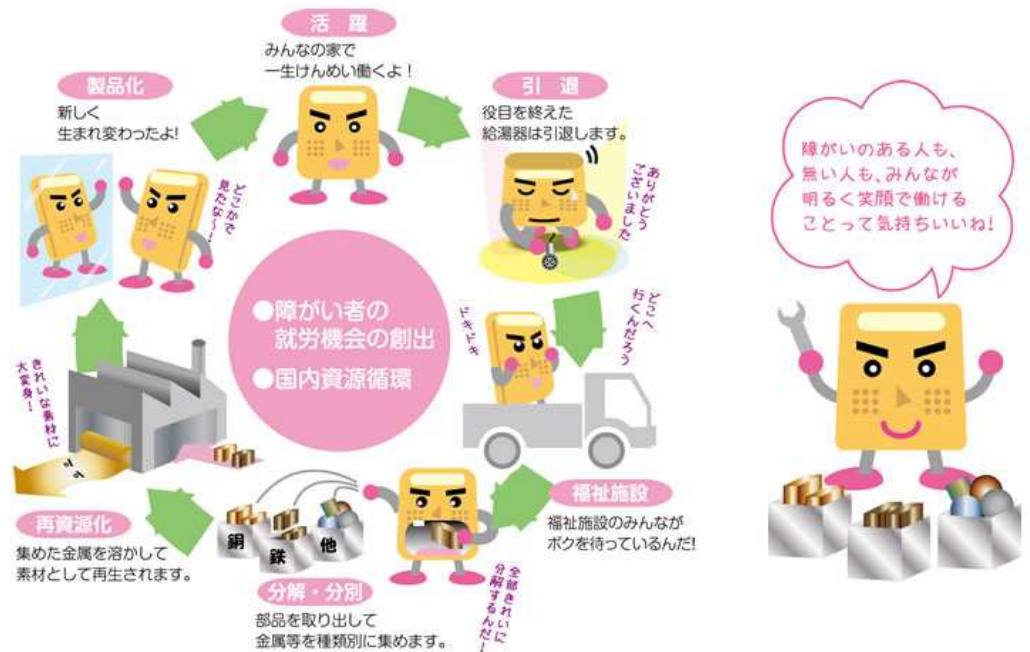
〈障がい者自立支援〉プロジェクト



給湯器リサイクルを通じて 障がい者がイキイキと働ける機会をつくっています。

わが国の障がい者数は740万人を超え、その構成比は総人口の6%に当たります。また、18歳～65歳までの就労対象者数は約340万人で、その雇用率は13%程度と働きたくても働けない人が年々増加の傾向にあると言われています。

一方、就労機会に恵まれず、就労支援施設で働く障がい者など常用雇用以外の就労者は、経済的に厳しい状況に置かれており、行政による工賃倍増計画などの推進事業が展開されています。



銅がリサイクルされるまで

給湯器に含まれる最も付加価値の高い素材は銅です。エスコアーツや福祉事業所様で分解され取り出された銅は、下記の工程を経て製品としてリサイクルされます。



※販売事業者様から回収した給湯器は全て福祉事業所様で分解・分別しています。

	11年	12年	13年
提携福祉施設	5	9	18
業務委託費用	1,000万円	2,700万円	4,500万円

ページのTOPへ ↑

暮しで笑顔

暮しで笑顔 〈浴育・食育〉プロジェクト

暮らしの中の「小さな幸せ」をもっと、わかすために・・・

「浴育」「食育」を通じて、その楽しさ、大切さを伝えています

暮らしの中にある「小さな幸せ」。毎日の習慣である入浴や食事そのひとつです。そして、これらをもっと輝かせ

るのは、親子のコミュニケーションではないでしょうか。

ノーリツグループは、お風呂やキッチンで繰り広げられる日常の「小さな幸せ」をもっと、わかすために、「浴育」や「食育」を通して、日本のお風呂や食文化を楽しく子どもたちに伝える活動を進めています。



今回は、ぼくがイチ押しの浴育イベント「お風呂って楽しいでSHOW!」を紹介するよ!



どんなことをやってるの?

お風呂って楽しいでSHOW!
楽しさ、てんこもりの3本立て

まずは、ノーリツオリジナル紙芝居「パンダのふしぎなお風呂」の公演だよ! 森を舞台に寒い冬の準備を始めるキツネや熊たちの前に現れた見慣れない動物、パンダとの心温まるエピソードなんだ。詳しくは会場で見てもね!

つぎは、銭湯・お風呂マナークイズ!
お風呂マナーについてクイズを出すよ。全問正解をめざしてがんばろう!

ラストは音楽ミニライブ。ノーリツオリジナル浴育ソング「お風呂マンボ」に合わせてみんなで楽しく、唄って踊っちゃおう!



現在、新作の紙芝居も製作中だよ。楽しみにしててね!

みんな楽しそうね! タペロットも参加したい!



唄って踊ろう! 音楽ミニライブ



パンダのふしぎなお風呂



銭湯・お風呂マナー ○×クイズ



企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRトピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

2013年「浴育」イベント開催実績		開催月
①	文化のみち榎木館（名古屋市）	1月
②	神田湯（荒川区）	2月
③	神戸市内幼稚園（神戸市）	2月
④	加古川幼稚園（加古川市）	7月
⑤	須磨幼稚園（神戸市）	9月
⑥	デュオこうべ（神戸市）	12月



ぞうのヨークンは大人気
＜ 加古川市「加古川幼稚園」にて ＞



唄って踊ろう！おふろマンボ
＜ 神戸市「デュオこうべ」にて ＞



おふろ銭湯マナークイズ
＜ 名古屋市「文化のみち榎木館」にて ＞

新しい年でも、おみずこ。 NORITZ

楽しいおふろとオイシイごはんで元気いっぱい！

浴育

食育

イベント活動

浴育・食育について

みんなはどのようにお風呂を洗っていますか？

みんなはどのようにお風呂を洗っていますか？

みんなはどのようにお風呂を洗っていますか？

みんなはどのようにお風呂を洗っていますか？

みんなはどのようにお風呂を洗っていますか？

みんなはどのようにお風呂を洗っていますか？

くわしくはこちら

※「浴育」は東京ガス(株)の登録商標です。

編集方針

サイト内検索

検索

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口一覧はこちら

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

第三者意見

第三者意見

第三者意見を受けて

第三者意見

ノーリツグループのCSR(企業の社会的責任)活動とその情報開示に基づき、第三者意見を提出します。

ノーリツグループでは2014年3月、これまで発行されてきた環境社会報告書を、CSR報告と会社案内の目的を兼ね、幅広い読者の方を意識した「ノーリツ会社案内／CSRレポート・ダイジェスト」に刷新されました。

事業とCSR活動の概要をコンパクトな冊子により一体的に報告し、詳しい内容をQ+ESG(品質+環境・社会・ガバナンス)のカテゴリーでウェブサイトに掲載するという情報開示のスタイルは、様々な読み手のニーズに応えようとする姿勢の

表れと感じました。CSR活動等の非財務情報の開示については、国内の投資家も関心を高めつつあり、情報の利用目的に応じた開示の工夫を進められた意義は大きいと考えます。

2007年からCSR委員会を発足させ活動を推進してこられましたが、給湯器メーカーという事業特性から、環境面、特に製品を通した環境負荷低減への貢献に力点を置かれてきました。地球温暖化防止の観点から、環境がノーリツグループにとって最も重要な社会的責任の側面であるとの判断を支持します。今後も、国内外での高効率給湯器や太陽エネルギー利用機器普及の先導役になられることを期待致します。

社会面では、障がい者雇用や自立支援などに個性のある取り組みを展開しておられます。また東日本大震災の復興支援活動や神戸ルミナリエのためのグループ会社と一体となった従業員募金なども、ノーリツグループらしい取り組みであり継続を期待致します。一方で、人権や労働、CSR調達といった、国際的に非常に関心の高いテーマについては、取り組みの発展途上の段階にあると認識致しました。2012年には、ガス石油機器業界で初めて国連グローバル・コンパクトに署名され、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に真剣に取り組む姿勢を明確にされたことは評価致します。このような方針に基づき、今後具体的な実践を積み重ね、成果を報告いただくことを期待致します。例えば、貴社事業と人権問題の接点の有無について、バリューチェーンを通して洗い出してみるといった取り組みが考えられます。そうした結果なども次回報告で開示いただくことを希望します。

(なお、この意見は、このCSR報告が、一般に公正妥当と認められる環境報告書等の作成基準に準拠して正確に測定、算定され、かつ重要な事項が漏れなく表示されているかどうかについて判断した結果を表明するものではありません。)

株式会社 日本総合研究所

創発戦略センター／ESGリサーチセンター マネジャー 村上 芽



第三者意見を受けて

今回、企業の社会的責任と金融および、非財務側面からの企業評価を専門にご活躍されている 株式会社 日本総合研究所 創発戦略センター／ESGリサーチセンターの村上様にご意見を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

ノーリツグループは、社会の要請や期待を双方向コミュニケーションを通して認識し、事業を通じて社会に貢献する企業を目指しています。

その中で、村上様から当社の社会とのコミュニケーション姿勢についてご支持いただきましたことを嬉しく思います。財務情報の開示に留まらず非財務情報の開示をおこなうことは、当社の基本姿勢の一つである「公正で透明性のある企業活動に徹します」の実践であり、長期視点で当社を応援していただいている株主や投資家、就職活動に取り組む学生、地域社会の住人やビジネスパートナー、従業員など全てのステークホルダーの皆様とのコミュニケーションと考えています。



また、環境面でもコメントを頂きましたが、温水機器メーカーとしてCO₂削減への取り組みは最重要課題と認識しています。高効率給湯器の開発と普及には特に注力しており、昨年はハイブリッド給湯システムを市場に投入しました。この機器はエネルギー熱効率が高いばかりでなく、地球温暖化への影響が極めて少ないノンフロン冷媒を採用しています。この様に開発面ではリサイクル段階まで配慮した取り組みをおこなっています。

加えて、ガス石油機器業界で唯一のエコファースト企業として有害化学物質の削減や、廃棄物削減にも厳しい目標を定め、全社が一丸となって取り組んでいます。

一方でご指摘いただきました、グローバル視点での人権対応に関しましては、2014年度から新入社員や新任管理者をはじめとした階層別研修や、CSR推進会議の中で部門長研修の取り組みを開始しました。労働・CSR調達に関しましては、調達部門が中心となってCSR調達ガイドラインを制定し、紛争鉱物調査への対応も含めウェブサイトに公開しました。今後は社外説明会の開催、バリューチェーンでの取り組みを実施していきます。

最後に、ノーリツグループではこれからもCSR視点で課題を検討し、各部門がPDCAを回していくことでグループ全体の社会的な価値向上を図っていきます。

今回お寄せいただいた意見を真摯に受け止め、事業を通じて社会に貢献し、社会から選ばれ続ける企業を目指して取り組んでまいります。

株式会社 ノーリツ 取締役兼常務執行役員 金田 友三郎

[個人情報保護方針](#) [サイトのご利用について](#) [ページのTOPへ](#)

企業情報

- トップメッセージ
- 企業理念・ビジョン
- 企業データ
- 沿革
- 企業姿勢・規範
- ノーリツグループ行動基準
- コーポレートガバナンス
- 調達活動
- 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- IRニュース
- トップメッセージ
- 個人投資家、株主の皆様へ
- 経営方針
- 業績・財務データ
- IRライブラリー
- 株主情報
- IRイベント
- 電子公告
- よくあるご質問
- 免責事項

CSRの取り組み

- トップメッセージ
- ノーリツグループのCSR
- 国連グローバルコンパクト
- エコ・ファーストの約束
- 3つの笑顔プロジェクト
- CSRトピックス
- ガバナンス
- 品質
- 環境
- 社会
- 第三者意見
- 国際的イニシアティブとの整合
- 報告書一覧
- 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- 長期使用製品安全点検制度について
- グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

CSRの取り組み

CSRの取り組み
トップメッセージ
ノーリツグループのCSR
国連グローバル・コンパクト
エコ・ファーストの約束
3つの笑顔プロジェクト
CSRTピックス
ガバナンス
品質
環境
社会
第三者意見
国際的イニシアティブとの整合
報告書一覧
編集方針

国際的イニシアティブとの整合

国連グローバル・コンパクト、ISO26000との照合表		
国連グローバル・コンパクト	ISO26000	該当ページ
	中核主題 組織統治	<ul style="list-style-type: none">トップメッセージノーリツグループのCSR国連グローバル・コンパクトコーポレートガバナンスコンプライアンスリスクマネジメント
人権 原則1 人権擁護の支持と尊重 原則2 人権侵害への非加担	中核主題 人権 課題1 デューディリジェンス 課題2 人権が脅かされる状況 課題3 加担の回避 課題4 苦情解決 課題5 差別および社会的弱者 課題6 市民のおよび政治的権利 課題7 経済的, 社会的および文化的権利 課題8 労働における基本的原則および権利	<ul style="list-style-type: none">国連グローバル・コンパクトノーリツグループ行動基準改定ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定ノーリツホットライン人権雇用に関する基本方針多様性の尊重(ダイバーシティ)ワークライフバランスを支援する諸制度
労働 原則3 組合結成と団体交渉権の実効化 原則4 強制労働の排除	中核主題 労働履行 課題1 雇用および雇用関係 課題2 労働条件および社会的保護	<ul style="list-style-type: none">国連グローバル・コンパクトノーリツグループ行動基準改定ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定安全で健康に配慮した職場をつ

<p>原則5</p> <p>児童労働の実効的な排除</p> <p>原則6</p> <p>雇用と職業の差別撤廃</p>	<p>課題3</p> <p>社会対話</p> <p>課題4</p> <p>労働における安全衛生</p> <p>課題5</p> <p>職場における人材育成および訓練</p>	<p>くる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活力ある人材を育成する ・ 人権 ・ 雇用に関する基本方針 ・ 多様性の尊重(ダイバーシティ) ・ ワークライフバランスを支援する諸制度 ・ 自主性を尊重しキャリア開発や能力を支援する制度 ・ 労使の関係
<p>環境</p> <p>原則7</p> <p>環境問題の予防的アプローチ</p> <p>原則8</p> <p>環境に対する責任のイニシアティブ</p> <p>原則9</p> <p>環境にやさしい技術の開発と普及</p>	<p>中核主題 環境</p> <p>課題1</p> <p>汚染の予防</p> <p>課題2</p> <p>持続可能な資源の利用</p> <p>課題3</p> <p>気候変動の緩和および気候変動への適応</p> <p>課題4</p> <p>環境保護, 生物多様性, および自然生息地の回復</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国連グローバル・コンパクト ・ エコ・ファーストの約束 ・ 環境経営 ・ 製品を通じた環境負荷低減 ・ 事業活動を通じた環境負荷低減 ・ 生物多様性保全 ・ 環境保全活動データ ・ 環境コミュニケーション ・ SDS(安全データシート) ・ 家電リサイクルの実績
<p>腐敗防止</p> <p>原則10</p> <p>強要・賄賂等の腐敗防止の取り組み</p>	<p>中核主題 公正な事業慣行</p> <p>課題1</p> <p>汚職防止</p> <p>課題2</p> <p>責任ある政治的関与</p> <p>課題3</p> <p>公正な競争</p> <p>課題4</p> <p>バリューチェーンにおける社会的責任の推進</p> <p>課題5</p> <p>財産権の尊重</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国連グローバル・コンパクト ・ ノーリツグループ行動基準改定 ・ ノーリツグループCSR調達ガイドラインの制定 ・ コーポレートガバナンス ・ コンプライアンス ・ リスクマネジメント ・ 社会からの期待に応える調達活動 ・ 株主さまとの対話
	<p>中核主題 消費者課題</p> <p>課題1</p> <p>公正なマーケティング, 事実に基づく偏りのない情報, および公正な契約慣行</p> <p>課題2</p> <p>消費者の安全衛生の保護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンス ・ 顧客への対応 ・ 製品情報の開示 ・ CS活動 ・ 品質方針 ・ 品質への取り組み ・ 品質向上への取り組み

		課題3 持続可能な消費	豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する
		課題4 消費者に対するサービス, 支援, 並びに苦情および紛争の解決	
		課題5 消費者データ保護およびプライバシー	
		課題6 必要不可欠なサービスへのアクセス	
		課題7 教育および意識向上	
		中核主題 コミュニティへの参画およびコミュニティの発展	
		課題1 コミュニティへの参画	地域社会との共生 災害復興支援 社会貢献 グループ会社 グローバル 社会貢献みちのく未来基金 スポーツ
		課題2 教育および文化	
		課題3 雇用創出および技能開発	
		課題4 技術の開発および技術へのアクセス	
		課題5 富および所得の創出	
		課題6 健康	
		課題7 社会的投資	

企業情報	株主・投資家向け情報	CSRの取り組み	採用情報	製品に関する大切なお知らせ
* トップメッセージ * 企業理念・ビジョン * 企業データ * 沿革 * 企業姿勢・規範 * ノーリツグループ行動基準 * コーポレートガバナンス * 調達活動 * 企業スポーツ活動 ノーリツチャンネル	* IRニュース * トップメッセージ * 個人投資家、株主の皆様へ * 経営方針 * 業績・財務データ * IRライブラリー * 株主情報 * IRイベント * 電子公告 * よくあるご質問 * 免責事項	* トップメッセージ * ノーリツグループのCSR * 国連グローバルコンパクト * エコ・ファーストの約束 * 3つの笑顔プロジェクト * CSRTビックス * ガバナンス * 品質 * 環境 * 社会 * 第三者意見	お問い合わせ窓口一覧	* 製品を安全に、正しくお使いいただくために * 長期使用製品安全点検制度について * グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意 * その他、製品に関するご連絡、ご注意

- ▮ 国際的イニシアティブとの整合
- ▮ 報告書一覧
- ▮ 編集方針

サイト内検索

検索

Copyright © 2014 NORITZ Corporation. All Rights Reserved.

ご不明な点などございましたら
お気軽にお問い合わせください。

 お問い合わせ窓口一覧はこちら

新しい幸せを、わかすこと。



よくあるご質問 お問い合わせ窓口一覧 サイトマップ

企業情報 株主・投資家向け情報 CSRの取り組み 採用情報 製品に関する大切なお知らせ

企業情報トップ ▶ CSRの取り組み ▶ 報告書一覧

CSRの取り組み

CSRの取り組み

- ▶ トップメッセージ
- ▶ ノーリツグループのCSR
- ▶ 国連グローバル・コンパクト
- ▶ エコ・ファーストの約束
- ▶ 3つの笑顔プロジェクト
- ▶ CSRTピックス
- ▶ ガバナンス
- ▶ 品質
- ▶ 環境
- ▶ 社会
- ▶ 第三者意見
- ▶ 国際的イニシアティブとの整合
- ▶ 報告書一覧
- ▶ 編集方針

報告書一覧

CSRレポート



ノーリツ会社案内 CSRレポート・ダイジェスト2014
日本語版 [Japanese]

- ▶ [全ページ一括\(7.6MB\)](#)
- ▶ [編集方針 01～02ページ \(0.4MB\)](#)
- ▶ [トップメッセージ 03～04ページ \(0.3MB\)](#)
- ▶ [事業領域 05～06ページ \(0.9MB\)](#)
- ▶ [グローバルネットワーク 07～08ページ \(0.8MB\)](#)
- ▶ [環境への取り組み 09～10ページ \(0.6MB\)](#)
- ▶ [2013年業績レポート 11～12ページ \(0.2MB\)](#)
- ▶ [研究開発 13～14ページ \(0.7MB\)](#)
- ▶ [調達・生産・物流 15～18ページ \(1.7MB\)](#)
- ▶ [販売・施工・サービス 19～20ページ \(0.6MB\)](#)
- ▶ [社会、株主・投資家、社員とともに 21ページ \(0.3MB\)](#)
- ▶ [沿革 22ページ \(0.2MB\)](#)

アンケートにご協力ください。

[アンケートはこちら](#)

NORITZ Corporate Report & CSR Report-Digest 2014
英語版 [English]

- ▶ [Download\(6.2MB\)](#)

環境社会報告書(2001～2013年)



2013環境社会報告書

- ▶ [全ページ一括36ページ \(18MB\)](#)
- ▶ [トップメッセージ 03～04ページ \(2.3MB\)](#)
- ▶ [【特集】CSRの取り組み 05～06ページ \(0.9MB\)](#)
- ▶ [【特集】エコ・ファーストの約束 07～08ページ \(1.2MB\)](#)
- ▶ [【特集】太陽光を何に変えようプロジェクト 09～10ページ \(0.8MB\)](#)
- ▶ [品質への取り組み 11～12ページ \(0.6MB\)](#)
- ▶ [社会貢献活動への取り組み 13～17ページ \(2.0MB\)](#)
- ▶ [営業現場での取り組み 18～20ページ \(1.0MB\)](#)
- ▶ [環境への取り組み 21～22ページ \(0.6MB\)](#)
- ▶ [2012年の活動概要【エコ・ファーストの約束】 23～26ページ \(1.9MB\)](#)
- ▶ [製品を通じた環境負荷低減 27～32ページ \(3.1MB\)](#)
- ▶ [環境管理システムの構築 33ページ \(0.4MB\)](#)
- ▶ [海外での取り組み 34ページ \(1.2MB\)](#)
- ▶ [ノーリツグループの概要 35～36ページ \(0.6MB\)](#)

2012環境社会報告書

- ▶ [全ページ一括](#)
- ▶ [42ページ PDF \(41MB\)](#)
- ▶ [01～08ページ \(5.8MB\)](#)
- ▶ [09～14ページ \(3.9MB\)](#)

2011環境社会報告書

- ▶ [全ページ一括](#)
- ▶ [42ページ PDF \(25MB\)](#)
- ▶ [01～08ページ \(4.3MB\)](#)
- ▶ [09～14ページ \(3.3MB\)](#)



- ▶ [15～24ページ \(10.1MB\)](#)
- ▶ [25～34ページ \(9.5MB\)](#)
- ▶ [35～43ページ \(9.7MB\)](#)



- ▶ [15～24ページ \(10.0MB\)](#)
- ▶ [25～34ページ \(4.1MB\)](#)
- ▶ [35～42ページ \(4.1MB\)](#)



2010環境社会報告書

- ▶ [全ページ一括](#)
- ▶ [38ページ PDF \(26MB\)](#)
- ▶ [01～20ページ \(13.6MB\)](#)
- ▶ [21～25ページ \(3.9MB\)](#)
- ▶ [26～38ページ \(8.6MB\)](#)



2009環境社会報告書

- ▶ [全ページ一括](#)
- ▶ [54ページ PDF \(41MB\)](#)
- ▶ [01～16ページ \(17.8MB\)](#)
- ▶ [17～23ページ \(11.7MB\)](#)
- ▶ [24～31ページ \(14.6MB\)](#)



2008環境社会報告書

- ▶ [全ページ一括](#)
- ▶ [54ページ PDF \(19.1MB\)](#)
- ▶ [01～14ページ \(5.1MB\)](#)
- ▶ [15～28ページ \(6.2MB\)](#)
- ▶ [29～42ページ \(6.6MB\)](#)



2007環境社会報告書

- ▶ [全ページ一括](#)
- ▶ [54ページ PDF \(19.1MB\)](#)
- ▶ [01～18ページ \(5.7MB\)](#)
- ▶ [19～36ページ \(6.6MB\)](#)
- ▶ [37～54ページ \(7.0MB\)](#)



2006環境社会報告書

- ▶ [全ページ一括 52ページ PDF \(6.6MB\)](#)
- ▶ [01～12ページ \(1.2MB\)](#)
- ▶ [13～34ページ \(3.2MB\)](#)
- ▶ [35～51ページ \(2.1MB\)](#)



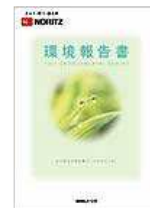
2005環境報告書

- ▶ [全ページ一括 55ページ PDF \(4.8MB\)](#)
- ▶ [01～14ページ \(1.1MB\)](#)
- ▶ [15～28ページ \(1.3MB\)](#)
- ▶ [29～42ページ \(1.1MB\)](#)
- ▶ [43～56ページ \(1.0MB\)](#)



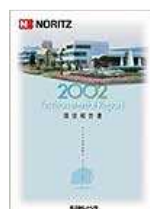
2004環境報告書

- ▶ [全ページ一括 50ページ PDF \(3,200KB\)](#)
- ▶ [01～12ページ \(816KB\)](#)
- ▶ [13～33ページ \(1,600KB\)](#)
- ▶ [34～44ページ \(460KB\)](#)
- ▶ [45～50ページ \(460KB\)](#)



2003環境報告書

- ▶ [バックナンバー全ページ一括 35ページ PDF \(881KB\)](#)



2002環境報告書

- ▶ [バックナンバー全ページ一括 17ページ PDF \(582KB\)](#)



2001環境報告書

- ▶ [バックナンバー全ページ一括 13ページ PDF \(949KB\)](#)

環境と社会への取り組みについて

ノーリツは2001年からステークホルダーとのコミュニケーションツールとして、「環境報告書」を年次発行しています。2006年から「環境社会報告書」に変更しました。2014年度は、CSR報告のダイジェストとして、「CSRレポート・ダイジェスト」を発行し、当サイトではすべてのステークホルダー向けに冊子で報告し切れなかった情報も掲載させていただきます。

個人情報保護方針

サイトのご利用について

ページのTOPへ

企業情報

- ▶ [トップメッセージ](#)
- ▶ [企業理念・ビジョン](#)
- ▶ [企業データ](#)

株主・投資家向け情報

- ▶ [IRニュース](#)
- ▶ [トップメッセージ](#)
- ▶ [個人投資家、株主の皆様へ](#)

CSRの取り組み

- ▶ [トップメッセージ](#)
- ▶ [ノーリツグループのCSR](#)
- ▶ [国連グローバルコンパクト](#)

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ▶ [製品を安全に、正しくお使いいただくために](#)

CSRの取り組み

CSRの取り組み

▶ トップメッセージ

▶ ノーリツグループのCSR

▶ 国連グローバル・コンパクト

▶ エコ・ファーストの約束

▶ 3つの笑顔プロジェクト

▶ CSRTピックス

▶ ガバナンス

▶ 品質

▶ 環境

▶ 社会

▶ 第三者意見

▶ 国際的イニシアティブとの整合

▶ 報告書一覧

▶ 編集方針

編集方針

1 対象範囲

2 報告期間

3 参考ガイドライン

ノーリツグループは、社会の要請や期待に本業を通じて貢献することが、私たちの最も重要な社会的責任であると考えています。そして社会課題の解決にはステークホルダーとの対話や協働が非常に重要であると認識し活動しています。

また、CSRの取り組みをすべてのステークホルダーの皆さまにご理解いただけるよう「ノーリツ会社案内/CSRレポート・ダイジェスト」(冊子)と、「WEBサイト」で情報を掲載しています。

冊子版(PDF版)ではP13～P20で「事業プロセス」に即してCSRの活動を開示しています。一方、WEBサイトでは基本的なESG要素(環境・社会・ガバナンス)に、メーカーとして重要なQ(品質)を加えたカテゴリーで分類し、網羅性のある情報量で開示しております。

対象範囲

株式会社ノーリツおよび、国内外のグループ会社

ページのTOPへ ↑

報告期間

数値データに関しては2013年1月1日から2013年12月31日までの情報を掲載しています。記事に関しましては2013年1月1日から2014年5月31日までの取り組みを掲載しています。

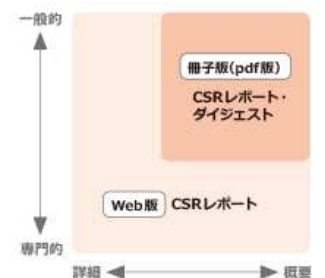
ページのTOPへ ↑

参考ガイドライン

- ・ISO26000
- ・国連グローバル・コンパクト
- ・GRI第4版
- ・環境省「環境報告ガイドライン」2012年版
- ・国連ミレニアム開発目標



※ロゴは「特定非営利活動法人 ほっとけない 世界のまづしさ」が作成したものです。



問い合わせ先

ノーリツグループのCSR経営・CSRの取り組みについて、皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。今後の企業活動および、情報開示の参考にさせていただきます。

株式会社ノーリツ 管理本部 CSR・環境推進室 CSR推進グループ

Mail: csr@noritz.co.jp

ノーリツグループのCSR経営・CSR活動について、皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。今後の企業活動および、情報開示の参考にさせていただきます。

[アンケートはこちら](#)

[個人情報保護方針](#) [サイトのご利用について](#) [ページのTOPへ](#)

企業情報

- ▶ トップメッセージ
- ▶ 企業理念・ビジョン
- ▶ 企業データ
- ▶ 沿革
- ▶ 企業姿勢・規範
- ▶ ノーリツグループ行動基準
- ▶ コーポレートガバナンス
- ▶ 調達活動
- ▶ 企業スポーツ活動

ノーリツチャンネル

株主・投資家向け情報

- ▶ IRニュース
- ▶ トップメッセージ
- ▶ 個人投資家、株主の皆様へ
- ▶ 経営方針
- ▶ 業績・財務データ
- ▶ IRライブラリー
- ▶ 株主情報
- ▶ IRイベント
- ▶ 電子公告
- ▶ よくあるご質問
- ▶ 免責事項

CSRの取り組み

- ▶ トップメッセージ
- ▶ ノーリツグループのCSR
- ▶ 国連グローバルコンパクト
- ▶ エコ・ファーストの約束
- ▶ 3つの笑顔プロジェクト
- ▶ CSRTビックス
- ▶ ガバナンス
- ▶ 品質
- ▶ 環境
- ▶ 社会
- ▶ 第三者意見
- ▶ 国際的イニシアティブとの整合
- ▶ 報告書一覧
- ▶ 編集方針

採用情報

お問い合わせ窓口一覧

製品に関する大切なお知らせ

- ▶ 製品を安全に、正しくお使いいただくために
- ▶ 長期使用製品安全点検制度について
- ▶ グループ会社の製品に関するご連絡、ご注意
- ▶ その他、製品に関するご連絡、ご注意

サイト内検索

検索

ノーリツグループ行動基準はこちらのURLからご覧下さい

<http://www.noritz.co.jp/csr/governance/compliance.html#compliance2>

ノーリツグループCSR調達ガイドラインはこちらのURLからご覧下さい

<http://www.noritz.co.jp/csr/social/client.html>

Noritz Group code of behavior , please visit here from the URL

<http://www.noritz.co.jp/csr/governance/compliance.html#compliance2>

Noritz Group supply guideline, please visit here from the URL

<http://www.noritz.co.jp/csr/governance/compliance.html#compliance2>